

「積算に関する条件明示書」

竹田地内ほか

明 示 項 目	明 示 事 項 (条件及び内容)			
I 単価適用日	令和8年4月1日	(必須)		
II 適用する土木工事標準積算基準書	国土交通省標準歩掛 I	令和7年10月1日以降適用	(必須)	
			(必須)	
			(必須)	
III 工種区分	舗装工事	(必須)		
IV 週休2日経費補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領 による月単位の週休2日		
V 共通仮設費の補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VI 現場管理費の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VII 歩掛の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
VIII 指定仮設	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	指定仮設に関する図面の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
IX 任意仮設	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	任意仮設に関する参考図の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
	交通誘導警備員A	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	配置人数	
	交通誘導警備員B	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	配置人数	80 人
	ポンプ排水	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	運転日数	
	工事用除雪	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	地域区分	
	その他)	
IX その他				

入札参加者への留意事項

- ※① 本書に記載する『別添(参考資料)』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。
- ※② 本書並びに別添(参考資料)の有効期間については、この工事の入札日までとする。
- ※③ 本書、別添(参考資料)並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第1条第3項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。
- ※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添(参考資料)に基づくものとし、別添(参考資料)を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。
- ※⑤ 本書及び別添(参考資料)は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。
- ※⑥ 原則として、本書並びに別添(参考資料)以外の積算条件に関する質問には、回答できません。特に「III 各種経費等の補正」の補正值と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

「積算に関する条件明示書」

市条地内ほか

明 示 項 目	明 示 事 項 (条件及び内容)			
I 単価適用日	令和8年4月1日	(必須)		
II 適用する土木工事標準積算基準書	国土交通省標準歩掛 I	令和7年10月1日以降適用	(必須)	
			(必須)	
			(必須)	
III 工種区分	舗装工事	(必須)		
IV 週休2日経費補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領 による月単位の週休2日		
V 共通仮設費の補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VI 現場管理費の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VII 歩掛の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
VIII 指定仮設	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	指定仮設に関する図面の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
IX 任意仮設	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	任意仮設に関する参考図の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
	交通誘導警備員A	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	配置人数	28 人
	交通誘導警備員B	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	配置人数	58 人
	ポンプ排水	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	運転日数	
	工事用除雪	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	地域区分	
	その他)	
IX その他				

入札参加者への留意事項

- ※① 本書に記載する『別添(参考資料)』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。
- ※② 本書並びに別添(参考資料)の有効期間については、この工事の入札日までとする。
- ※③ 本書、別添(参考資料)並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第1条第3項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。
- ※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添(参考資料)に基づくものとし、別添(参考資料)を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。
- ※⑤ 本書及び別添(参考資料)は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。
- ※⑥ 原則として、本書並びに別添(参考資料)以外の積算条件に関する質問には、回答できません。特に「III 各種経費等の補正」の補正值と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

「積算に関する条件明示書」

保岡地内

明 示 項 目	明 示 事 項 (条件及び内容)			
I 単価適用日	令和8年4月1日	(必須)		
II 適用する土木工事標準積算基準書	国土交通省標準歩掛 I	令和7年10月1日以降適用	(必須)	
			(必須)	
			(必須)	
III 工種区分	舗装工事	(必須)		
IV 週休2日経費補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領 による月単位の週休2日		
V 共通仮設費の補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VI 現場管理費の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VII 歩掛の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
VIII 指定仮設	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	指定仮設に関する図面の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
IX 任意仮設	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	任意仮設に関する参考図の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
	交通誘導警備員A	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	配置人数	
	交通誘導警備員B	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	配置人数	26 人
	ポンプ排水	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	運転日数	
	工事用除雪	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	地域区分	
	その他)	
IX その他				

入札参加者への留意事項

- ※① 本書に記載する『別添(参考資料)』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。
- ※② 本書並びに別添(参考資料)の有効期間については、この工事の入札日までとする。
- ※③ 本書、別添(参考資料)並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第1条第3項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。
- ※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添(参考資料)に基づくものとし、別添(参考資料)を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。
- ※⑤ 本書及び別添(参考資料)は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。
- ※⑥ 原則として、本書並びに別添(参考資料)以外の積算条件に関する質問には、回答できません。特に「III 各種経費等の補正」の補正值と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

「積算に関する条件明示書」

幸町一丁目地内ほか

明 示 項 目	明 示 事 項 (条件及び内容)			
I 単価適用日	令和8年4月1日	(必須)		
II 適用する土木工事標準積算基準書	国土交通省標準歩掛 I	令和7年10月1日以降適用	(必須)	
			(必須)	
			(必須)	
III 工種区分	舗装工事	(必須)		
IV 週休2日経費補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領 による月単位の週休2日		
V 共通仮設費の補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
	市街地(DID補正)(1)			
VI 現場管理費の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
	市街地(DID補正)(1)			
VII 歩掛の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
VIII 指定仮設	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	指定仮設に関する図面の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
IX 任意仮設	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	任意仮設に関する参考図の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
	交通誘導警備員A	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	配置人数	
	交通誘導警備員B	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	配置人数	26 人
	ポンプ排水	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	運転日数	
	工事用除雪	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	地域区分	
	その他)	
IX その他				

入札参加者への留意事項

- ※① 本書に記載する『別添(参考資料)』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。
- ※② 本書並びに別添(参考資料)の有効期間については、この工事の入札日までとする。
- ※③ 本書、別添(参考資料)並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第1条第3項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。
- ※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添(参考資料)に基づくものとし、別添(参考資料)を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。
- ※⑤ 本書及び別添(参考資料)は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。
- ※⑥ 原則として、本書並びに別添(参考資料)以外の積算条件に関する質問には、回答できません。特に「III 各種経費等の補正」の補正值と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

「積算に関する条件明示書」

米島地内

明 示 項 目	明 示 事 項 (条件及び内容)			
I 単価適用日	令和8年4月1日	(必須)		
II 適用する土木工事標準積算基準書	国土交通省標準歩掛 I	令和7年10月1日以降適用	(必須)	
			(必須)	
			(必須)	
III 工種区分	舗装工事	(必須)		
IV 週休2日経費補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領 による月単位の週休2日		
V 共通仮設費の補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VI 現場管理費の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VII 歩掛の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
VIII 指定仮設	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	指定仮設に関する図面の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
IX 任意仮設	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	任意仮設に関する参考図の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
	交通誘導警備員A	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	配置人数	
	交通誘導警備員B	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	配置人数	22 人
	ポンプ排水	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	運転日数	
	工事用除雪	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	地域区分	
	その他)	
IX その他				

入札参加者への留意事項

- ※① 本書に記載する『別添(参考資料)』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。
- ※② 本書並びに別添(参考資料)の有効期間については、この工事の入札日までとする。
- ※③ 本書、別添(参考資料)並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第1条第3項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。
- ※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添(参考資料)に基づくものとし、別添(参考資料)を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。
- ※⑤ 本書及び別添(参考資料)は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。
- ※⑥ 原則として、本書並びに別添(参考資料)以外の積算条件に関する質問には、回答できません。特に「III 各種経費等の補正」の補正值と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

「積算に関する条件明示書」

古青渡地内ほか

明 示 項 目	明 示 事 項 (条件及び内容)			
I 単価適用日	令和8年4月1日	(必須)		
II 適用する土木工事標準積算基準書	国土交通省標準歩掛 I	令和7年10月1日以降適用	(必須)	
			(必須)	
			(必須)	
III 工種区分	舗装工事	(必須)		
IV 週休2日経費補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領 による月単位の週休2日		
V 共通仮設費の補正	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VI 現場管理費の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正		
	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算		
	一般交通影響有り(2)			
VII 歩掛の補正	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	冬期屋外工事に関する歩掛の補正		
VIII 指定仮設	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	指定仮設に関する図面の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
IX 任意仮設	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり			
	図面	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	任意仮設に関する参考図の有無	
	土質	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	土質に関するデータの有無(柱状図等)	
	水位	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	水位に関するデータの有無	
	交通誘導警備員A	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	配置人数	
	交通誘導警備員B	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	配置人数	20 人
	ポンプ排水	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	運転日数	
	工事用除雪	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	地域区分	
	その他)	
IX その他				

入札参加者への留意事項

- ※① 本書に記載する『別添(参考資料)』とは、いわゆる『単価表まで明示した閲覧用設計書』を示す。
- ※② 本書並びに別添(参考資料)の有効期間については、この工事の入札日までとする。
- ※③ 本書、別添(参考資料)並びに設計数量計算書については、建設工事請負契約約款第1条第3項に定める「契約約款及び設計図書に特別の定めがある場合」にあたるものではない。
- ※④ 本書に掲載する以外の積算条件は、別添(参考資料)に基づくものとし、別添(参考資料)を閲覧に供していない場合には、本書のみが積算条件を明示するものである。
- ※⑤ 本書及び別添(参考資料)は、発注者の積算条件を示すための資料であり、「入札参加者の自由な価格設定」及び「請負後の施工条件を拘束」するものではない。
- ※⑥ 原則として、本書並びに別添(参考資料)以外の積算条件に関する質問には、回答できません。特に「III 各種経費等の補正」の補正值と「設計単価等」の金額に関する質問には、回答できません。

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市 竹田 地内ほか		
発注者	庄内広域水道企業団	工事概要 舗装工事 【竹田地内ほか】 ・舗装工 表層工 A=8,420㎡ ・区画線工 一式	
設計区分	実施設計書		
受注者			
工事期間			
工事日数			
部課名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

工 事 設 計 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
本工事	舗装工事							場所区分:一般交通影響有り(2)	
								竹田地内ほか	
			舗装工事		式	1			
			直接工事費計						
			共通仮設費計						
工事原価									
			共通仮設費		式	1			
			純工事費						
			現場管理費		式	1			
本工事	舗装工事							場所区分:一般交通影響有り(2)	
								市条地内ほか	
			舗装工事		式	1			
			直接工事費計						
			共通仮設費計						

工 事 設 計 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事	舗装工事							場所区分:市街地(DID補正)
								幸町一丁目地内ほか
		舗装工事		式	1			
		直接工事費計						
		共通仮設費計						
		共通仮設費		式	1			
工事原価		純工事費						
		現場管理費		式	1			
本工事	舗装工事							場所区分:一般交通影響有り(2)
		舗装工事		式	1			
		直接工事費計						
	共通仮設費計							

検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市竹田地内ほか		
発注者	庄内広域水道企業団	<p>工事概要</p> <p>舗装工事</p> <p>【竹田地内ほか】</p> <p>舗装工 表層工 A=3,339㎡</p> <p>区画線工 一式</p>	
設計区分	実施設計		
受注者			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工事日数	日		
部 課 名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

第 1号		舗装工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断		m	1,320				第 1号単価表	
舗装版破碎		m ²	3,340				第 2号単価表	
アスファルト殻運搬	L=6.3km	m ³	156				第 3号単価表	
アスファルト殻処分		m ³	156				第 4号単価表	
舗装切断排水処分		m ³	1.3				第 5号単価表	
舗装切断排水運搬	L=1.7km	t	1.8				第 6号単価表	
床掘り		m ³	4				第 7号単価表	
土砂等運搬	L=5.4km	m ³	4				第 8号単価表	
残土処分		m ³	4				第 9号単価表	
不陸整正	補足材料無し	m ²	3,320				第 10号単価表	
下層路盤	t=12cm、RC-40	m ²	15				第 11号単価表	
上層路盤	t=12cm、M-40	m ²	15				第 12号単価表	
表層（歩道部）	再生細粒度アスコン(13)、プライムコート PK-3	m ²	715				第 13号単価表	

第 2号

舗装版破碎

1㎡当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第 3号

1m3当たり

単価表

アスファルト殻運搬
L=6.3km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)、無し、6.	m3	1			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:無し					
	運搬距離:6.5km以下					
計						

第 6号

舗装切断排水運搬

1 t 当たり

単価表

L=1.7km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬	トラックヘーストラック2t級、吊能力2.9t、無し	t	1			
	トラック機種:トラックヘーストラック2t級、吊能力2.9t DID区間の有無:無し 片道運搬距離(km):2.0km以下					
計						

第 7号

床掘り

1m3当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	m3	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第 8号

土砂等運搬
L=5.4km

1m3当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	標準、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉)	m3	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:無し 運搬距離:6.0km以下					
計						

第 11号

1㎡当たり

単価表

下層路盤

t=12cm、RC-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤（車道・路肩部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第 15号

1㎡当たり

単価表

表層工

再生密粒度アスコン(13F)、プライムコート

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層 (車道・路肩部)	1. 4m以上3.0m以下、実数入力、各種(2. 30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3					
計						

第 24号

1m当たり

単価表

区画線工
ゼブラ 30cm

名 称

規 格

単 位 数 量

単 価

金 額

摘 要

区画線工 熔融式(手動) 昼間 豪雪
補正有

ゼブラ 30cm 制約無,排水性舗装でな
い,供用区間

m

1

第 25号単価表

計

検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市市条地内ほか		
発注者	庄内広域水道企業団	<p>工事概要</p> <p>舗装工事</p> <p>【市条地内ほか】</p> <p>舗装工 表層工 A=2,454㎡</p> <p>区画線工 一式</p>	
設計区分	実施設計		
受注者			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工事日数	日		
部 課 名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

第 1号		舗装工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断		m	310			第 1号単価表		
舗装版破碎		m ²	2,450			第 2号単価表		
アスファルト殻運搬	L=10.5km	m ³	112			第 3号単価表		
アスファルト殻処分		m ³	112			第 4号単価表		
舗装切断排水処分		m ³	0.4			第 5号単価表		
舗装切断排水運搬	L=12.7km	t	0.5			第 6号単価表		
床掘り		m ³	8			第 7号単価表		
土砂等運搬	L=18.0km	m ³	8			第 8号単価表		
残土処分		m ³	8			第 9号単価表		
不陸整正	補足材料無し	m ²	1,420			第 10号単価表		
不陸整正	有り、6mm以上11mm未満	m ²	126			第 11号単価表		
不陸整正	有り、9mm以上13mm未満	m ²	865			第 12号単価表		
上層路盤	t=10cm、M-40	m ²	18			第 13号単価表		

第 1号		舗装工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
上層路盤	t=12cm、M-40	m ²	27				第 14号単価表	
基層工	再生粗粒度アスコン(20)、フ°ライムコート PK-3	m ²	96				第 15号単価表	
基層工	再生粗粒度アスコン(20)、フ°ライムコート PK-3	m ²	66				第 16号単価表	
基層工	再生粗粒度アスコン(20)、タックコート PK-4	m ²	66				第 17号単価表	
表層(歩道部)	再生細粒度アスコン(13)、フ°ライムコート PK-3	m ²	1,480				第 18号単価表	
表層工	再生密粒度アスコン(13F)、フ°ライムコート	m ²	762				第 19号単価表	
表層工	密粒度アスコン(20F)改質Ⅱ型、タックコート	m ²	96				第 20号単価表	
表層工	再生密粒度アスコン(20F)、フ°ライムコート	m ²	50				第 21号単価表	
表層工	再生密粒度アスコン(20F)、タックコート	m ²	66				第 22号単価表	
樹脂系すべり止め舗装工	RPN-301(車道)	m ²	51				第 23号単価表	
区画線工	矢印・記号・文字15cm換算	m	14				第 25号単価表	
区画線工	ゼブラ30cm	m	2				第 27号単価表	
区画線工	実線 15cm	m	12				第 29号単価表	

第 7号

床掘り

1m3当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	m3	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第 8号

土砂等運搬

L=18.0km

1m3当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	標準、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉)	m3	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:無し 運搬距離:19.5km以下					
計						

第 11号

1㎡当たり

単価表

不陸整正

有り、6mm以上11mm未満

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不陸整正	有り、6mm以上11mm未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:6mm以上11mm未満					
計						

第 14号

1㎡当たり

単価表

上層路盤

t=12cm、M-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤（車道・路肩部）	再生粒度調整碎石 RM-40、実数入力、1層施工	㎡	1			
	材料:再生粒度調整碎石 RM-40 全仕上り厚:120 施工区分:1層施工					
計						

第 15号

1㎡当たり

単価表

基層工

再生粗粒度アスコン(20)、フ°ライムコート PK-3

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基層 (車道・路肩部)	3.0m超、実数入力、再生粗粒度アスコン(20)、フ°ライムコート P	㎡	1			
	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:50 材料:再生粗粒度アスコン(20)					
	瀝青材料種類:フ°ライムコート PK-3					
計						

第 18号

1㎡当たり

単価表

表層(歩道部)

再生細粒度アスコン(13)、フ°ライムコート PK-3

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(歩道部)	1. 4m以上、実数入力、各種(2.10以上 2. 20t/m3未満)、フ°	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上 1層当り平均仕上り厚:30 材料:各種(2.10以上2.20t/m3未満)					
	瀝青材料種類:フ°ライムコート PK-3					
計						

第 21号

1㎡当たり

単価表

表層工

再生密粒度アスコン(20F)、プライムコート

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部)	1. 4m以上3.0m以下、実数入力、各種(2. 30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3					
計						

第 29号

1m当たり

単価表

区画線工

実線 15cm

名 称

規 格

単 位 数 量

単 価

金 額

摘 要

区画線工 溶融式(手動) 昼間 豪雪
補正有

実線 15cm 制約無,排水性舗装でない
,供用区間

m

1

第 30号単価表

計

第 33号

交通管理工(A)

1人当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員A		人				
計						

検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市保岡地内		
発注者	庄内広域水道企業団	工事概要 舗装工事 【保岡地内】 舗装工 表層工 A=842.0㎡	
設計区分	実施設計		
受注者			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工事日数	日		
部 課 名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

第 1号		舗装工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断		m	410				第 1号単価表	
舗装版破碎		m ²	840				第 2号単価表	
アスファルト殻運搬	L=5.9km	m ³	41				第 3号単価表	
アスファルト殻処分		m ³	41				第 4号単価表	
舗装切断排水処分		m ³	0.5				第 5号単価表	
舗装切断排水運搬	L=17.1km	t	0.6				第 6号単価表	
床掘り		m ³	1				第 7号単価表	
土砂等運搬	L=21.2km	m ³	1				第 8号単価表	
残土処分		m ³	1				第 9号単価表	
不陸整正	補足材料無し	m ²	842				第 10号単価表	
表層工	再生密粒度As13F、プライムコート	m ²	824				第 11号単価表	
表層工	再生密粒度As13F、プライムコート	m ²	18				第 12号単価表	
計								

第 1号

舗装版切断

1m当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下					
計						

第 8号

土砂等運搬

L=21.2km

1m3当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	標準、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉)	m3	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:無し 運搬距離:39.0km以下					
計						

第 10号

1㎡当たり

単価表

不陸整正
補足材料無し

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不陸整正	無し	㎡	1			
	補足材料の有無:無し					
計						

第 12号

1㎡当たり

単価表

表層工

再生密粒度As13F、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（車道・路肩部）	1. 4m以上3.0m以下、実数入力、各種（ 2. 30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員：1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚：40 材料：各種（2.30以上2.40t/m3未満）					
	瀝青材料種類：ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市幸町一丁目地内ほか		
発注者	庄内広域水道企業団	<p>工事概要</p> <p>舗装工事</p> <p>【幸町一丁目地内ほか】</p> <p>舗装工 表層工 A=766.0㎡</p> <p>区画線工 一式</p>	
設計区分	実施設計		
受注者			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工事日数	日		
部 課 名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

第 1号

1m当たり

単価表

舗装版切断

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下					
計						

第 2号

舗装版破碎

1㎡当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第 3号

1m3当たり

単価表

アスファルト殻運搬
L=3.0km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)、有り、3.	m3	1			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:3.5km以下					
計						

第 6号

舗装切断排水運搬

1 t 当たり

単価表

L=13.5km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬	トラックヘーストラック2t積、吊能力2.9t、有り	t	1			
	トラック機種:トラックヘーストラック2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):14.0km以下					
計						

第 8号

1㎡当たり

単価表

不陸整正

補足材料有り、39mm以上44mm未満

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不陸整正	有り、40mm以上46mm未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:40mm以上46mm未満					
計						

第 9号

下層路盤

1㎡当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤（車道・路肩部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:85 施工区分:1層施工					
計						

検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市米島地内		
発注者	庄内広域水道企業団	工事概要 舗装工事 【米島地内】 舗装工 表層工 A=578.0㎡	
設計区分	実施設計		
受注者			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工事日数	日		
部 課 名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

第 1号		舗装工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断		m	150			第 1号単価表		
舗装版破碎		m ²	580			第 2号単価表		
アスファルト殻運搬	L=5.6km	m ³	27			第 3号単価表		
アスファルト殻処分		m ³	27			第 4号単価表		
舗装切断排水処分		m ³	0.2			第 5号単価表		
舗装切断排水運搬	L=18.2km	t	0.2			第 6号単価表		
床掘り		m ³	2			第 7号単価表		
土砂等運搬	L=21.9km	m ³	2			第 8号単価表		
残土処分		m ³	2			第 9号単価表		
不陸整正	補足材料無し	m ²	578			第 10号単価表		
表層工	再生密粒度As13F、プライムコート	m ²	561			第 11号単価表		
表層工	再生密粒度As13F、プライムコート	m ²	17			第 12号単価表		
計								

第 2号

舗装版破碎

1㎡当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第 3号

1m3当たり

単価表

アスファルト殻運搬
L=5.6km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下)、無し、6.	m3	1			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:無し					
	運搬距離:6.5km以下					
計						

第 6号

舗装切断排水運搬

1 t 当たり

単価表

L=18.2km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬	トラックヘーストラック2t積、吊能力2.9t、無し	t	1			
	トラック機種:トラックヘーストラック2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:無し 片道運搬距離(km):20.5km以下					
計						

第 7号

床掘り

1m3当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
床掘り	土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し	m3	1			
	土質:土砂 施工方法:平均施工幅1m以上2m未満 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第 10号

1㎡当たり

単価表

不陸整正
補足材料無し

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不陸整正	無し	㎡	1			
	補足材料の有無:無し					
計						

第 11号

1㎡当たり

単価表

表層工

再生密粒度As13F、ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層 (車道・路肩部)	1. 4m以上3.0m以下、実数入力、各種(2. 30以上2.40t/m3	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上り厚:50 材料:各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

検算者	設計者

工事番号		施工年度	令和8年度
工事名称	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事(第1工区)		
工事場所	酒田市古青渡地内ほか		
発注者	庄内広域水道企業団	<p>工事概要</p> <p>舗装工事</p> <p>【古青渡地内ほか】</p> <p>舗装工 表層工 A=441.0㎡</p> <p>区画線工 一式</p>	
設計区分	実施設計		
受注者			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工事日数	日		
部 課 名	酒田事務所		
積算担当			
合計額			
工事価格			
消費税等相当額			

第 1号		舗装工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断		m	280				第 1号単価表	
舗装版破碎		m ²	440				第 2号単価表	
アスファルト殻運搬	L=9.4km	m ³	24				第 3号単価表	
アスファルト殻処分		m ³	24				第 4号単価表	
舗装切断排水処分		m ³	0.3				第 5号単価表	
舗装切断排水運搬	L=10.6km	t	0.4				第 6号単価表	
不陸整正	補足材料無し	m ²	170				第 7号単価表	
不陸整正	補足材料有り、3mm以上6mm未満	m ²	124				第 8号単価表	
不陸整正	補足材料有り、9mm以上13mm未満	m ²	147				第 9号単価表	
表層工	再生密粒度As13F、プライムコート	m ²	441				第 10号単価表	
区画線工	矢印・記号・文字15cm換算	m	14				第 11号単価表	
区画線工	ゼブラ 30cm	m	2				第 13号単価表	
計								

第 2号

舗装版破碎

1㎡当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						

第 3号

1m3当たり

単価表

アスファルト殻運搬
L=9.4km

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)、有り、10	m3	1			
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) DID区間の有無:有り					
	運搬距離:10.5km以下					
計						

第 6号

舗装切断排水運搬
L=10.6km

1 t 当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬	トラックヘーストラック2t積、吊能力2.9t、無し	t	1			
	トラック機種:トラックヘーストラック2t積、吊能力2.9t DID区間の有無:無し 片道運搬距離(km):11.0km以下					
計						

第 9号

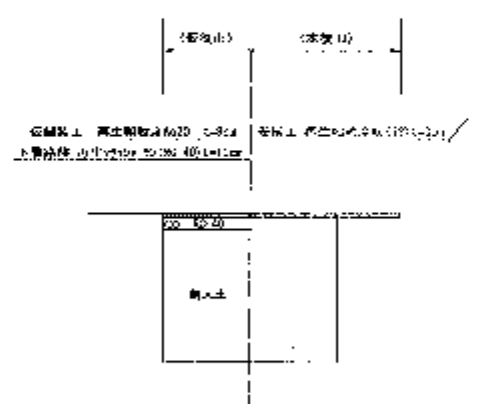
1㎡当たり

単価表

不陸整正

補足材料有り、9mm以上13mm未満

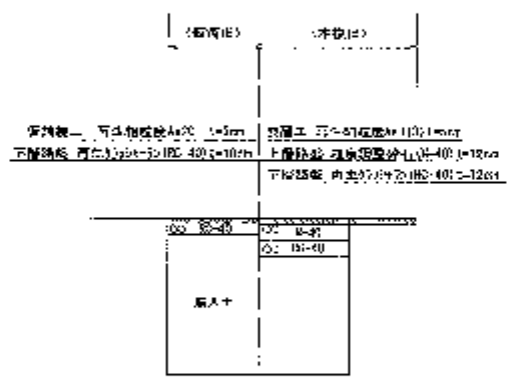
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
不陸整正	有り、6mm以上11mm未満	㎡	1			
	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:6mm以上11mm未満					
計						

舗装工	A-1・2・4路 線路線	竹田地内ほか	実施
市道本町竹田線他 (3-10) / 再生細粒度As13 /			
竹田地内ほか (市道) 本町竹田線他 			
仮舗装面積の合計 $91.02 + 52.32 + 14.10 + 0.96 = 158.40$			
既設舗装厚 t=3cm			
名 称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	$85.15 + 14.70 + 48.60 + 7.90 = 151.35$	151.3 m
舗装破砕工	BHC. 45m ³ t ≤ 15cm	$436.4 + 208.4 + 68.39 + 2.08 = 715.36$	715.4 m ²
As級処分工 (既設舗装)	B/D. 45m ³ . 9T10t D10無し	$(715.36 - 158.40) \times 0.030$ 全体 仮舗装面積 既設舗装厚さ	16.7 m ³
As級処分工 (仮舗装)	B/D. 45m ³ . 9T10t D10無し	158.40 × 0.03 仮舗装 仮舗装厚さ	4.8 m ³
As級廃材処理	高程建設精 6.3km	16.7 + 4.8 既設舗装 仮舗装	21.5 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	151.30 × 0.001	0.15 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 1.7km	0.15 × 1.400	0.21 t
不陸修正	補修用なし	715.36	715.4 m ²
1.4m以上 表層工(歩道部)	再生細粒度As13 t=3cm	715.36 PK-3	715.4 m ²
カラー塗装工	レンガ色(ブラウン)	69.39	69.4 m ²

舗装工	A-1路線	竹田地内ほか	実施
-----	-------	--------	----

市道本町竹田線 (5-12-12)
 再生密粒度As13F
 上層路盤(M-40)
 下層路盤(RC-40)

竹田地内ほか
 (市道) 本町竹田線



仮舗装面積の合計 15.18 ✓ = 15.18 ✓

既設舗装厚 t=5cm

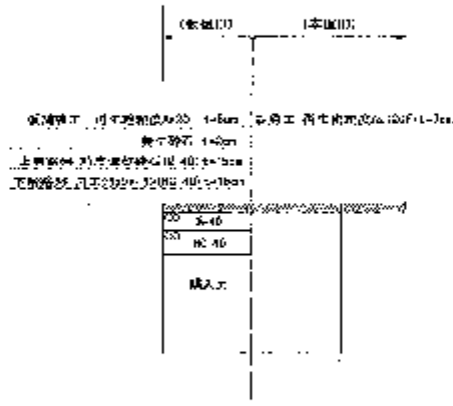
名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	44.40 ✓	=	44.40 ✓ m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	76.71 ✓	=	76.71 ✓ m ²
As級処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ . DT10t DID無し	(76.71 ✓ 15.18 ✓) 全体 仮舗装面積	× 0.050 既設舗装厚	3.1 ✓ m ³
As級処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ . DT10t DID無し	15.18 ✓ 仮舗装	× 0.03 ✓ 仮舗装厚	0.5 ✓ m ³
As級廃材処理	富樫建設株 6.3km	3.1 ✓ 既設舗装	+ 0.5 ✓ 仮舗装	3.6 ✓ m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	44.40 ✓	× 0.001 ✓	0.04 ✓ m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 1.7km	0.04 ✓	× 1.400 ✓	0.06 ✓ t
灰掘り	BH0.45m ³	15.18	× 0.14 ✓	2.1 ✓ m ³
土砂等運搬	DID無し BH0.45m ³	15.18	× 0.14 ✓	2.1 ✓ m ³
残土処分工	土砂、5.4km ³ (相違枝砂利)	15.18	× 0.14 ✓	2.1 ✓ m ³
不陸整正	補足材なし	76.71 ✓	- 15.18 ✓ =	61.53 ✓ m ²
下層路盤工	再生密粒度As13F(RC-40) t=12cm	15.18 ✓		15.2 ✓ m ²
上層路盤工	粒状調整砕石(M-40) t=12cm	15.18 ✓		15.2 ✓ m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	76.71 ✓		76.7 ✓ m ²

PK-3

舗装工	A-2路線	竹田地内ほか	実施
-----	-------	--------	----

市道城南1号線他 (7-15-15)
再生密粒度As20F

竹田地内ほか
(市道) 城南1号線他



仮舗装面積の合計 14.52 = 14.52 既設舗装厚 L=7cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	43.60	= 43.80	43.8 / m
舗装破砕工	BH0, 45m³ t ≤ 15cm	83.10	= 83.10	83.1 / m²
As処分分工 (既設舗装)	BH0, 45m³, DT10t DID無し	(83.10 / - 14.52 /) 全体 仮舗装面積	× 0.070 / 既設舗装厚	4.8 / m³
As処分分工 (仮舗装)	BH0, 45m³, DT10t DID無し	14.52 / 仮舗装	× 0.05 / 仮舗装厚	0.7 / m³
As処分材処理	富樫建設㈱ 6.3kr	4.8 / 既設舗装	+ 0.7 / 仮舗装	5.5 / m³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	43.80 /	× 0.001 /	0.04 / m³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 1.7kr	0.04 /	× 1.400	0.06 / t
床掘り	BH0, 45m³	14.52 /	× 0.02 /	0.3 / m³
土砂等運搬	DID無し BH0, 45m³	14.52 /	× 0.02 /	0.3 / m³
残土処分工	土砂, 5.4km 海運抜砂利	14.52 /	× 0.02 /	0.3 / m³
不陸修正	補足材なし	83.10 /		83.1 / m²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As20F t=7cm	PK-3	83.10 /	83.1 / m²
区画線工 (実線)	溶融式、W=15cm 白色、実線	別紙より	外側線 1.70 /	1.7 / m
区画線工 (停止線)	溶融式、W=30cm 白色、ゼブラ	別紙より	停止線 2.20 /	2.2 / m
区画線工 (破線)	溶融式、W=30cm 白色、破線	別紙より	法定外標示(トットライ) 5.00 /	5.0 / m

舗装工	A-2路線	竹田地内ほか	実施
-----	-------	--------	----

市道城南3号線 (7-15-19)
再生密粒度As20F

竹田地内ほか
(市道) 城南3号線

仮舗装面積の合計 61.86 = 61.86

既設舗装厚 t=7cm

名 称	形状寸法	計 算	数 量
舗装板切断工	t ≤ 15cm	108.80 = 108.80	108.8 / m
舗装破碎工	BH0.45m3 t ≤ 15cm	176.00 = 176.00	176.0 / m2
As処分分工 (既設舗装)	BH0.45m3, DT10t DID無し	(176.00 / - 61.86 /) × 0.070 / 金体 仮舗装面積 既設舗装厚さ	8.0 m3
As処分分工 (仮舗装)	BH0.45m3, DT10t DID無し	61.86 / × 0.05 / 仮舗装 仮舗装厚さ	3.1 / m3
As設廃材処理	富樫建設棟 6.3km	8.0 / + 3.1 / 既設舗装 仮舗装	11.1 / m3
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	108.80 / × 0.001 /	0.11 / m3
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 1.7km	0.11 / × 1.400 /	0.15 / t
床掘り	BH0.45m3 DID無し	61.86 / × 0.02 /	1.2 m2
土砂等運搬	BH0.45m3	61.86 / × 0.02 /	1.2 m2
残土処分工	土砂、5.4km 南進校砂利	61.86 / × 0.02 /	1.2 / m2
不陸整正	補足材なし	176.00 /	176.0 / m2
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As20- t=7cm	PK-3 176.00 /	176.0 / m2
区画線工 (実線)	溶解式、W=15cm 白色、実線	外側線 別紙より 91.60 /	91.6 / m
区画線工 (止まれ)	溶解式・16cm換算 白色 文字	(止 5.60 ま 6.75 れ 7.26) × 箇所	19.6 / m
区画線工 (停止線)	溶解式、W=30cm 白色、ゼブラ	停止線 別紙より 1.70 /	1.7 / m

舗装工	A-3*7・9路線	竹田地内ほか	実施
-----	-----------	--------	----

市道城南4号線他 (5-12-12)
再生密粒度As13F

竹田地内ほか
(市道) 城南4号線他

(合計)

仮舗装面積の合計 47.22 + 74.58 + 26.88 + 26.46 + 195.24 + 107.28 477.66

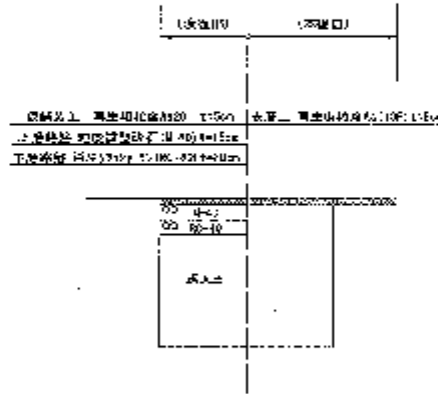
既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	86.30 + 354.11 +	124.30 + 183.10 +	810.37
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	171.02 - (132.30 -	9.90 + 972.02 +	1936.51
As殻処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D1D無し	(1936.5) -	477.66 /	72.9 /
As殻処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D1D無し	477.66 /	× 0.05 /	23.9 /
As殻廃材処理	富樫建設㈱ 6.3km	72.9 /	+ 23.9 /	96.8 /
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	810.37 /	× 0.001 /	0.81 /
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 1.7km	0.81 /	× 1.400 /	1.13 /
不陸整正	補足材なし	1936.51 /		1936.5 /
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t = 5cm		1936.51 /	1936.5 /

舗装工	A-4路線	竹田地内ほか	実施
-----	-------	--------	----

344号 (5-15-20)
再生密粒度As13F

竹田地内ほか
(市道) 城西3号線



仮舗装面積の合計 5.90 = 5.90

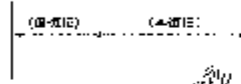
既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	15.63 = 15.63	15.6 / m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	43.85 = 43.85	43.9 / m ²
As殺処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ .DT10t DID無し	(43.85 / - 5.90 /) × 0.050 / 全体 仮舗装面積 既設舗装厚	1.9 m ³
As殺処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ .DT10t DID無し	5.90 / × 0.05 / 仮舗装 仮舗装厚	0.3 / m ³
As殺処分材処理	富樫建設(株) 0.3km	1.9 / + 0.3 / 既設舗装 仮舗装	2.2 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	15.63 / × 0.001 /	0.02 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 1.7km	0.02 / × 1.400 /	0.03 / t
不陸整正	補足材なし	43.85 /	43.9 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t = 5cm	43.85 / PK-4	43.9 / m ²

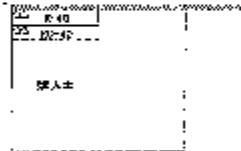
舗装工	A-8路線	竹田地内ほか	実施
-----	-------	--------	----

市道外山越線 (5-10-25)
再生細粒度As13F

竹田地内ほか
(市道) 外山越線



...既設舗装、再生細粒度As13F、5cm厚、中央線幅0.50m
...上層厚さ、再生細粒度As13F、5cm厚、中央線幅0.50m
...下層厚さ、再生細粒度As13F、5cm厚、中央線幅0.50m

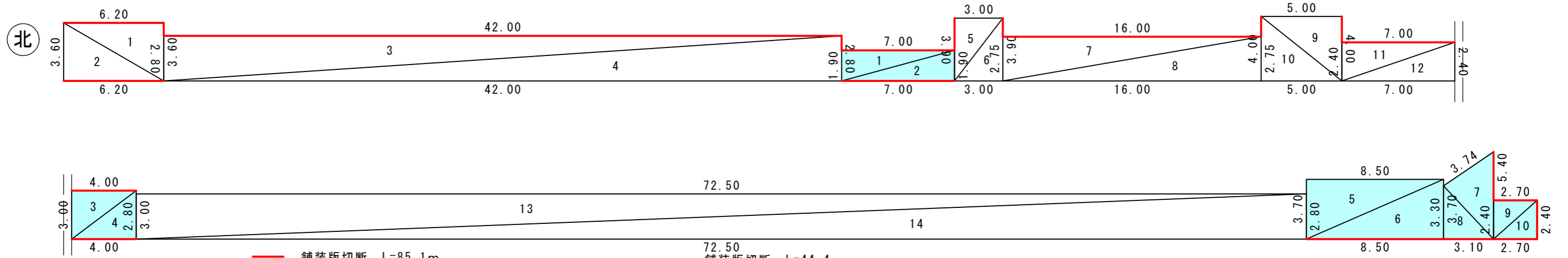


仮舗装面積の合計 75.36 = 75.36

既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	144.80 / = 144.80 /	144.8 / m
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	305.28 / = 305.28 /	305.3 / m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ DT10t DID無し	(305.28 / - 75.36 /) × 0.050 / 全体 仮舗装面積 既設舗装厚	11.5 / m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ DT10t DID無し	75.36 / × 0.05 / 仮舗装 仮舗装厚さ	3.8 / m ³
As殻廃材処理	富樫建設機 6.3km	11.5 / + 3.8 / 既設舗装 仮舗装	15.3 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	144.80 / × 0.001 /	0.14 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.0t吊 1.7km	0.14 / × 1.400 /	0.20 / t
不陸整正	補足材なし	305.28 /	305.3 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生細粒度As13F t = 5cm	305.28 / PK-4	305.3 / m ²
区画線工 (実線)	溶解式、W=15cm 白色、実線	別紙より 117.80 /	117.8 / m
区画線工 (破線)	溶解式、W=15cm 白色、破線	別紙より 10.00 /	10.0 / m

(市道) 本町竹田線 1:250



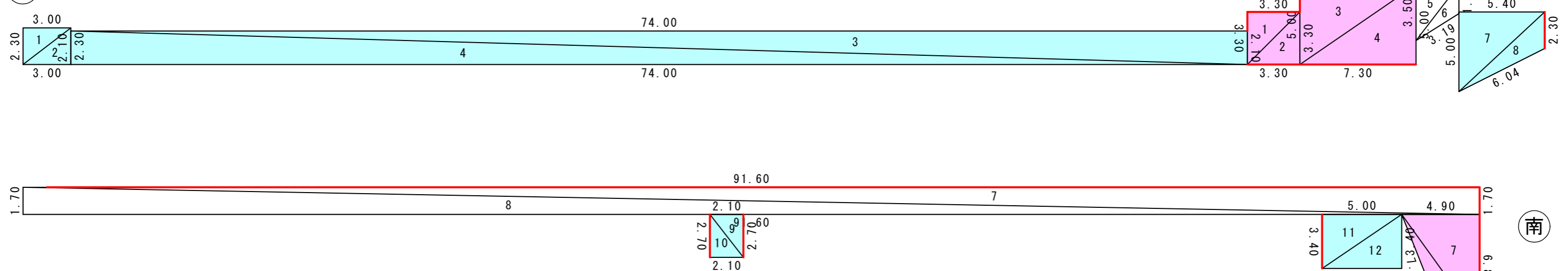
(市道) 本町竹田線：歩道部 (3-10)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	6.20	3.60	7.17	11.1600
2	6.20	3.60	7.17	11.1600
3	2.80	42.00	42.09	58.8000
4	42.00	42.09	2.80	58.8000
5	3.90	3.00	4.92	5.8500
6	3.00	4.92	3.90	5.8500
7	2.75	16.00	16.23	22.0000
8	16.00	16.23	2.75	22.0000
9	5.00	4.00	6.40	10.0000
10	5.00	4.00	6.40	10.0000
11	2.40	7.00	7.40	8.4000
12	7.00	7.40	2.40	8.4000
13	2.80	72.50	72.55	101.4999
14	72.50	72.55	2.80	101.4999
合計				435.4198
面積				435.42m ²

(市道) 本町竹田線：車道及び乗入部 (5-12-12)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	1.90	7.00	7.25	6.6500
2	7.00	7.25	1.90	6.6500
3	3.00	4.00	5.00	6.0000
4	4.00	5.00	3.00	6.0000
5	3.70	8.50	9.27	15.7250
6	8.50	9.27	3.70	15.7250
7	3.74	5.40	4.53	8.3649
8	3.30	4.53	3.10	5.1150
9	2.40	2.70	3.61	3.2400
10	2.70	3.61	2.40	3.2400
合計				76.7099
面積				76.71m ²

(市道) 城南1及び3,5号線 1:250



(市道) 城南1及び3号線：歩道部 (3-10)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.30	3.00	3.78	3.4500
2	3.00	3.78	2.30	3.4500
3	74.00	2.10	74.03	77.7000
4	74.00	2.10	74.03	77.7000
5	2.10	1.80	2.77	1.8900
6	1.80	2.77	2.10	1.8900
7	5.00	5.40	7.36	13.5000
8	6.04	7.36	2.30	6.2161
9	2.10	2.70	3.42	2.8350
10	2.10	2.70	3.42	2.8350
11	3.40	5.00	6.05	8.5000
12	5.00	6.05	3.40	8.5000
合計				208.4661
面積				208.47m ²

(市道) 城南1及び5号線：車道部 (3-4-15-15)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	3.30	3.30	4.67	5.4450
2	3.30	4.67	3.30	5.4450
3	5.00	7.30	8.85	18.2500
4	7.30	8.85	5.00	18.2500
5	6.80	1.70	7.01	5.7800
6	6.80	1.70	7.01	5.7800
7	4.90	6.80	8.38	16.6600
8	2.20	7.32	8.38	7.4919
合計				83.1019
面積				83.10m ²

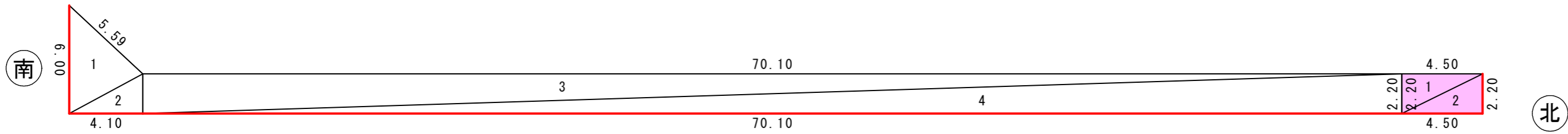
区画線 外側線 (W=150) 1.7m 停止線 (W=300) L=2.2m
 法定外標示 (ト'ットライン)
 W=300*L=500, L=5.0m (N=10)

(市道) 城南3号線：車道部 (3-4-15-19)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.20	1.10	2.46	1.2100
2	3.20	2.46	3.04	3.5193
3	1.50	5.60	5.80	4.2000
4	5.60	5.80	1.50	4.2000
5	3.50	2.70	4.42	4.7250
6	3.19	4.42	1.80	2.4293
7	91.60	1.70	91.62	77.8598
8	91.60	1.70	91.62	77.8598
合計				176.0032
面積				176.00m ²

区画線 外側線 (W=150) 91.6m
 停止線 (W=300) L=1.7m
 文字 (止まれ)

(市道) 城南4号線 1:250



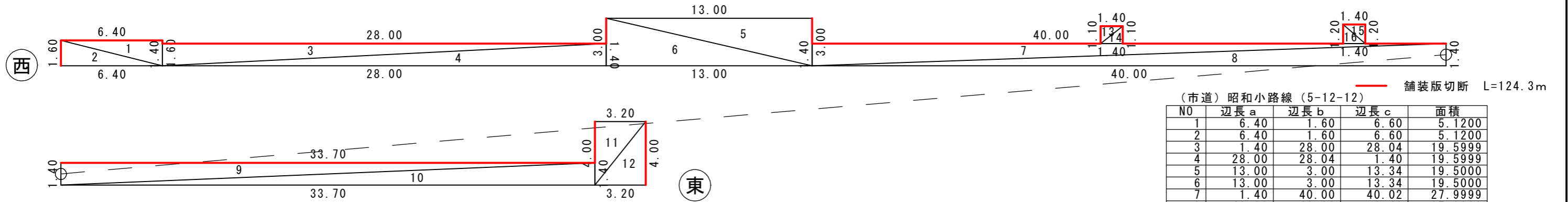
(市道) 城南4号線 (5-12-12) 舗装版切断 L=86.9m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	6.00	5.59	4.65	12.2934
2	4.10	4.65	2.20	4.5100
3	2.20	70.10	70.13	77.1098
4	70.10	70.13	2.20	77.1098
合計				171.0230
面積				171.02m ²

(市道) 城南4号線 (5-12-12)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.20	4.50	5.01	4.9500
2	4.50	5.01	2.20	4.9500
合計				9.9000
面積				9.90m ²

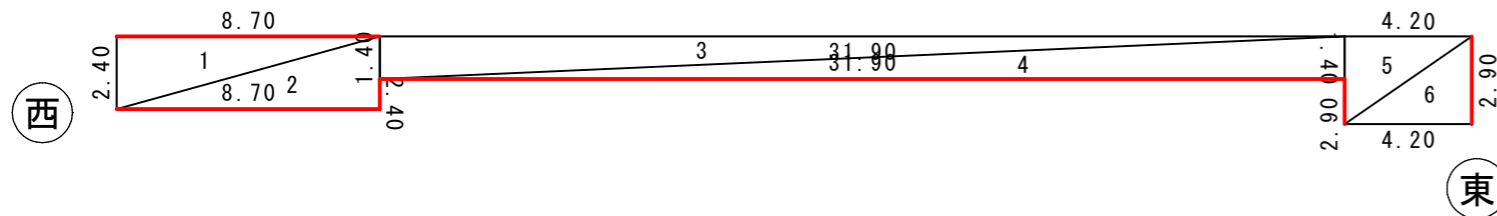
(市道) 昭和小路線 1:250



(市道) 昭和小路線 (5-12-12) 舗装版切断 L=124.3m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	6.40	1.60	6.60	5.1200
2	6.40	1.60	6.60	5.1200
3	1.40	28.00	28.04	19.5999
4	28.00	28.04	1.40	19.5999
5	13.00	3.00	13.34	19.5000
6	13.00	3.00	13.34	19.5000
7	1.40	40.00	40.02	27.9999
8	40.00	40.02	1.40	27.9999
9	1.40	33.70	33.73	23.5900
10	33.70	33.73	1.40	23.5900
11	4.00	3.20	5.12	6.4000
12	3.20	5.12	4.00	6.4000
13	1.10	1.40	1.78	0.7700
14	1.40	1.78	1.10	0.7700
15	1.40	1.20	1.84	0.8400
16	1.40	1.20	1.84	0.8400
合計				207.6396
面積				207.64m ²

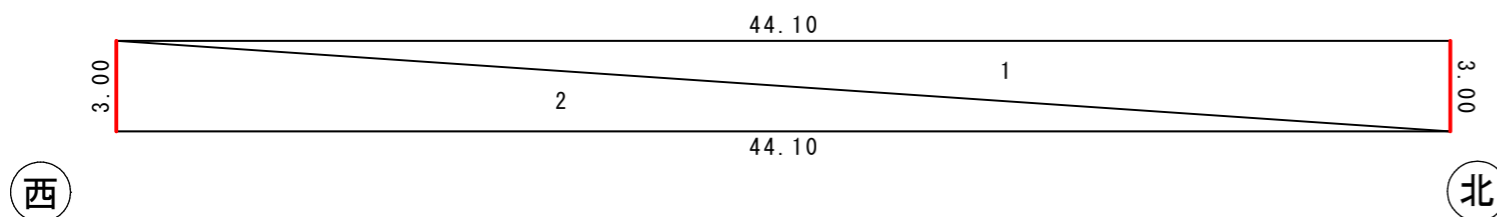
(市道) 荒町3号線 1:250



(市道) 荒町3号線 (5-12-12) 舗装版切断 L=54.7m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.40	8.70	9.03	10.4400
2	8.70	9.03	2.40	10.4400
3	1.40	31.90	31.93	22.3300
4	31.90	31.93	1.40	22.3300
5	2.90	4.20	5.10	6.0900
6	4.20	5.10	2.90	6.0900
合計				77.7200
面積				77.72m ²

(市道) 北町3号線 1:250



(市道) 北町3号線 (5-12-12) 舗装版切断 L=6.0m

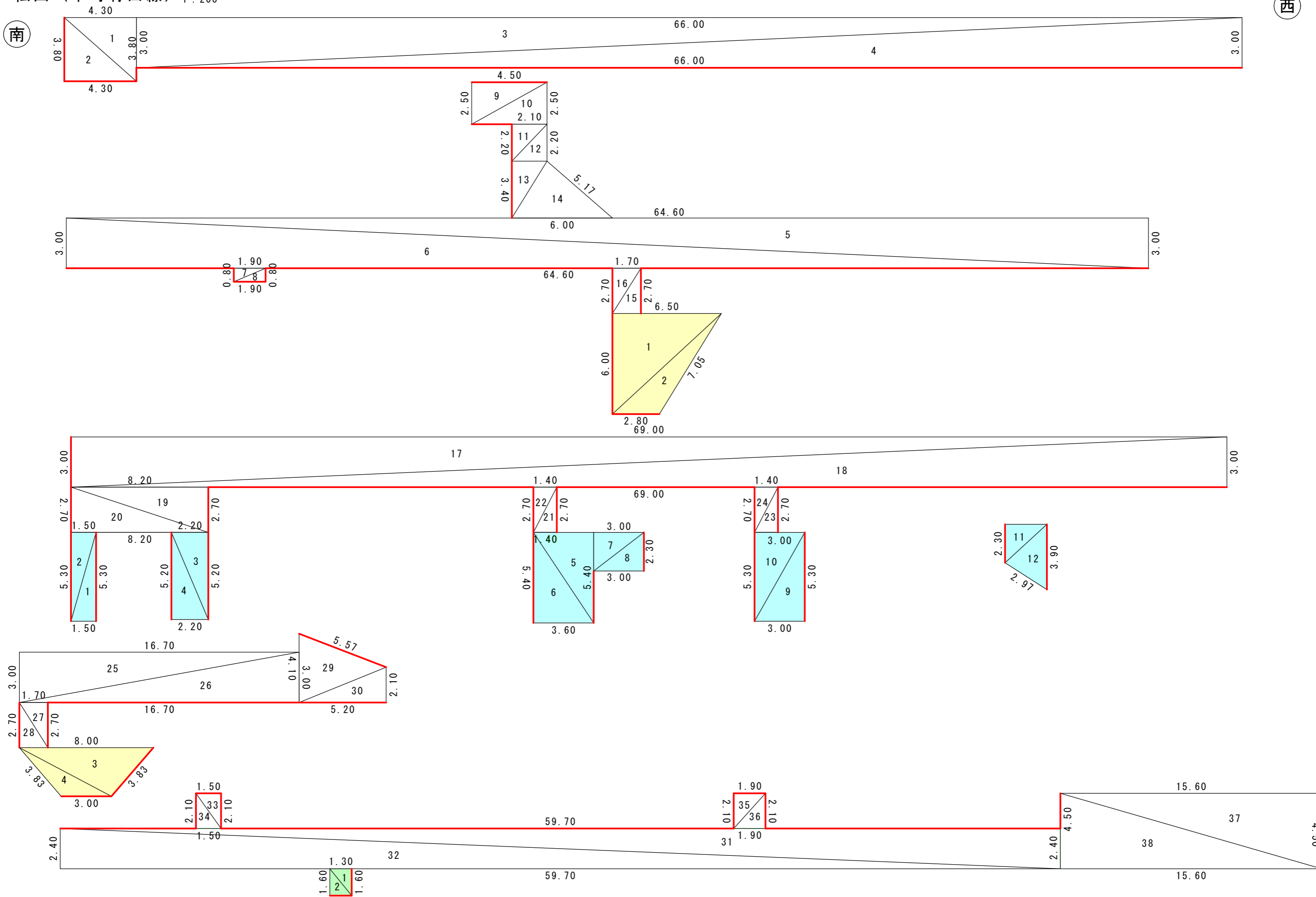
NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	44.10	3.00	44.20	66.1500
2	44.10	3.00	44.20	66.1500
合計				132.3000
面積				132.30m ²

松山 (本町竹田線) 1:200

法定外路線

南

西



松山（本町竹田線）

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	4.30	3.80	5.74	8.1700
2	4.30	3.80	5.74	8.1700
3	3.00	66.00	66.07	99.0000
4	66.00	66.07	3.00	99.0000
5	64.60	3.00	64.67	96.9000
6	64.60	3.00	64.67	96.9000
7	0.80	1.90	2.06	0.7600
8	1.90	2.06	0.80	0.7600
9	2.50	4.50	5.15	5.6250
10	4.50	5.15	2.50	5.6250
11	2.20	2.10	3.04	2.3100
12	2.10	3.04	2.20	2.3100
13	3.40	2.10	4.00	3.5700
14	6.00	4.00	5.17	10.2022
15	2.70	1.70	3.19	2.2950
16	2.70	1.70	3.19	2.2950
17	3.00	69.00	69.07	103.4999
18	69.00	69.07	3.00	103.4999
19	8.20	2.70	8.63	11.0700
20	8.20	2.70	8.63	11.0700
21	2.70	1.40	3.04	1.8900
22	2.70	1.40	3.04	1.8900
23	2.70	1.40	3.04	1.8900
24	2.70	1.40	3.04	1.8900
25	3.00	16.70	16.97	25.0500
26	16.70	16.97	3.00	25.0500
27	1.70	2.70	3.19	2.2950
28	2.70	3.19	1.70	2.2950
29	4.10	5.57	5.61	10.6606
30	5.20	5.61	2.10	5.4600
31	59.70	2.40	59.75	71.6400
32	59.70	2.40	59.75	71.6400
33	1.50	2.10	2.58	1.5750
34	1.50	2.10	2.58	1.5750
35	2.10	1.90	2.83	1.9950
36	1.90	2.83	2.10	1.9950
37	15.60	4.50	16.24	35.1000
38	15.60	4.50	16.24	35.1000
			合計	972.0226
			面積	972.02m ²

—— 舗装切断L=354.77m

松山（本町竹田線）歩道部

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	5.30	1.50	5.51	3.9750
2	5.30	1.50	5.51	3.9750
3	2.20	5.20	5.65	5.7200
4	5.20	5.65	2.20	5.7200
5	3.60	5.40	6.49	9.7200
6	3.60	5.40	6.49	9.7200
7	2.30	3.00	3.78	3.4500
8	3.00	3.78	2.30	3.4500
9	5.30	3.00	6.09	7.9500
10	5.30	3.00	6.09	7.9500
11	2.30	2.50	3.40	2.8750
12	2.97	3.40	3.90	4.8807
			合計	69.3857
			面積	69.39m ²

—— 舗装切断L=48.6m

松山（本町竹田線）民地 (歩道)

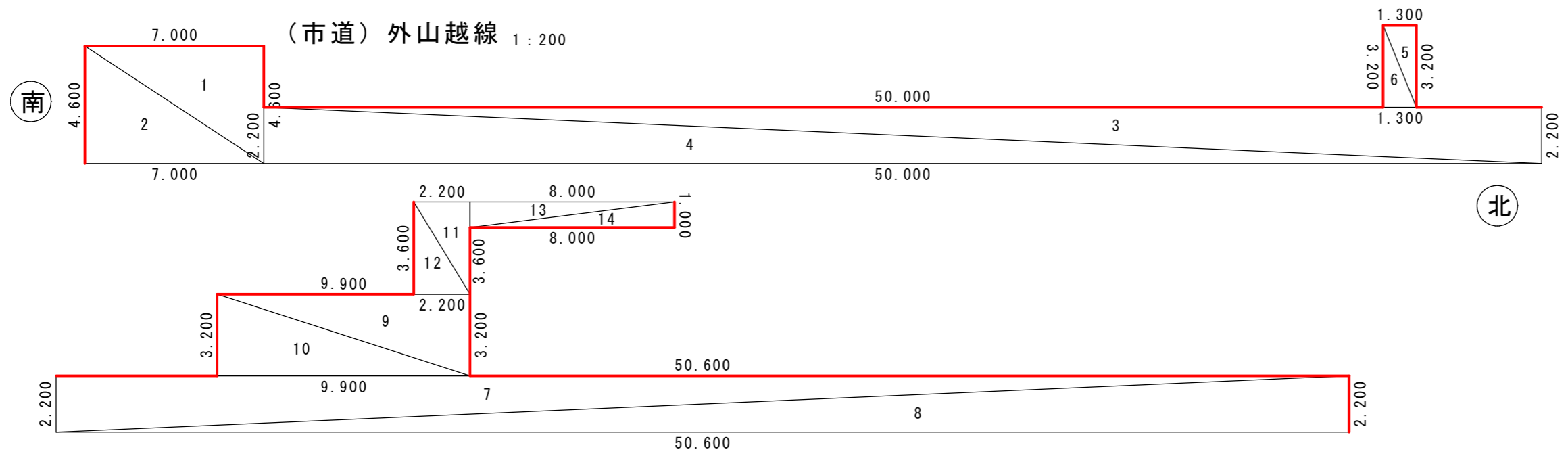
NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	1.30	1.60	2.06	1.0400
2	1.30	1.60	2.06	1.0400
			合計	2.0800
			面積	2.08m ²

—— 舗装切断L=2.9m

松山（本町竹田線）城西3号線 (5-15-20)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	6.00	6.50	8.85	19.5000
2	2.80	8.85	7.05	8.3922
3	8.00	3.83	6.22	11.6103
4	3.83	6.22	3.00	4.3481
			合計	43.8506
			面積	43.85m ²

—— 舗装切断L=15.63m

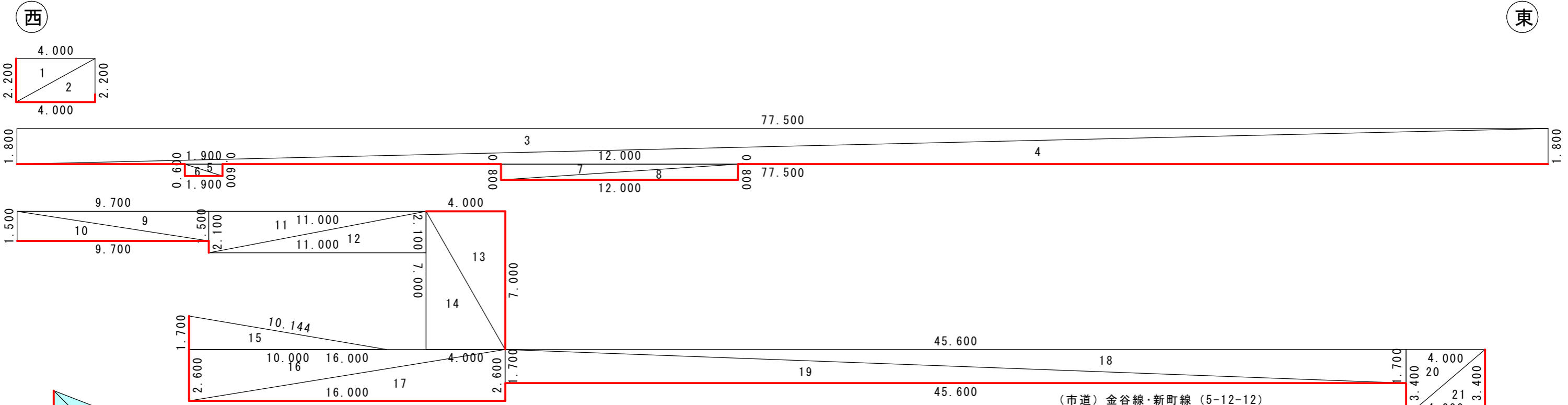


(市道) 外山越線 (5-10-25) 舗装版切断 L=144.8m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	7.000	4.600	8.376	16.1000
2	7.000	4.600	8.376	16.1000
3	50.000	2.200	50.048	55.0000
4	50.000	2.200	50.048	55.0000
5	1.300	3.200	3.454	2.0800
6	3.200	3.454	1.300	2.0800
7	2.200	50.600	50.648	55.6600
8	50.600	50.648	2.200	55.6600
9	9.900	3.200	10.404	15.8400
10	9.900	3.200	10.404	15.8400
11	2.200	3.600	4.219	3.9600
12	3.600	4.219	2.200	3.9600
13	1.000	8.000	8.062	4.0000
14	8.000	8.062	1.000	4.0000
合計				305.2800
面積				305.280m ²

区画線 外側線 107.6+10.2=117.8m
中央線 5.0×2本=10.0m

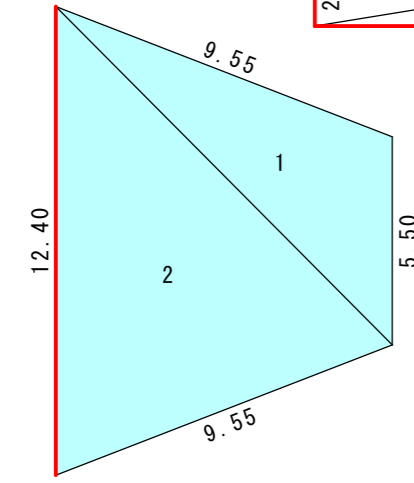
(市道) 金谷線・新町線 1:200



(市道) 金谷線・新町線 (5-12-12)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.200	4.000	4.565	4.4000
2	4.000	4.565	2.200	4.4000
3	1.800	77.500	77.521	69.7500
4	77.500	77.521	1.800	69.7500
5	1.900	0.600	1.993	0.5700
6	1.900	0.600	1.993	0.5700
7	0.800	12.000	12.027	4.8000
8	12.000	12.027	0.800	4.8000
9	9.700	1.500	9.815	7.2750
10	9.700	1.500	9.815	7.2750
11	2.100	11.000	11.199	11.5500
12	11.000	11.199	2.100	11.5500
13	4.000	7.000	8.062	14.0000
14	7.000	8.062	4.000	14.0000
15	10.144	10.000	1.700	8.5000
16	2.600	16.000	16.210	20.8000
17	16.000	16.210	2.600	20.8000
18	45.600	1.700	45.632	38.7600
19	45.600	1.700	45.632	38.7600
20	3.400	4.000	5.250	6.8000
21	4.000	5.250	3.400	6.8000
合計				365.9100
面積				365.910m ²

舗装版切断 L=183.7m



松山 (金谷線・新田線) 土木課施工分

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	9.55	5.50	12.62	24.5787
2	9.55	12.40	12.62	55.2816
合計				79.8603
面積				79.8603m ²

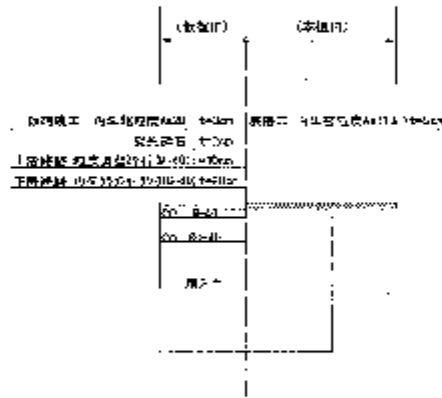
領収書B数量集計表			表数										計		備考		
工種	名称	単位	D-1標準		D-1標準		D-2,3標準		D-4標準		D-5標準		D-6標準		F	B/Aの比率	備考
			7/10 8-12	6/10 8-12-20	8/10 E-10-20	9/10	9-10	5-5-12-43	5-10-15	11-9標準 10/10 10-20	8-10標準 9-20						
建築職工	建築安全助	10mm ²	122.5	6.1	74.3	6.8	38.1	22.7	25.3	10.0	305.8	310	m	10m単位 1000円未満は1m			
	防振減振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ² 防振用鋼板 0.45t 100kg ² 防振用鋼板 0.45t 100kg ²	218.2	7.5	444.2	1,263.1	86.2	50.4	66.2	310.0	2,453.8	2450	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	A-4防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	7.7	0.3	22.2	46.5	8.9	2.5	3.2	15.5	111.8	112	m ³	1m ³			
	A-4防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	7.7	0.3	22.2	46.5	8.9	2.5	3.2	15.5	111.8	112	m ³	1m ³			
	防振材防振材	防振用鋼板	0.12	0.01	0.07	0.01	0.04	0.02	0.03	0.01	0.4	0.4	m ³				
	防振材防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	0.17	0.01	0.10	0.01	0.06	0.03	0.04	0.01	0.5	0.5	t				
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	0.1	-	-	4.0	-	3.5	-	7.6	8	m ³	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	0.1	-	-	4.0	-	3.5	-	7.6	8	m ³	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	0.1	-	-	4.0	-	3.5	-	7.6	8	m ³	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	0.1	-	-	4.0	-	3.5	-	7.6	8	m ³	10m単位 1000円未満は1m			
建築職工	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	90.5	7.5	444.2	398.3	68.9	50.4	48.7	310.0	1,418.5	1420	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	125.7	-	-	-	-	-	-	-	125.7	126	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	364.8	-	-	-	-	364.8	365	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	-	-	17.5	-	17.5	18	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	27.3	-	-	-	27.3	27	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
建築職工	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	96.2	-	-	-	96.2	96	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	-	-	66.2	-	66.2	66	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	218.2	-	-	1,263.1	-	-	-	-	1,479.3	1480	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	7.5	444.2	-	-	-	-	310.0	701.7	702	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	-	96.2	-	-	96.2	96	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	-	-	50.4	-	50.4	50	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	-	-	66.2	-	66.2	66	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	50.7	-	-	-	50.7	51	m ²	10m単位 1000円未満は1m			
	建築職工	防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	14.0	-	-	-	-	-	14.0	14	m	1m		
		防振材	防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	2	m	1m		
防振材		防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	11.6	-	-	-	11.6	12	m	1m			
防振材		防振用鋼板 0.45t 100kg ²	-	-	-	-	33.0	-	-	-	33.0	33	m	1m			

舗装工	B-1路線	市条地内	実施
市道公園線 (3-10) 再生粗粒度As13 <div style="text-align: center;"> <p>市条地内 (市道) 公園線 (歩道部)</p> <p>既設舗装 再生粗粒度As13 t=3cm, 新設工 再生粗粒度As13D=2.5t 下層部 再生As13 t=10~40 t=10cm</p> </div>			
仮舗装面積の合計		90.46	= 90.46 既設舗装厚 L=4cm
名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t≦15cm	122.50	= 122.50 / 122.5 / m
舗装破碎工	BH0.45m ³ t≦15cm	216.17	= 216.17 / 216.2 / m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D/D無し	(216.17 / 90.46 /) × 0.040 /	5.0 / m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D/D無し	90.46 / × 0.03 / 仮舗装 既設舗装	2.7 / m ³
As殻廃材処理	物流部砂利工業所 10.5km	5.0 / + 2.7 / 既設舗装 仮舗装	7.7 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組 (庄内町)	122.50 / × 0.001 /	0.12 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 12.7km	0.12 × 1.400	0.17 t
不陸修正	補足材なし	90.46	90.5 m ²
不陸修正	補足材あり/ t=10mm, RS-40	216.17 - 90.46 = 125.71	125.7 m ²
1.4m以上 表層工 (歩道部)	再生粗粒度As13 t=3cm	PK-3 216.17	215.2 m ²

舗装工	B-1路線	市条地内	実施
-----	-------	------	----

市道公園線 (5-10-20)
再生密粒度As13F

市条地内
(市道) 公園線



仮舗装面積の合計 2.87 = 2.87'

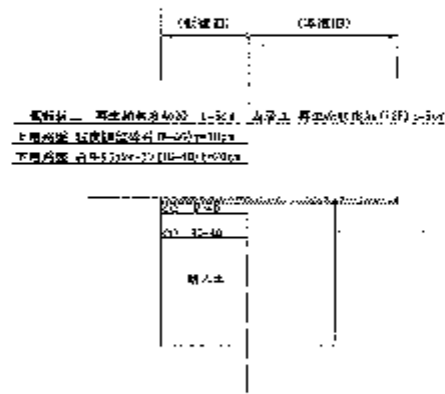
既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	6.10	=	6.10 m
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	7.48	=	7.5 m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ . DT10t DID無し	(7.48 - 2.87) 土半 既設舗装	× 0.050 既設舗装厚	0.2 m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ . DT10t DID無し	2.87 仮舗装	× 0.03 既設舗装厚	0.1 m ³
As殻廃材処理	輸送部砂利工業所 10.5km	0.2 既設舗装	+ 0.1 仮舗装	0.3 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	6.10	× 0.001	0.01 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 12.7cm	0.01	× 1.400	0.01 t
床掘り	BH0.45m ³	2.87	× 0.02	0.1 m ²
土砂等運搬	DID無し BH0.45m ³	2.87	× 0.02	0.1 m ²
残土処分工	土砂、1B.0km 輸送部砂利	2.87	× 0.02	0.1 m ²
不陸修正	補足材なし	7.48		7.5 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	PK-3	7.48	7.5 m ²

舗装工	B-2, 4, 5路線	市条地内	実施
-----	-------------	------	----

市道水上ノ前線ほか (B-10-20)
再生密粒度As13F

市条地内
(市道) 水上村ノ前線ほか



既設舗装面積の合計 $7.25 + 114.89 = 122.14$

既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	$20.00 + 34.60 + 19.70 = 74.30$	74.3 m
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	$60.00 + 107.88 + 276.33 = 444.21$	444.2 m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BH0.45t-3, DT10L DID無し	$(444.21 - 122.14) \times 0.050$	16.1 m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BH0.45t-3 DT10L DID無し	122.14×0.05	6.1 m ³
As殻腐材処理	減渡部砂利工業所 f0.5km	$16.1 + 6.1$	22.2 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	74.30×0.031	0.07 m ³
舗装切断排水運搬工	2t板2.9t吊 12.7km	0.07×1.400	0.10 t
不陸整正	補足材なし	444.21	444.2 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	444.21 PK 3	444.2 m ²
区画線工 (止まれ)	溶融式・15cm横溝 白色 文字	$(止 ま 6.75, 止 7.26) \times 1$ 5箇所	14.0 m
区画線工 (停止線)	溶融式、W=30cm 白色、ゼブラ	停止線 別紙より 2.00	2.0 m

舗装工	B-3路線	市条地内	実施
-----	-------	------	----

国道344号 (3-10)

再生細粒度As13

市条地内
国道344号 (歩道)



仮舗装面積の合計 398.25 = 398.25

既設舗装厚 t=4cm

名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	4.60' + 2.20' = 6.80	6.8' m
舗装破碎工	BH0. 45m ³ t ≤ 15cm	666.44' + 596.64' = 1263.08	1263.1' m ²
As投込み工 (既設舗装)	BH0. 45m ³ , DT10t D10無し	(1263.08' (- 398.25')) × 0.040' / 七休 仮舗装面積 既設舗装厚	34.6' m ³
As投込み工 (仮舗装)	BH0. 45m ³ , DT10t D10無し	398.25' × 0.03' / 仮舗装 既設舗装厚	11.9' m ³
As搬出処理	陶渡部砂利工業所 10.5km	34.6' + 11.9' / 既設舗装 仮舗装	46.5' m ³
舗装切断排水処分	安藤組 (庄内町)	6.80' × 0.001' /	0.01' m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 12.7km	0.01' × 1.400' /	0.01' t
不陸整正	補足材なし	398.25' /	398.3' m ²
不陸整正	補足材あり ≧10mm, W-40	1263.08' - 398.250' = 864.83	864.8' m ²
1.4m以上 表層工 (歩道部)	再生細粒度As13 t = 3cm	1263.08' / PK-3	1263.1' m ²

舗装工	B-3路線	市条地内	実施
344号・345号 (5-5-12-47) 密粒度As20F改質II型 再生粗粒度As20			
市条地内 国道344号・345号(車道部)			
仮舗装面積の合計		14.05	既設舗装厚 t=10cm
名 称	形 状 寸 法	計 算	数 量
舗装板切斷工	t ≤ 5cm	13.90 × 25.10 = 38.10	38.1 m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 5cm	48.50 × 50.70 = 96.20	96.2 m ²
As敷処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , 270t D/D無し	(96.20 14.05) × 0.10	8.2 m ³
As敷処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , 6710t D/D無し	14.05 × 0.05 仮舗装	0.7 m ³
As敷廃材処理	概算部砂利工業所 10.5km	8.2 - 0.7 既設舗装 仮舗装	8.9 m ³
舗装切斷排水処分	安藤組(白内町)	38.10 × 0.001	0.04 m ³
	2t級2.0t吊	0.04 × 1.400	0.06 t
舗装切斷排水機械工	12.7cm		
床掘り	BH0.45m ³	14.05 × 0.17 = 2.39 (合計) 28.16 × 0.47 × 0.12 = 1.59 3.98	3.98 m ²
土砂等運搬	D/D無し BH0.45m ³	14.05 × 0.17 = 2.39 (合計) 28.16 × 0.47 × 0.12 = 1.59 3.98	3.98 m ²
秋土処分工	土砂、19.0km 迅速砂利	14.05 × 0.17 = 2.39 (合計) 28.16 × 0.47 × 0.12 = 1.59 3.98	3.98 m ²
不陸整正	補正材なし	96.20 - 27.29 = 68.91	68.9 m ²
上層路盤工	粒状As20F改質II型 t=12cm	14.05 - 13.24 = 0.81 (合計) (28.16 × 0.47)	27.29 m ²
3.0m超 基層工	再生粗粒度As20 t=5cm	PK-3	96.2 m ²
3.0m超 表層工	密粒度As20F改質II型 t=5cm	PK-4	96.2 m ²
薄層カラー舗装工	RPN-301	50.70	50.7 m ²
区画線工 (実線)	溶融式、W=15cm 白色、実線	別紙より 外側線 + 中央線 = 合計 11.08 + 0.50 = 11.58	11.6 m
区画線工 (横断歩道)	溶融式、W=45cm 白色、ゼブラ	別紙より 横断歩道 33.00	33.0 m

舗装工	B-3路線	市条地内	実施
344号 (5 10 15) 再生密粒度As20F <div style="text-align: center;"> 市条地内 国道344号 (乗入部4.0m以下準用) </div> <div style="text-align: center;"> <p> <small> 新舗装工 再生密粒度As20F t=5cm (既設舗装) 再生密粒度As20F (既設) t=5cm 上層舗装 再生密粒度As20F t=15cm 下層舗装 再生密粒度As20F t=15cm </small> </p> </div>			
仮舗装面積の合計		16.22	= 16.22
既設舗装厚 t=5cm			
名 称	形 状 寸 法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	4.80 + 17.90 = 22.70	22.7 m
舗装破砕工	BHO. 45m ³ t ≤ 15cm	11.04 + 39.38 = 50.42	50.4 m ²
As殺処分工 (既設舗装)	BHO. 45m ³ , DT10t DID無し	(50.42 - 16.22) × 0.050 <small>合計 既設舗装面積 既設舗装厚</small>	1.7 m ³
As殺処分工 (仮舗装)	BHO. 45m ³ , DT10t DID無し	16.22 × 0.05 <small>仮舗装 仮舗装厚</small>	0.8 m ³
As殺廃材処理	茨城県砂利工業所 10.5km	1.7 + 0.8 <small>既設舗装 仮舗装</small>	2.5 m ³
舗装切断排水処分	安藤組 (庄内町)	22.70 × 0.001	0.02 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.0t吊 12.7km	0.02 × 1.400	0.03 t
不陸整正	補足材なし	50.42	50.4 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As20F t = 5cm	50.42 PK-3	50.4 m ²

舗装工	B-3路線	市条地内	実施
344号 (5-10-10-20) 再生密粒度As20F 再生粗粒度As20 市条地内 国道344号 (乗入部8.0m以上)			
仮舗装面積の合計		17.50	= 17.50
既設舗装厚 t=15cm			

名 称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	25.30	=	25.30
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	66.19	=	66.19
As処分分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t DID無し	(66.19 - 17.50) 全体 既設舗装	× 0.150 既設舗装厚	7.3 m ³
As処分分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10t DID無し	17.50 仮舗装	× 0.05 既設舗装厚	0.9 m ³
As処分材処理	磯原部砂利工業所 10.5km	7.3 既設舗装	+ 0.9 仮舗装	8.2 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	25.30	× 0.001	0.03 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 12.7km	0.03	× 1.400	0.04 t
床張り	BH0.45m ³	17.50	× 0.20	3.5 m ³
土砂等運搬	DID無し BH0.45m ³	17.50	× 0.20	3.5 m ³
残土処分工	土砂、18.0km 南連枝砂利	17.50	× 0.20	3.5 m ³
不陸修正	補足材なし	66.19	- 17.50	= 48.69
上層路盤工	粒径調整砕石(N-40) t=10cm	17.50		17.5 m ²
1.4m以上3.0m以下 基層工	再生粗粒度As20F t=10cm(5cm+5cm)	PK-3	66.19	66.2 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As20F t=5cm	PK-4	66.19	66.2 m ²

舗装工	B-6路線	市条地内	実施
-----	-------	------	----

市道 山本線 (5-20)
再生密粒度As13F

市条地内
(市道) 山本線



仮舗装面積の合計

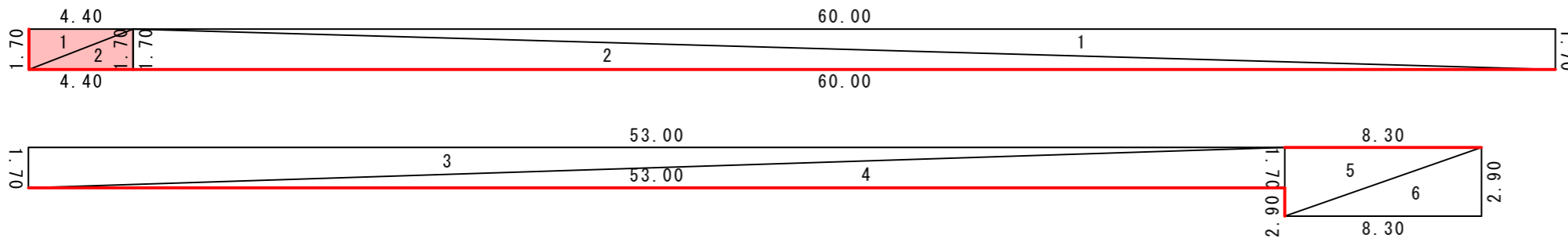
124.73

= 124.73

既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	10.00	10.0 m
舗装破砕土	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	310.00	310.0 m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t DID無し	(310.00 / 124.73) × 0.050	9.3 m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10t DID無し	124.73 × 0.05	6.2 m ³
As殻廃材処理	麻尾部砂利工業所 10.5km	9.3 ÷ 0.6	15.5 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	10.00 × 0.001	0.01 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 18.2km	0.01 × 1.400	0.01 t
不陸整正	積戻材なし	310.00	310.0 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	310.00 PK-3	310.0 m ²

公園線（車道部及び歩道部） 1:250



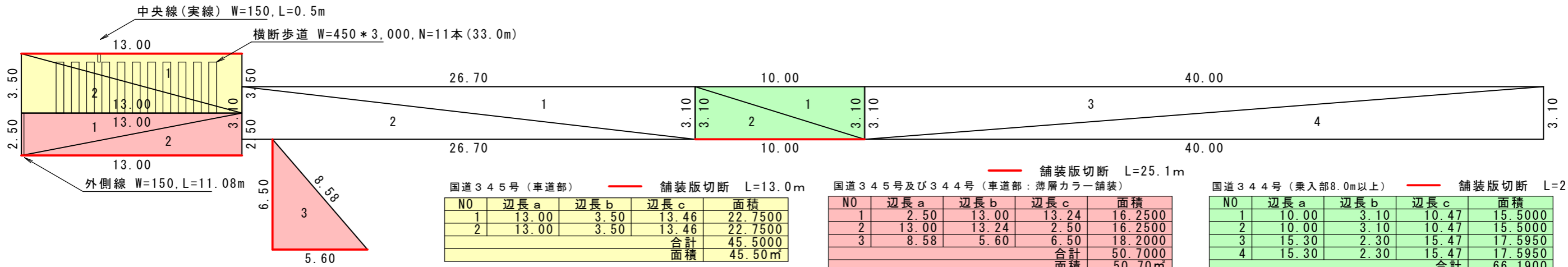
公園線（車道部） 舗装版切断 L=6.1m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	1.70	4.40	4.72	3.7400
2	4.40	4.72	1.70	3.7400
合計				7.4800
面積				7.48m ²

公園線（歩道部） 舗装版切断 L=122.5m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	60.00	1.70	60.02	50.9999
2	60.00	1.70	60.02	50.9999
3	1.70	53.00	53.03	45.0499
4	53.00	53.03	1.70	45.0499
5	2.90	8.30	8.79	12.0350
6	8.30	8.79	2.90	12.0350
合計				216.1696
面積				216.17m ²

国道344号（歩道部及び乗入部） 1:250



国道345号（車道部） 舗装版切断 L=13.0m

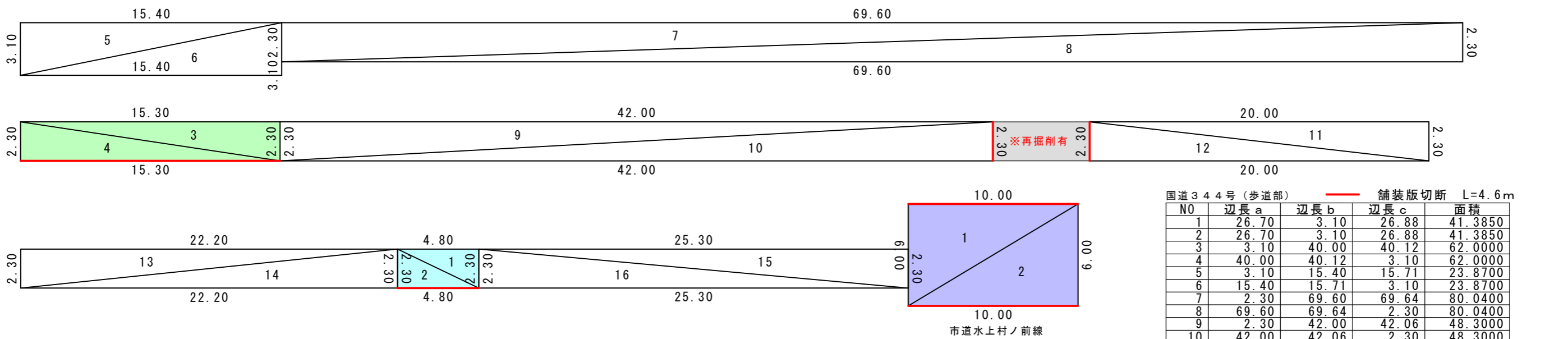
NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	13.00	3.50	13.46	22.7500
2	13.00	3.50	13.46	22.7500
合計				45.5000
面積				45.50m ²

国道345号及び344号（車道部：薄層カラー舗装） 舗装版切断 L=25.1m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.50	13.00	13.24	16.2500
2	13.00	13.24	2.50	16.2500
3	8.58	5.60	6.50	18.2000
合計				50.7000
面積				50.70m ²

国道344号（乗入部8.0m以上） 舗装版切断 L=25.3m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	10.00	3.10	10.47	15.5000
2	10.00	3.10	10.47	15.5000
3	15.30	2.30	15.47	17.5950
4	15.30	2.30	15.47	17.5950
合計				66.1900
面積				66.19m ²



国道344号（乗入部4.0m以下準用） 舗装版切断 L=4.8m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	4.80	2.30	5.32	5.5200
2	4.80	2.30	5.32	5.5200
合計				11.0400
面積				11.04m ²

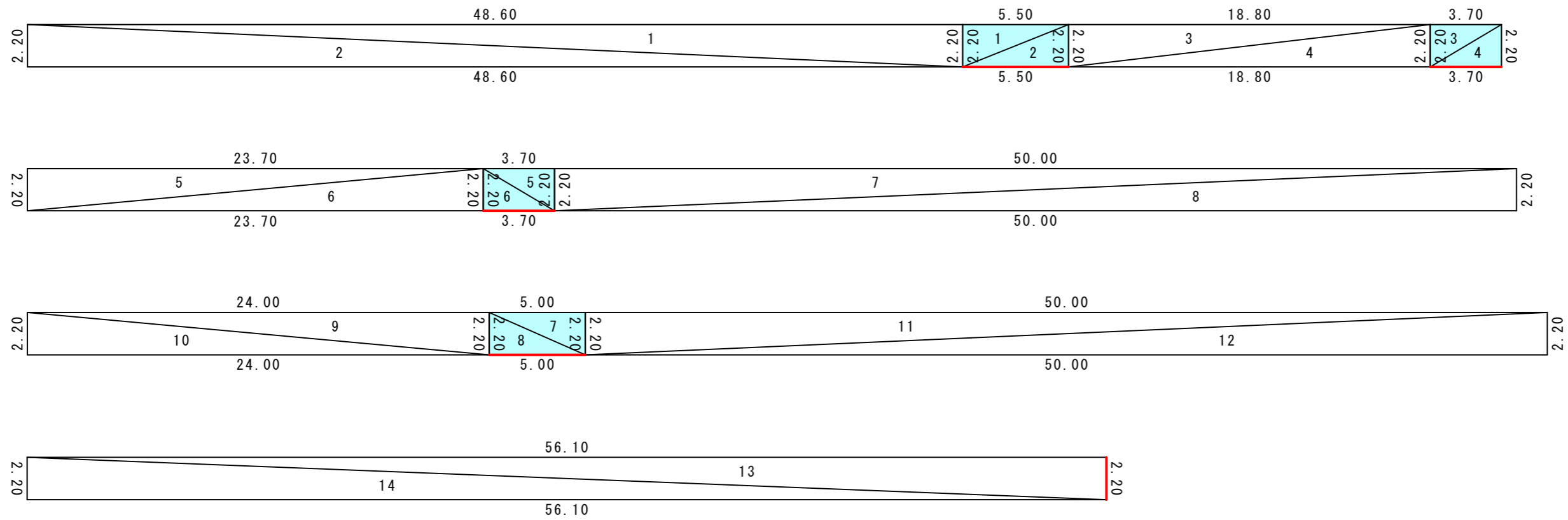
市道水上村ノ前線（車道部：5-10-20） 舗装版切断 L=20.0m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	6.00	10.00	11.66	30.0000
2	10.00	11.66	6.00	30.0000
合計				60.0000
面積				60.00m ²

国道344号（歩道部） 舗装版切断 L=4.6m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	26.70	3.10	26.88	41.3850
2	26.70	3.10	26.88	41.3850
3	3.10	40.00	40.12	62.0000
4	40.00	40.12	3.10	62.0000
5	3.10	15.40	15.71	23.8700
6	15.40	15.71	3.10	23.8700
7	2.30	69.60	69.64	80.0400
8	69.60	69.64	2.30	80.0400
9	2.30	42.00	42.06	48.3000
10	42.00	42.06	2.30	48.3000
11	20.00	2.30	20.13	23.0000
12	20.00	2.30	20.13	23.0000
13	2.30	22.20	22.32	25.5300
14	22.20	22.32	2.30	25.5300
15	25.30	2.30	25.40	29.0949
16	25.30	2.30	25.40	29.0949
合計				666.4398
面積				666.44m ²

国道344号 (歩道部及び乗入部) 1:250



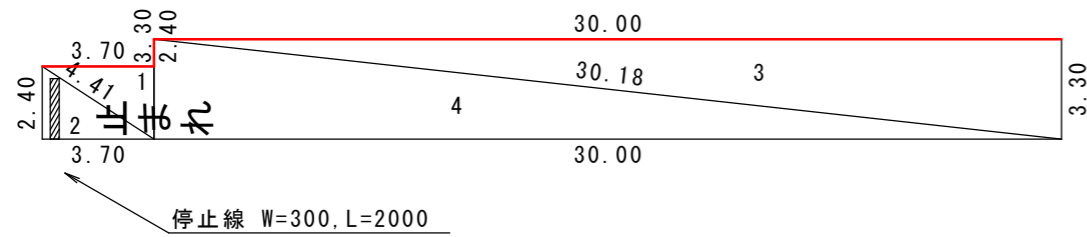
国道344号 (歩道部) 舗装版切断 L=2.2m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	48.60	2.20	48.65	53.4600
2	48.60	2.20	48.65	53.4600
3	2.20	18.80	18.93	20.6800
4	18.80	18.93	2.20	20.6800
5	2.20	23.70	23.80	26.0700
6	23.70	23.80	2.20	26.0700
7	2.20	50.00	50.05	55.0000
8	50.00	50.05	2.20	55.0000
9	24.00	2.20	24.10	26.4000
10	24.00	2.20	24.10	26.4000
11	2.20	50.00	50.05	55.0000
12	50.00	50.05	2.20	55.0000
13	56.10	2.20	56.14	61.7099
14	56.10	2.20	56.14	61.7099
合計				596.6398
面積				596.64m ²

国道344号 (乗入部4.0m以下準用) 舗装版切断 L=17.9m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.20	5.50	5.92	6.0500
2	5.50	5.92	2.20	6.0500
3	2.20	3.70	4.30	4.0700
4	3.70	4.30	2.20	4.0700
5	3.70	2.20	4.30	4.0700
6	3.70	2.20	4.30	4.0700
7	5.00	2.20	5.46	5.5000
8	5.00	2.20	5.46	5.5000
合計				39.3800
面積				39.38m ²

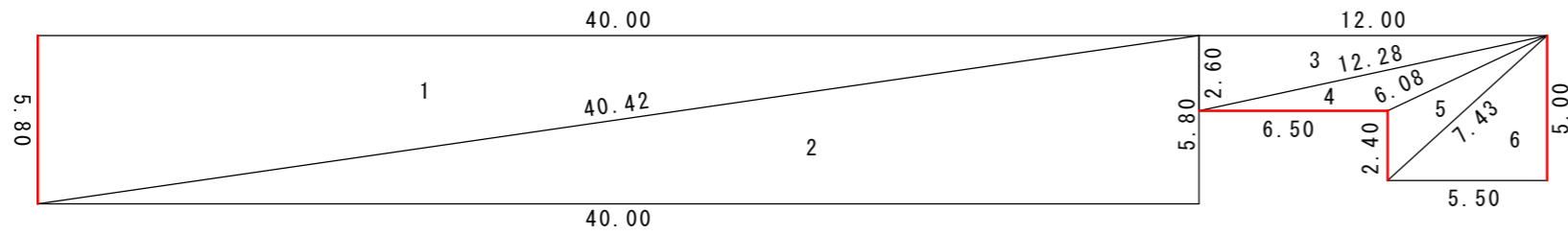
小泉上川原線 1:250



舗装切断 L=34.6m

N0	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	3.70	2.40	4.41	4.44
2	3.70	2.40	4.41	4.44
3	30.00	3.30	30.18	49.50
4	30.00	3.30	30.18	49.50
合計				107.88
面積				107.88㎡

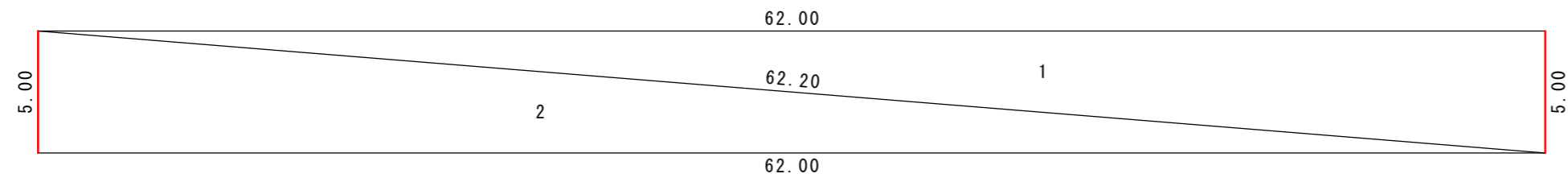
公園1号線 1:250



舗装切断 L=19.7m

N0	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	5.80	40.00	40.42	116.00
2	40.00	40.42	5.80	116.00
3	2.60	12.00	12.28	15.60
4	6.50	12.28	6.08	8.38
5	2.40	6.08	7.43	6.60
6	5.00	5.50	7.43	13.75
合計				276.33
面積				276.33㎡

山本線 1:250



舗装切断 L=10.0m

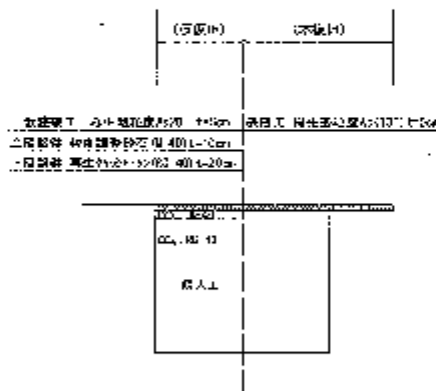
N0	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	62.00	5.00	62.20	155.00
2	62.00	5.00	62.20	155.00
合計				310.00
面積				310.00㎡

舗装復旧工数量集計表			実施				計		計	備考
工 程	名 称	規 格	C-1路線	C-2路線	C-1路線	計	計	計	計	
			市道 5-10-20	市道 5-7-20	法定外 4-10					あむため 数量
舗装除去工	舗装版切削	5cm以下	408.9	2.7	-	411.6	410	m	10m単位 100m未満は1m	
		舗装版破砕	700.6	123.5	18.2	842.3	840	m ²	10m単位 100m未満は1m ²	
	A = 破産撤去	BHC 45m ³ J=10t L=5 9cm D:D無し	35.1	5.6	0.7	41.4	41	m ³	1m ³	
			35.1	5.6	0.7	41.4	41	m ³	1m ³	
	舗装切削排水処分	既設部砂利工事所	0.41	-	-	0.5	0.5	m ³		
			0.57	-	-	0.6	0.6	t		
	床冠り	現場発生高濃液 2-線2.9t層 L=17.1cm	-	0.6	0.03	0.6	1	m ³	100m ³ 未満 1,000m ³ 未満は100m ³ 1,000m ³ 未満は1m ³	
			-	0.6	0.03	0.6	1	m ³	10m単位 100m ³ 未満は1m ³	
	土砂等運搬	BHC 45m ³ L=21.2cm D:D無し	-	0.6	0.03	0.6	1	m ³	10m単位 100m ³ 未満は1m ³	
			-	0.6	0.03	0.6	1	m ³	10m単位 100m ³ 未満は1m ³	
路床工	不陸修正	粗骨材なし	700.6	123.5	18.2	842.3	842	m ²	10m単位 100m ² 未満は1m ²	
			700.6	123.5	-	824.1	824	m ²	10m単位 100m ² 未満は1m ²	
舗装工	表層工	再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 l=5cm プライムコート	-	-	18.2	18.2	18	m ²	10m単位 100m ² 未満は1m ²	
			-	-	18.2	18.2	18	m ²	10m単位 100m ² 未満は1m ²	

舗装工	C-1路線	保岡地内	実施
-----	-------	------	----

市道吉田新田中吉田 (5-10-20)
再生密粒度As13F

保岡地内
(市道) 吉田新田中吉田線



仮舗装面積の合計 (本管) (給水) (試掘)
259.35 - 22.49 + 5.58 = 287.44

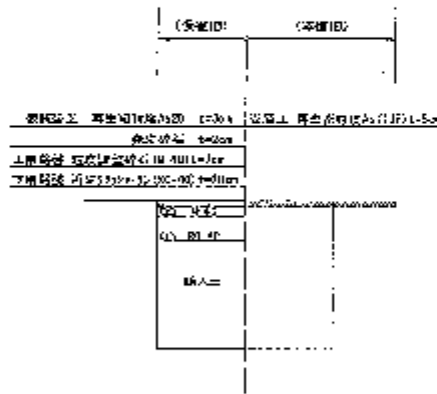
既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	408.90	=	408.90 m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	700.57	=	700.6 m ²
As破砕分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D/D無し	(700.57 - 287.41)	× 0.050	20.7 m ³
As破砕分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D/D無し	287.41 仮舗装	× 0.05 既設厚さ	14.4 m ³
As破廃材処理	既設部砂利工業所 5.9km	20.7 既設舗装	+ 14.4 仮舗装	35.1 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	408.90	× 0.001	0.41 m ³
舗装切断排水運搬	2t級2.9t吊 17.1km	0.41	× 1.400	0.57 t
不陸整正	補足材なし	700.57		700.6 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	PK-3	700.57	700.6 m ²

舗装工	G-2路線	保岡地内	実施
-----	-------	------	----

市道藤塚京屋線 (5-7-20)
再生密粒度As13F

保岡地内
(市道) 藤塚京屋線



(本管) (給水)
仮舗装面積の合計 26.43 - 3.40 = 29.83

既設舗装厚 t=5cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	2.70	=	2.70 m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	123.49	=	123.5 m ²
As殺処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D/D無し	(123.49 - 29.83)	× 0.050	4.7 m ³
As殺処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10t D/D無し	29.83 仮舗装	× 0.03 仮舗装	0.9 m ³
As殺腐材処理	採掘部砂利工事所 5.9km	4.7 既設舗装	+ 0.9 仮舗装	5.6 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	2.70	× 0.001	0.00 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 17.1km /	0.00	× 1.400	0.00 t
床掘り	BH0.45m ³	29.83	× 0.02	0.6 m ²
土砂等運搬	D/D無し BH0.45m ³	29.83	× 0.02	0.6 m ²
残土処分工	土砂、21.2km ³ 消遣枝砂利	29.83	× 0.02	0.6 m ²
不陸整正	補足材なし	123.49		123.5 m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	PK-3	123.49	123.5 m ²

舗装工	C-1路線	保岡地内	実施
-----	-------	------	----

法定外公共物 (4-10)
再生密粒度As13F

保岡地内
法定外公共物 (道路)



仮舗装面積の合計 3.38 /

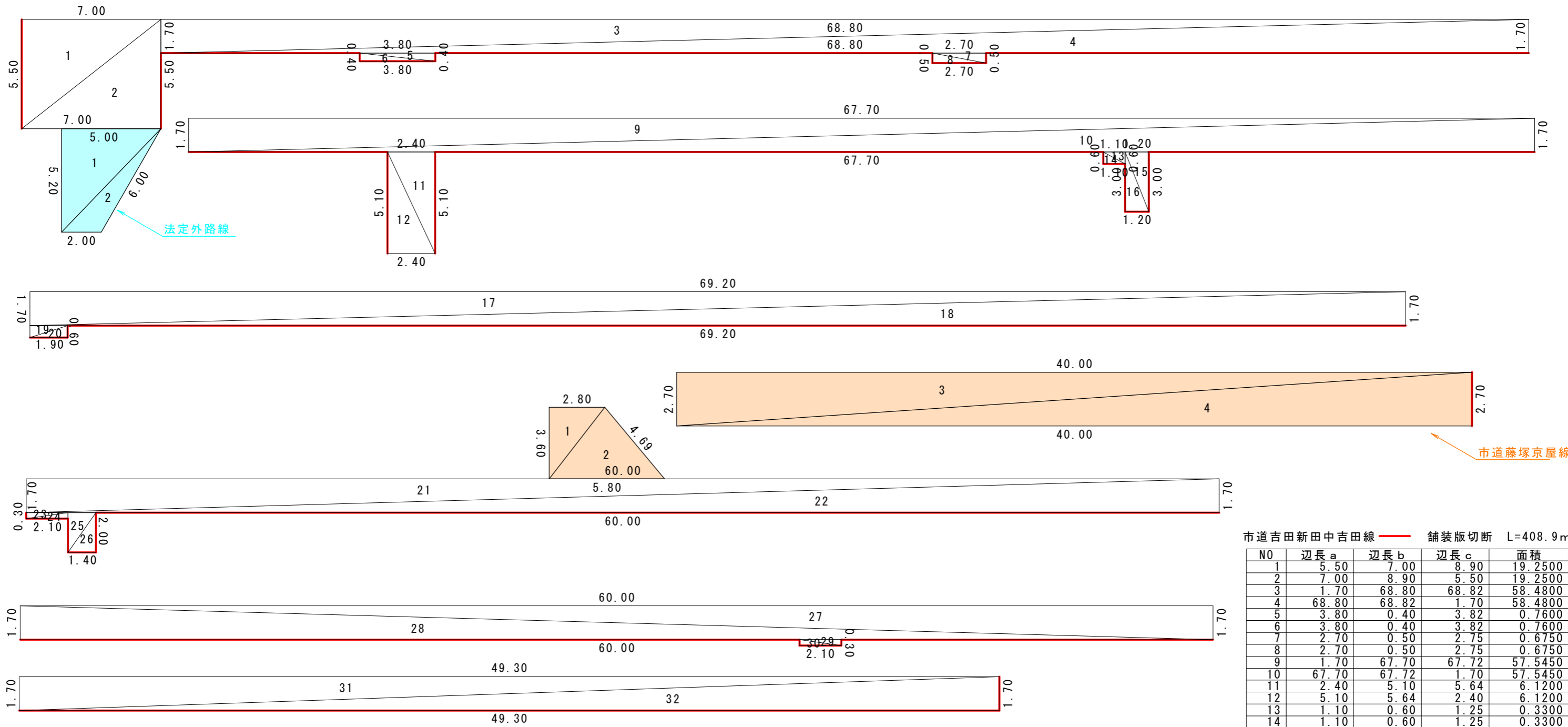
既設舗装厚 t=4cm

名 称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	0.00 /	0.00 m
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	18.20 /	18.2 / m ²
As処分分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , D10t D10無し	(18.20 / - 3.38 /) × 0.04 / ※ 既設舗装厚	0.6 / m ³
As処分分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , D10t D10無し	3.38 / × 0.03 / 仮舗装 既設舗装厚	0.1 m ³
As殻塵材処理	瀬部砂利工業所 5.9km	0.6 / + 0.1 / 既設舗装 仮舗装	0.7 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	0.00 × 0.001	0.00 m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 17.1km /	0.00 × 1.400	0.00 t
麻掘り	BH0.45m ³	3.38 × 0.01	0.03 / m ³
土砂等運搬	D10無し BH0.45m ³	3.38 × 0.01	0.03 / m ³
残土処分工	土砂、21.2km / 海運枝砂利 /	3.38 × 0.01	0.03 / m ³
不陸整正	補足材なし	18.20 /	18.2 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=4cm /	18.20 / PK-3	18.2 / m ²

保岡 1:200

西

東



市道藤塚京屋線 舗装版切断 L=2.7m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	3.60	2.80	4.56	5.0400
2	5.80	4.56	4.69	10.4457
3	2.70	40.00	40.09	54.0000
4	40.00	40.09	2.70	54.0000
合計				123.4857
面積				123.49m ²

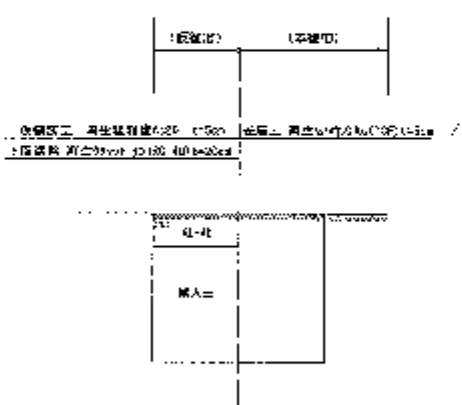
法定外公共物 (道路)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	5.20	5.00	7.21	13.0000
2	2.00	7.21	6.00	5.1984
合計				18.1984
面積				18.20m ²

市道吉田新田中吉田線 舗装版切断 L=408.9m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	5.50	7.00	8.90	19.2500
2	7.00	8.90	5.50	19.2500
3	1.70	68.80	68.82	58.4800
4	68.80	68.82	1.70	58.4800
5	3.80	0.40	3.82	0.7600
6	3.80	0.40	3.82	0.7600
7	2.70	0.50	2.75	0.6750
8	2.70	0.50	2.75	0.6750
9	1.70	67.70	67.72	57.5450
10	67.70	67.72	1.70	57.5450
11	2.40	5.10	5.64	6.1200
12	5.10	5.64	2.40	6.1200
13	1.10	0.60	1.25	0.3300
14	1.10	0.60	1.25	0.3300
15	1.20	3.00	3.23	1.8000
16	3.00	3.23	1.20	1.8000
17	1.70	69.20	69.22	58.8200
18	69.20	69.22	1.70	58.8200
19	0.60	1.99	1.99	0.5700
20	1.99	1.99	0.60	0.5700
21	1.70	60.00	60.02	50.9999
22	60.00	60.02	1.70	50.9999
23	0.30	2.10	2.12	0.3150
24	2.10	2.12	0.30	0.3150
25	2.00	1.40	2.44	1.4000
26	1.40	2.44	2.00	1.4000
27	60.00	1.70	60.02	50.9999
28	60.00	1.70	60.02	50.9999
29	2.10	0.30	2.12	0.3150
30	2.10	0.30	2.12	0.3150
31	1.70	49.30	49.33	41.9050
32	49.30	49.33	1.70	41.9050
合計				700.5696
面積				700.57m ²

舗装復旧工数量集計表			実施				二層：渠下路計 三層：渠上路計	
工種	名称	規格	D-1路線 法定外 5-20	D-2路線 市道 5-20	D-3路線 市道 5-7-20	計	あらかめ 数量	備考
舗装撤去工	舗装板切断	15cm以下	161.7	71.3	113.3	346.3	350 / m	10m単位 100m未満は1m
	舗装板破砕	8H以内積込 0.45m ³ 15cm以下 騒音対策不要	402.1	125.2	239.0	766.3	770 / m ²	10m ² 単位 100m ² 未満は1m ²
	A B 製運搬工	8H0.45m ³ D110 L=3.0km D/D有り	20.1	13.2	18.7	52.0	52 / m ³	1m ³
	A B 級処分	酒井新木工業㈱	20.1	13.2	18.7	52.0	52 / m ³	1m ³
	舗装切断排水処分	側吹葎組	0.16	0.07	0.11	0.3	0.3 / m ³	
	舗装切断排水運搬工	現場養生品運搬 2t積2.0t系 1、13、5km	0.22	0.10	0.15	0.5	0.5 / t	
	路盤工	小陥整正	補足材なし	402.1	43.9	70.4	516.4	516 / m ²
		補足材あり t=20mm M-40	-	-	168.6	168.6	169 / m ²	10m ² 単位 1000m ² 未満は1m ²
	下層路盤工	再生ワカサギSP 30-50 1層仕上げ t=8.5cm、機械施工	-	81.3	-	81.3	81 / m ²	10m ² 単位 1000m ² 未満は1m ²
舗装工	表層工	再生密粒度A13F 1.4m以上2.0m以下 機械施工 t=5cm プライムコート	402.1	125.2	239.0	766.3	766 / m ²	10m ² 単位 1000m ² 未満は1m ²
区画線工	止まれ 溶融式(手動)	文字・15cm模草、白色 塗布厚1.0mm	-	-	14.0	14.0	14 / m	1m

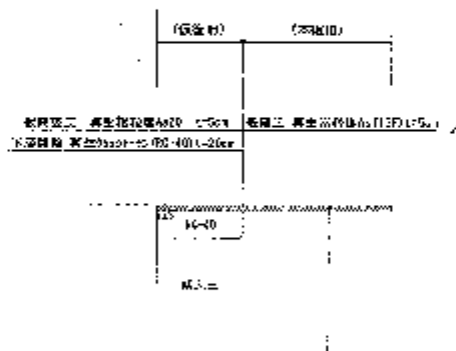
舗装工	D-1路線	幸町一丁目地内	実施
法定外公共物 (5/20) 再生密粒度As13F 幸町一丁目地内ほか (市道) 浜田二丁目1号線他  仮舗装面積の合計 104.32 /			
			既設舗装厚 t=5cm

名 称	形 状 寸 法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	161.70 /	= 161.70 /	161.7 / m
舗装破砕工	BHD. 45m ³ t ≤ 15cm	402.11 /	= 402.11 /	402.1 / m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BHD. 45m ³ , DT10t D10有り	(402.11 / - 104.32 /) 全床	× 0.050 / 既設舗装厚	14.9 / m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BHD. 45m ³ , DT10t D10有り	104.32 / 仮舗装	× 0.05 / 既設舗装厚	5.2 / m ³
As殻廃材処理	酒井鈴木工業株 3.0km	14.9 / 既設舗装	+ 5.2 / 仮舗装	20.1 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	161.70 /	× 0.001 /	0.16 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 13.5km	0.16 /	× 1.400 /	0.22 / t
不陸整正	補足材なし	402.11 /		402.1 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t = 5cm	PK-3	402.11 /	402.1 / m ²

舗装工	D-2路線	浜田二丁目地内	実施
-----	-------	---------	----

市道浜田二丁目1号線 (5.20)
再生密粒度As13F

幸町一丁目地内ほか
(市道) 浜田二丁目1号線他



仮舗装面積の合計

43.87

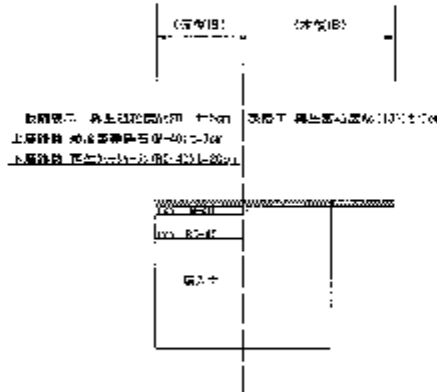
既設舗装厚 t=13.5cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	71.31 /	= 71.31	71.3 / m
舗装破碎工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	125.19 /	= 125.19	125.2 / m ²
As殺処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10L DID有り /	(125.19 / - 43.87 /) 全舗装 既設舗装	× 0.135 / 既設舗装厚	11.0 / m ³
As殺処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ , DT10L DID有り /	43.87 / 仮舗装	× 0.05 / 仮舗装厚	2.2 / m ³
As殺廃材処理	酒井鈴木工業株 3.0km	11.0 / 既設舗装	+ 2.2 / 仮舗装	13.2 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	71.31 /	× 0.001 /	0.07 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 / 13.5km	0.07 /	× 1.400 /	0.10 / t
不陸整正	補足材なし	43.87 /		43.9 / m ²
下層路盤工	再生密粒度As13F t=8.5cm	125.19 /	- 43.87 / = 81.32 /	81.3 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm	PK 3	125.19 /	125.2 / m ²

舗装工	D-3路線	浜田二丁目地内	実施
-----	-------	---------	----

市道浜田二丁目2号線 (5-7-20)
再生密粒度As13F

浜田二丁目地内
(市道) 浜田二丁目2号線



仮舗装面積の合計 70.35

既設舗装厚 t=9cm

名称	形状寸法	計 算		数 量
舗装版切断工	t≤15cm	113.31	× = 113.31	113.3 / m
舗装破碎工	BHD. 45m ³ t≤15cm	238.96	= 238.96	239.0 / m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BHD. 45m ³ , DT10L DID有り	(238.96 - 70.35) 全量 既設舗装	× 0.09 由既設舗装	15.2 / m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BHD. 45m ³ , DT10L DID有り	70.35 仮舗装	× 0.05 既設舗装	3.5 / m ³
As殻廃材処理	酒井鶴木工業精 3.0km	15.2 既設舗装	+ 3.5 仮舗装	18.7 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	113.31	× 0.001	0.11 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 13.5km	0.11	× 1.400	0.15 / t
不陸修正	補足材なし	70.35		70.4 / m ²
不陸修正	補足材あり t=40mm, M-4C	238.96	- 70.35 = 168.61	168.6 / m ²
1.4m以上3.0m以下 装層工	再生密粒度As13F t=5cm	PK 3	238.96	239.0 / m ²
区間線工 (止まれ)	標準式・15cm線算 白色 文字	(止 ま 6.75 札 7.26)	× 1 箇所	14.0 / m

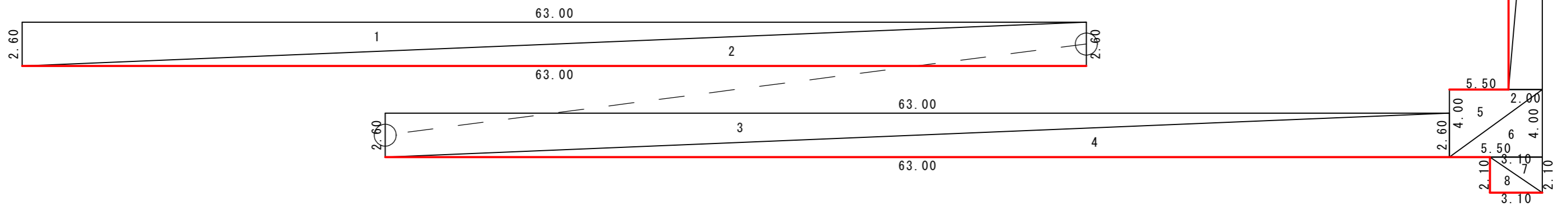
幸町一丁目 (法定外公共物)

1:250

法定外公共物 (道路)

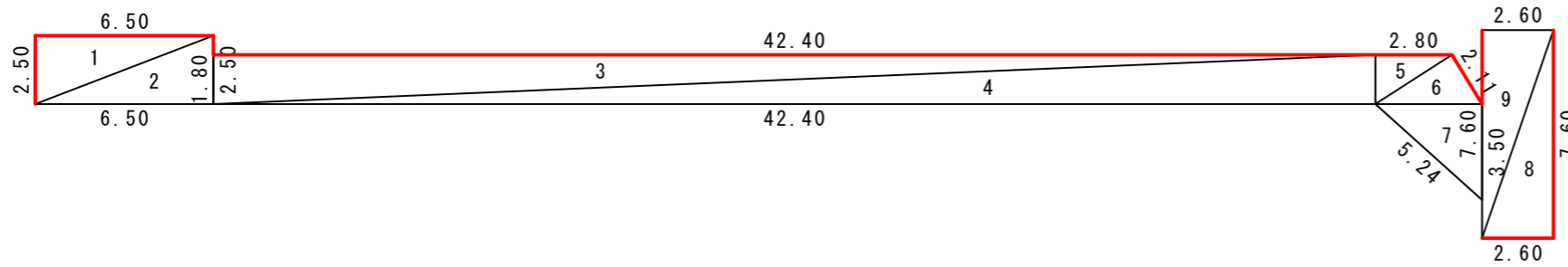
舗装版切断 L=161.7m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.60	63.00	63.05	81.8999
2	63.00	63.05	2.60	81.8999
3	2.60	63.00	63.05	81.8999
4	63.00	63.05	2.60	81.8999
5	4.00	5.50	6.80	11.0000
6	5.50	6.80	4.00	11.0000
7	3.10	2.10	3.74	3.2550
8	3.10	2.10	3.74	3.2550
9	23.00	2.00	23.09	23.0000
10	23.00	2.00	23.09	23.0000
合計				402.1096
面積				402.11m ²



浜田二丁目 (浜田二丁目1号線)

1:250

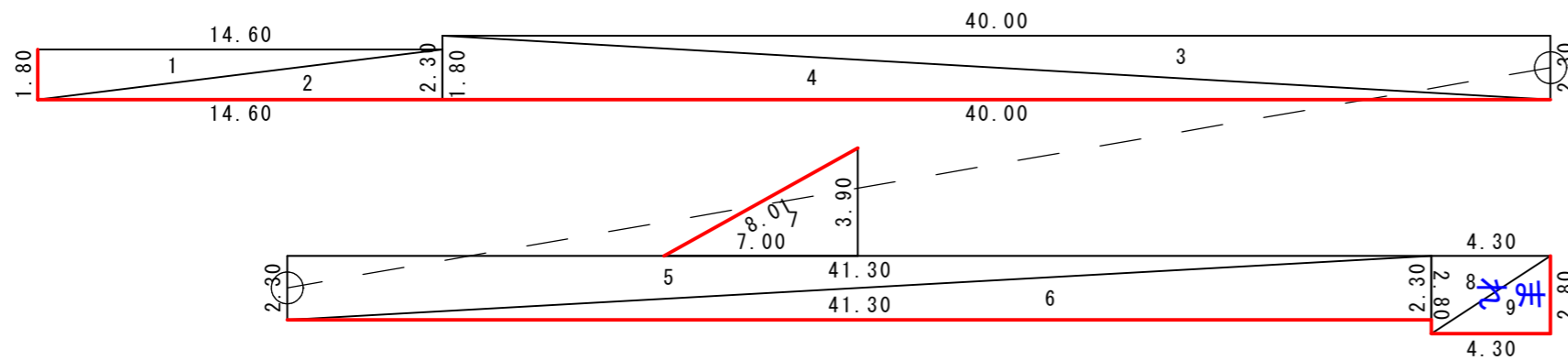


(市道) 浜田二丁目1号線 舗装版切断 L=71.31m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.50	6.50	6.96	8.1250
2	6.50	6.96	2.50	8.1250
3	1.80	42.40	42.44	38.1600
4	42.40	42.44	1.80	38.1600
5	1.80	2.80	3.33	2.5200
6	3.90	3.33	2.11	3.5122
7	3.90	3.50	5.24	6.8250
8	7.60	2.60	8.03	9.8800
9	7.60	2.60	8.03	9.8800
合計				125.1872
面積				125.19m ²

浜田二丁目 (浜田二丁目2号線)

1:250



(市道) 浜田二丁目2号線 舗装版切断 L=113.31m

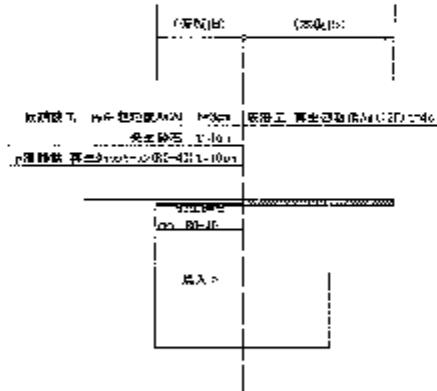
NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	1.80	14.60	14.71	13.1400
2	14.60	14.71	1.80	13.1400
3	40.00	2.30	40.07	45.9999
4	40.00	2.30	40.07	45.9999
5	2.30	41.30	41.36	47.4949
6	41.30	41.36	2.30	47.4949
7	3.90	7.00	8.01	13.6500
8	2.80	4.30	5.13	6.0200
9	4.30	5.13	2.80	6.0200
合計				238.9596
面積				238.96m ²

舗装復旧工数量集計表			実施				上段: 計画設計 下段: 数量集計	
工種	名称	規格	E-1路線	E-2路線	E-2路線	計	あらかめ 数量	備考
			市道他 6-20	市道 6-20	法定外 4-10			
舗装撤去工	舗装撤去切替	15cm以下	134.4	16.7	-	151.1	150	10m単位 100m未満は1m
	舗装板破砕	BH撤去機込 G: 45m3 15cm以下 騒音対策不要	200.9	360.1	16.8	577.8	580	10m単位 100m未満は1m ²
	Aα 搬送巻工	BH: 45m3 D: 10t L: 5 6km D: 0無し	10.0	16.1	0.7	26.8	27	1m3
	Aα 搬送分	搬送部砂利工業所	10.0	16.1	0.7	26.8	27	1m3
	舗装切替排水処分	舗装搬送	0.13	0.02	-	0.2	0.2	m3
	舗装切替排水運搬工	現場発生品運搬機 2t級2.0t吊 L: 18.2km	0.18	0.03	-	0.2	0.2	t
	床掘り	BH: 45m3	-	1.9	0.03	1.9	2	10m単位 100m未満は10m ² 100m未満は1m ²
	土砂等運搬	BH: 45m3 L: 21.8km D: 0無し	-	1.9	0.03	1.9	2	10m単位 100m未満は1m ²
路留工	残土処分工	BH: 45m3、D: 10t 搬送機砂利	-	1.9	0.03	1.9	2	10m単位 100m未満は1m ²
	不陸整正	補足材なし	200.9	360.1	16.8	577.8	578	10m単位 1000m未満は1m ²
舗装工	表層工	再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=5cm プライムコート 再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=4cm プライムコート	200.9	360.1	-	561.0	561	10m単位 1000m未満は1m ²
			-	-	16.8	16.8	17	10m単位 1000m未満は1m ²

舗装工	E-2路線	米島地内	実施
-----	-------	------	----

法定外公共物 (4-10)
再生密粒度As13F

米島地内
法定外公共物 (農道部)

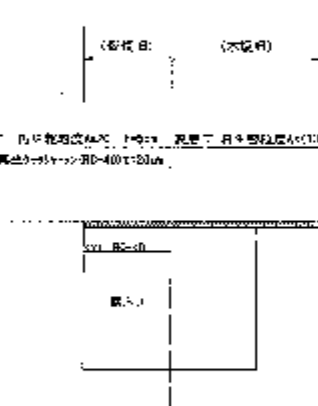


仮舗装面積の合計

3.09

既設舗装厚 t=40mm

名 称	形 状 寸 法	計 算		数 量
舗装版切新工	t ≤ 15cm	0.00	= 0.00	0.0 / m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	16.84	= 16.84	16.8 / m ²
As処分分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ .DT10t D/D無し	(16.84 / - 3.09 /) 全件 既設舗装	× 0.04 既設舗装厚	0.6 / m ³
As処分分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ .DT10t D/D無し	3.09 / 仮舗装	× 0.03 / 既設舗装厚	0.1 / m ³
As搬出材処理	解体部砂利工業所 5.6km	0.6 / 既設舗装	+ 0.1 / 仮舗装	0.7 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	0.00	× 0.001	0.00 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 18.2km	0.00	× 1.400	0.00 / t
床掘り	BH0.45m ³	3.09	× 0.01	0.03 / m ³
土砂運搬	D/D無し BH0.45m ³	3.09	× 0.01	0.03 / m ³
残土処分工	土砂、21.9km 輸運枝砂利	3.09	× 0.01	0.03 / m ³
不陸整正	補足材なし	16.84		16.8 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=4cm	PK-3	16.84	16.8 / m ²

舗装工	E-1・3路線	米島地内	実施
市道今泉、南島海駅今泉線、法定外公共物 (5-20)			
再生密粒度As13F			
<p>米島地内 (市道) 南島海駅今泉線他</p> 			
<p>(今泉線) (南島海駅今泉線) (法定外公共物) (合計)</p>			
仮舗装面積の合計 既設舗装厚 t=5cm			
$1.93 - 57.67 + 25.30 = 84.90$			

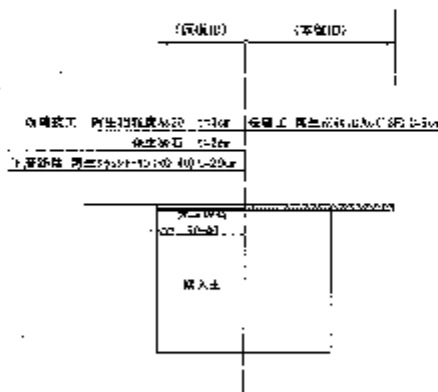
名 称	形 状 寸 法	計 算				数 量
舗装短切断工	t≤15cm	8.50 /	87.80 /	38.10 /	= 134.40 /	134.4 / m
舗装破砕工	BHD. 45m ³ t≤15cm	5.12 /	139.77 /	53.06 /	= 200.94 /	200.9 / m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BHD. 45m ³ , DT10t D/D無し	(200.94 / - 84.90 /) 全休			× 0.050 既設舗装厚	5.0 / m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BHD. 45m ³ , DT10t D/D無し	84.90 / 仮舗装	×	0.05 / 仮舗装厚		4.2 / m ³
As殻廃材処理	機達部砂利工業所 5.6kin	5.0 / 既設舗装	+	4.2 / 仮舗装		10.0 / m ³
舗装短切断排水処分	安藤組(庄内町)	134.40 /	×	0.001 /		0.13 / m ³
舗装短切断排水運搬	2t級2.9t吊 18.2km	0.13 /	×	1.400 /		0.18 / t
不陸整正	補足材なし	200.94 /				200.9 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm			200.94 /		200.9 / m ²
		PK-3				

舗装工	E-2路線	米島地内	実施
-----	-------	------	----

市道宮内金山線 (5-20)

再生密粒度As13F

米島地内
(市道) 宮内金山線



仮舗装面積の合計

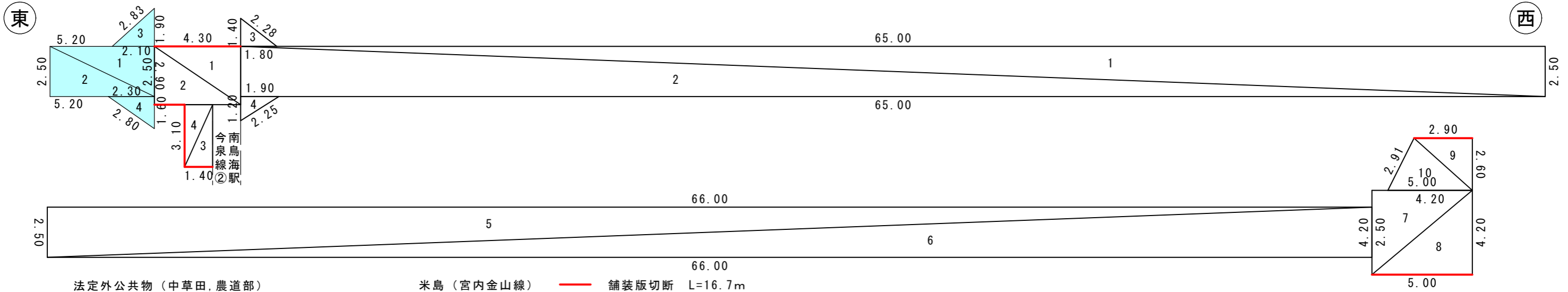
93.2

既設舗装厚 L=5cm

名 称	形 状 寸 法	計 算		数 量
舗装版切断工	t ≤ 15cm	16.70 /	= 16.70	16.7 / m
舗装破砕工	BH0.45m ³ t ≤ 15cm	360.13 /	= 360.13	360.1 / m ²
As処分分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ , DT10t DED無し	(360.13 / × 93.20 /) 全体 仮設舗装	× 0.050 / 既設舗装厚	13.3 / m ³
As処分分工 (仮舗装)	BHC.45m ³ , DT10t DED無し	93.20 / 仮舗装	× 0.03 / 既設舗装厚	2.8 / m ³
As廃棄材処理	濃濃部砂利工業所 5.6km	13.3 / 既設舗装	+ 2.8 / 仮舗装	16.1 m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	16.70 /	× 0.001 /	0.02 / m ³
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 18.2km	0.02 /	× 1.400 /	0.03 / t
床掘り	BH0.45m ³	93.20 /	× 0.02 /	1.9 / m ²
土砂等運搬	DED無し BH0.45m ³	93.20 /	× 0.02 /	1.9 / m ²
残土処分工	土砂、21.9km 輸送被砂利	93.20 /	× 0.02 /	1.9 / m ²
不陸整正	補足材なし	360.13 /		360.1 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t = 5cm		360.13 /	360.1 / m ²

PK-3

米島 (宮内金山線) 1:200



法定外公共物 (中草田, 農道部)

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	5.20	2.50	5.77	6.5000
2	5.20	2.50	5.77	6.5000
3	1.90	2.10	2.83	1.9950
4	2.30	1.60	2.80	1.8400
合計				16.8350
面積				16.84m ²

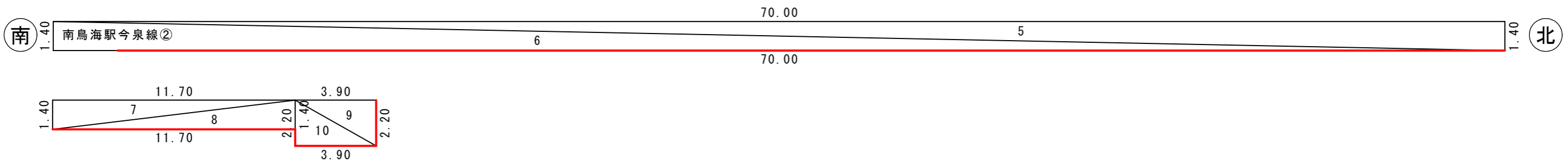
米島 (宮内金山線) 舗装版切断 L=16.7m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	65.00	2.50	65.05	81.2500
2	65.00	2.50	65.05	81.2500
3	2.28	1.80	1.40	1.2600
4	1.90	2.25	1.20	1.1400
5	2.50	66.00	66.05	82.5000
6	66.00	66.05	2.50	82.5000
7	4.20	5.00	6.53	10.5000
8	5.00	6.53	4.20	10.5000
9	2.90	2.60	3.89	3.7700
10	4.20	2.91	3.89	5.4603
合計				360.1303
面積				360.13m ²

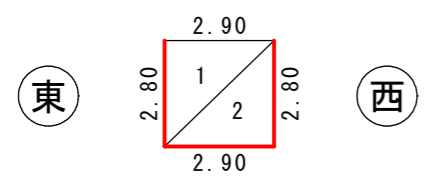
米島 (南鳥海駅今泉線) 舗装版切断 L=87.8m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	4.30	2.90	5.19	6.2350
2	4.30	2.90	5.19	6.2350
3	3.10	1.40	3.40	2.1700
4	3.10	1.40	3.40	2.1700
5	70.00	1.40	70.01	48.9998
6	70.00	1.40	70.01	48.9998
7	1.40	11.70	11.78	8.1900
8	11.70	11.78	1.40	8.1900
9	3.90	2.20	4.48	4.2900
10	3.90	2.20	4.48	4.2900
合計				139.7696
面積				139.77m ²

米島 (南鳥海駅今泉線) 1:200



米島 (今泉線) 1:200



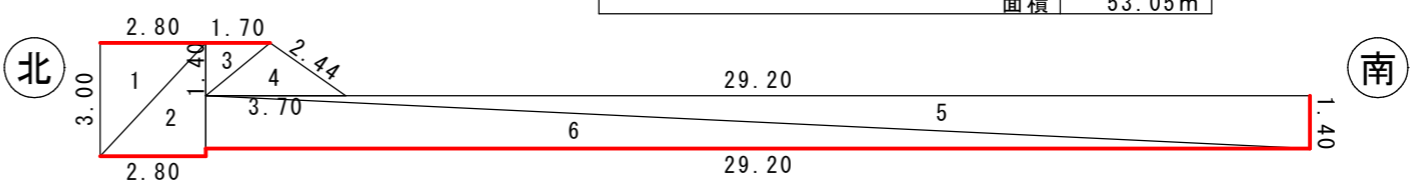
米島 (今泉線) 舗装版切断 L=8.5m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	2.80	2.90	4.03	4.0600
2	2.90	4.03	2.80	4.0600
合計				8.1200
面積				8.12m ²

法定外公共物 (下草田) 舗装版切断 L=38.1m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	3.00	2.80	4.10	4.2000
2	2.80	4.10	3.00	4.2000
3	1.40	1.70	2.20	1.1900
4	3.70	2.20	2.44	2.5845
5	29.20	1.40	29.23	20.4399
6	29.20	1.40	29.23	20.4399
合計				53.0543
面積				53.05m ²

米島 (法定外) 1:200



舗装復旧工数量集計表			実施			上段: 実設計 下段: 変更設計	
工種	名称	規格	F-1路線 市差 5-20	F-2路線 市道 5-20	計	あらため 数量	備考
舗装撤去工	舗装版切断	15cm以下	111.1	166.5	277.6	280	m 10m単位 100m未満は1m
	舗装版破砕	BH削削芯込 0.45m3 15cm以下 騒音対策不要	193.3	247.7	441.0	440	m ² 10m単位 100m未満は1m
	Ae 搬運機工	BH0.45m3 D1/D0: L-9.4km 210有り	10.3	13.8	24.1	24	m ³ 1m3
	Ae 処分分	酒井幹木工業㈱	10.3	13.8	24.1	24	m ³ 1m3
	舗装切断排水処分	株式会社	0.11	0.17	0.3	0.3	m ³
	舗装切断排水運搬工	現場発生品運搬 2t級2.5t吊 L=10.8km	0.15	0.24	0.4	0.4	t
	舗装工	不陸修正	補足材なし	69.6	100.8	170.4	170
		補足材あり L=5mm RC-40	123.8	-	123.8	124	m ² 10m単位 1000m未満は1m
		補足材あり L=10mm RC-40	-	146.9	146.9	147	m ² 10m単位 1000m未満は1m
舗装工	表層工	再生密粒度As13F 1.4m以上3.0m以下 機械施工 t=5cm プライムコート	193.3	247.7	441.0	441	m ² 10m単位 1000m未満は1m
区画線工	止まれ 溶融式(手動)	文字・15cm横算、白色 塗布厚1.0mm	14.0	-	14.0	14	m 1m
	停止線 溶融式(手動)	ゼブラ・W=30cm、白色 塗布厚1.0mm	2.1	-	2.1	2	m 1m

舗装工	F-1路線	古青渡地内	実施
-----	-------	-------	----

市道古青渡久保田線 (5-20)
再生密粒度As13F

古青渡・曾根田地内
(市道) 曾根田1号線他



仮舗装面積の合計

69.58

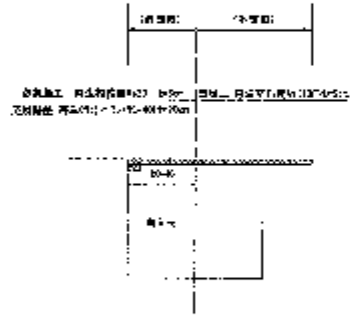
既設舗装厚 $t=5.5\text{cm}$

名称	形状寸法	計 算	数 量
舗装版切断工	$t \leq 15\text{cm}$	$111.10 \text{ / } \text{m}$	$111.1 \text{ / } \text{m}$
舗装破碎工	BH0.45m ³ $t \leq 15\text{cm}$	$193.33 \text{ / } \text{m}^2$	$193.3 \text{ / } \text{m}^2$
As設処分工 (既設舗装)	BH0.45m ³ .DT10t D/D無し	$(193.33 \text{ / } \text{m}^2 - 69.58 \text{ / } \text{m}^2) \times 0.055 \text{ / } \text{m}^3$	$6.8 \text{ / } \text{m}^3$
As設処分工 (仮舗装)	BH0.45m ³ .DT10t D/D有り	$69.58 \text{ / } \text{m}^2 \times 0.05 \text{ / } \text{m}^3$	$3.5 \text{ / } \text{m}^3$
As設腐材処理	酒井鈴木工業線 9.4km	$6.8 \text{ / } \text{m}^3 + 3.5 \text{ / } \text{m}^3$	$10.3 \text{ / } \text{m}^3$
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	$111.10 \text{ / } \text{m} \times 0.001 \text{ / } \text{m}^3$	$0.11 \text{ / } \text{m}^3$
舗装切断排水運搬工	2t級2.9t吊 10.6km	$0.11 \text{ / } \text{m} \times 1.400 \text{ / } \text{t}$	$0.15 \text{ / } \text{t}$
不陸禁止	補足材なし	$69.58 \text{ / } \text{m}^2$	$69.6 \text{ / } \text{m}^2$
不陸整正	補足材あり $t=5\text{mm}$, RC-40	$193.33 \text{ / } \text{m}^2 - 69.58 \text{ / } \text{m}^2 = 123.75$	$123.8 \text{ / } \text{m}^2$
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F $t=5\text{cm}$	193.33 PK-3	$193.3 \text{ / } \text{m}^2$
区画線工 (止まれ)	溶融式・15cm換算 白色 文字	$(\text{止 止 } 6.75 \text{ / } \text{m} \text{ 止 } 7.26 \text{ / } \text{m}) \times 1 \text{ / } \text{m}$ 5.60	$14.0 \text{ / } \text{m}$
区画線工 (停止線)	溶融式・ $\varphi=30\text{cm}$ 白色、ゼブラ	別紙より 2.10	$2.1 \text{ / } \text{m}$

舗装工	F-2路線	菅根田地内	実施
-----	-------	-------	----

市道菅根田1号線・法定外公共物 (5-20)
再生密粒度As13F

古青蓮・菅根田地内
(市道) 菅根田1号線他



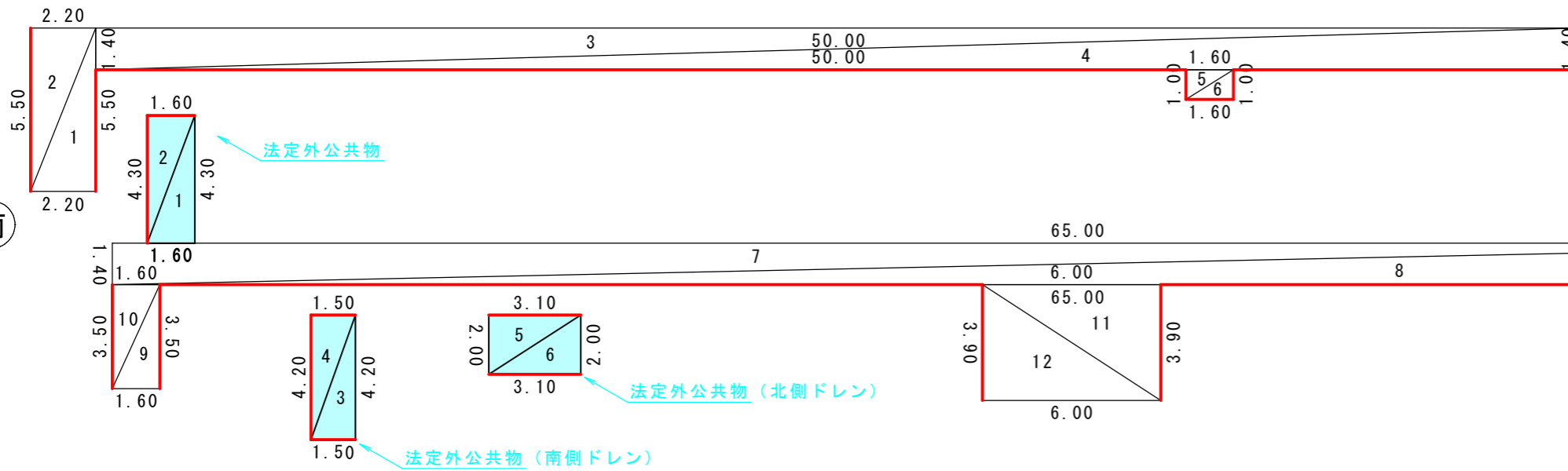
仮舗装面積の合計

100.84

既設舗装厚 t=8cm

名 称	形 状 寸 法	計 算		数 量
舗装版切断工	t≤15cm	147.20 / +	19.30 /	= 166.50 / 166.5 / m
舗装破砕工	BHD. 45m ³ t≤15cm	228.34 / -	19.36 /	= 247.72 / 247.7 / m ²
As殻処分工 (既設舗装)	BHD. 45m ³ , Df10t D/D無し	(247.72 / -	100.84 /) × 0.06 /	8.8 / m ³
As殻処分工 (仮舗装)	BHD. 45m ³ , Df10t D/D有り	100.84 /	× 0.05 /	5.0 / m ³
As殻廃材処理	酒井鈴木工業株 9.4km	8.8 / +	5.0 /	13.8 / m ³
舗装切断排水処分	安藤組(庄内町)	166.50 /	× 0.001 /	0.17 / m ³
舗装切断排水運搬	2t級2.9t吊 10.6km	0.17 /	× 1.400 /	0.24 / t
不陸修正	補足材なし	100.84 /		100.8 / m ²
不陸修正	補足材あり t=10cm, RC-40	247.72 /	- 100.84 /	= 146.88 / 146.9 / m ²
1.4m以上3.0m以下 表層工	再生密粒度As13F t=5cm		247.72 /	247.7 / m ²

曾根田 1:200



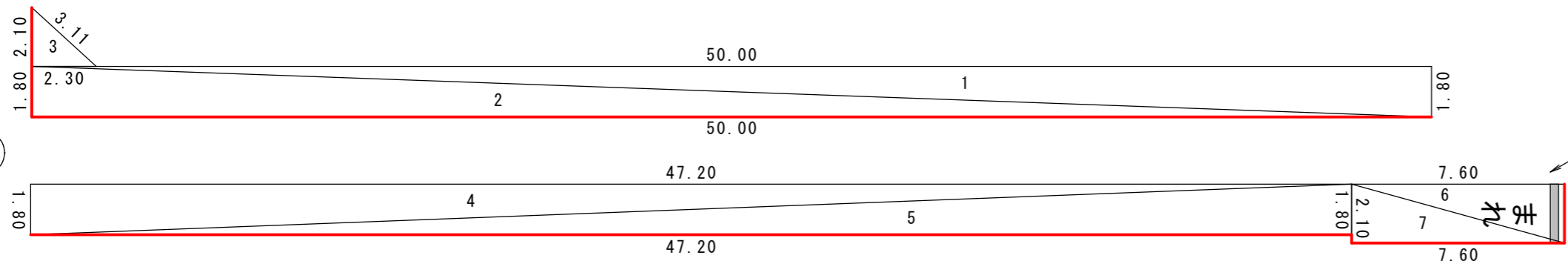
(市道) 曾根田 1号線 舗装版切断 L=147.2m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	5.50	2.20	5.92	6.0500
2	5.50	2.20	5.92	6.0500
3	1.40	50.00	50.02	35.0000
4	50.00	50.02	1.40	35.0000
5	1.00	1.60	1.89	0.8000
6	1.60	1.89	1.00	0.8000
7	1.40	65.00	65.02	45.4997
8	65.00	65.02	1.40	45.4997
9	3.50	1.60	3.85	2.8000
10	3.50	1.60	3.85	2.8000
11	6.00	3.90	7.16	11.7000
12	6.00	3.90	7.16	11.7000
13	5.60	4.40	7.12	12.3200
14	5.60	4.40	7.12	12.3200
合計				228.3394
面積				228.34m ²

曾根田 (法定外公共物) 舗装版切断 L=19.3m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	4.30	1.60	4.59	3.4400
2	4.30	1.60	4.59	3.4400
3	4.20	1.50	4.46	3.1500
4	4.20	1.50	4.46	3.1500
5	2.00	3.10	3.69	3.1000
6	3.10	3.69	2.00	3.1000
合計				19.3800
面積				19.38m ²

古青渡 1:200

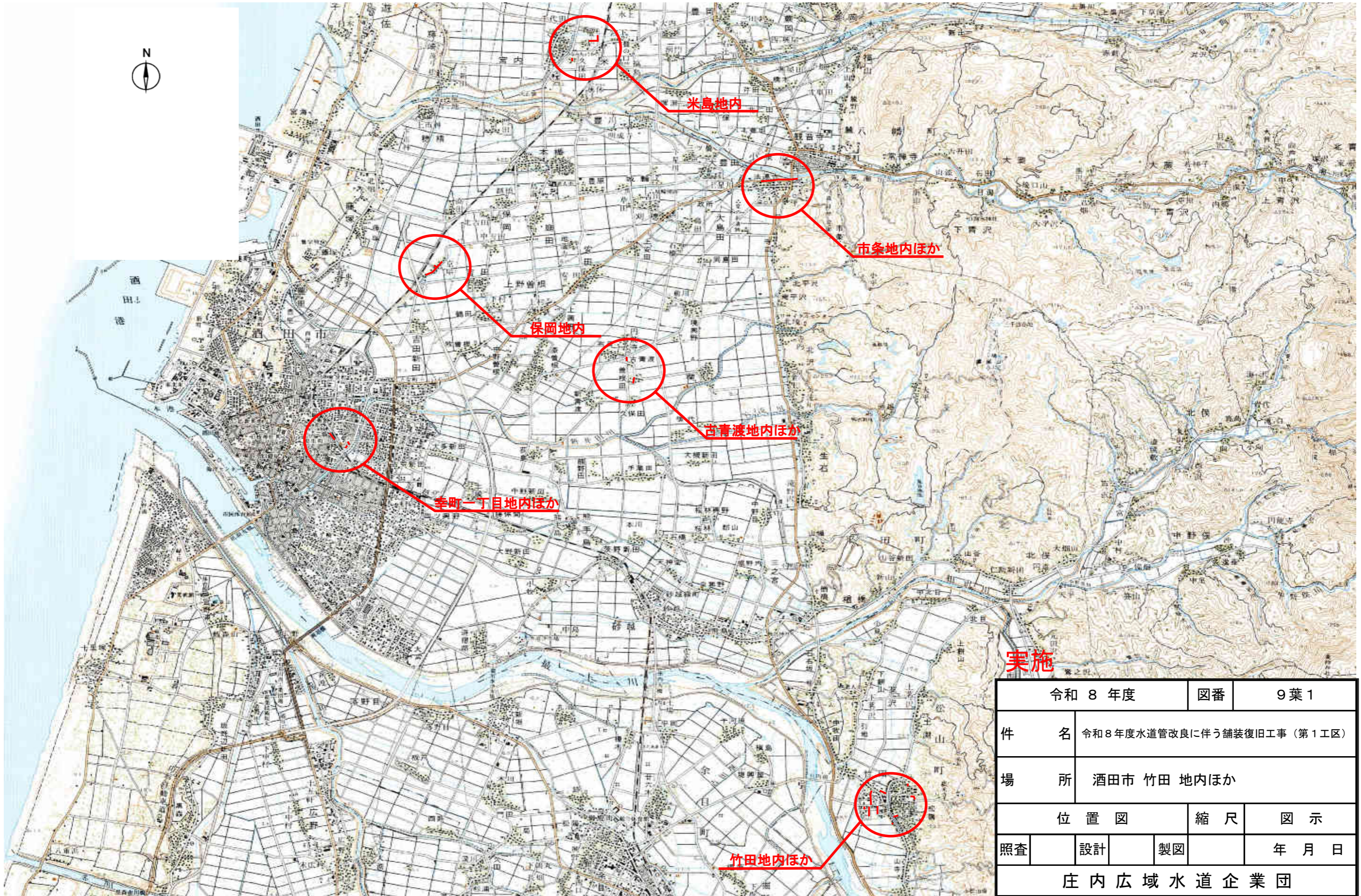


停止線 W=300, L=2100

(市道) 古青渡久保田線 舗装版切断 L=111.1m

NO	辺長 a	辺長 b	辺長 c	面積
1	50.00	1.80	50.03	45.0000
2	50.00	1.80	50.03	45.0000
3	3.11	2.30	2.10	2.4150
4	1.80	47.20	47.23	42.4799
5	47.20	47.23	1.80	42.4799
6	7.60	2.10	7.88	7.9800
7	7.60	2.10	7.88	7.9800
合計				193.3348
面積				193.33m ²

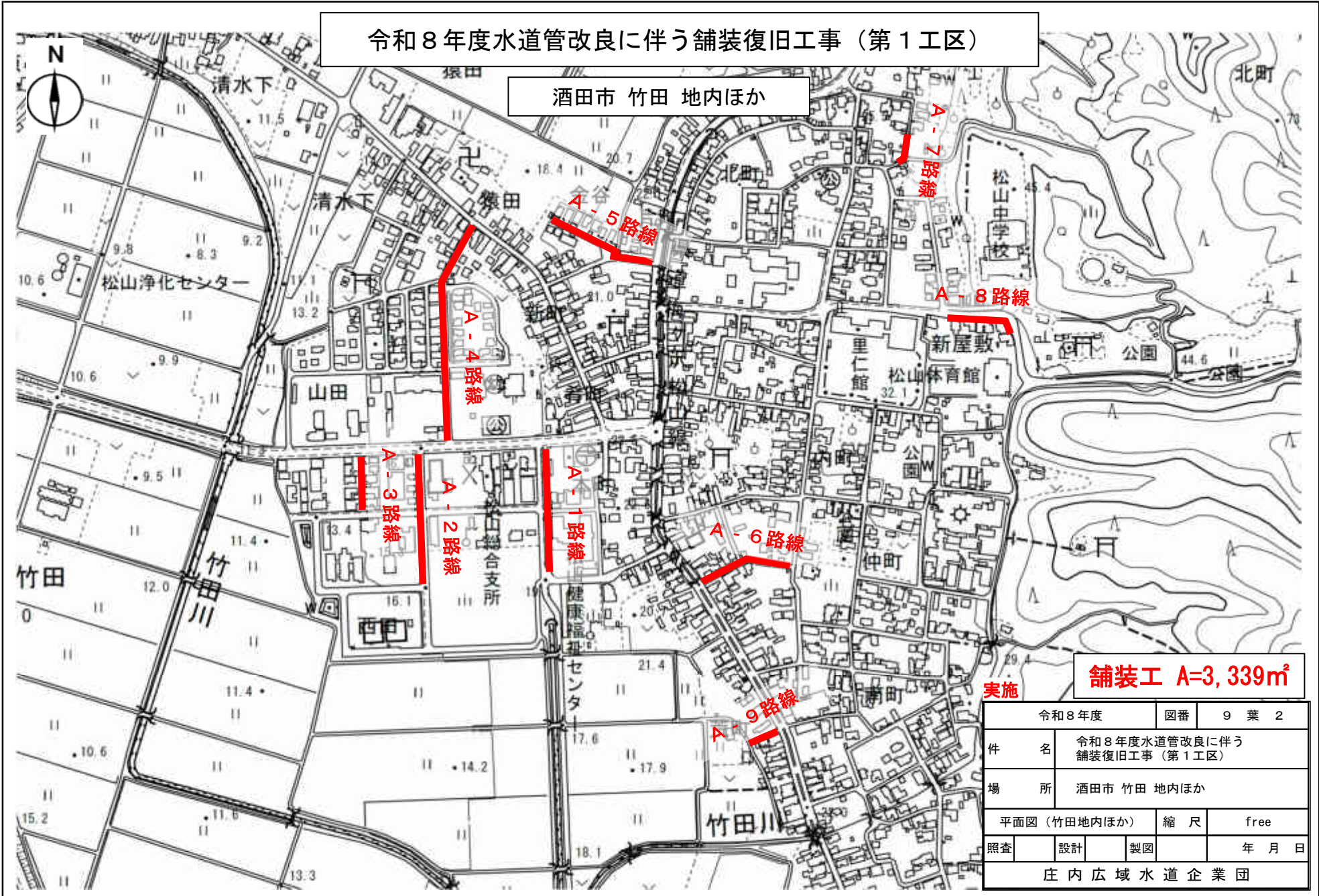
位置図 (縮尺 1/50,000)



令和 8 年度		図番	9 葉 1
件 名	令和 8 年度水道管改良に伴う舗装復旧工事 (第 1 工区)		
場 所	酒田市 竹田 地内ほか		
位置図	縮尺	図示	
照査	設計	製図	年月日
庄内広域水道企業団			

令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）

酒田市 竹田 地内ほか

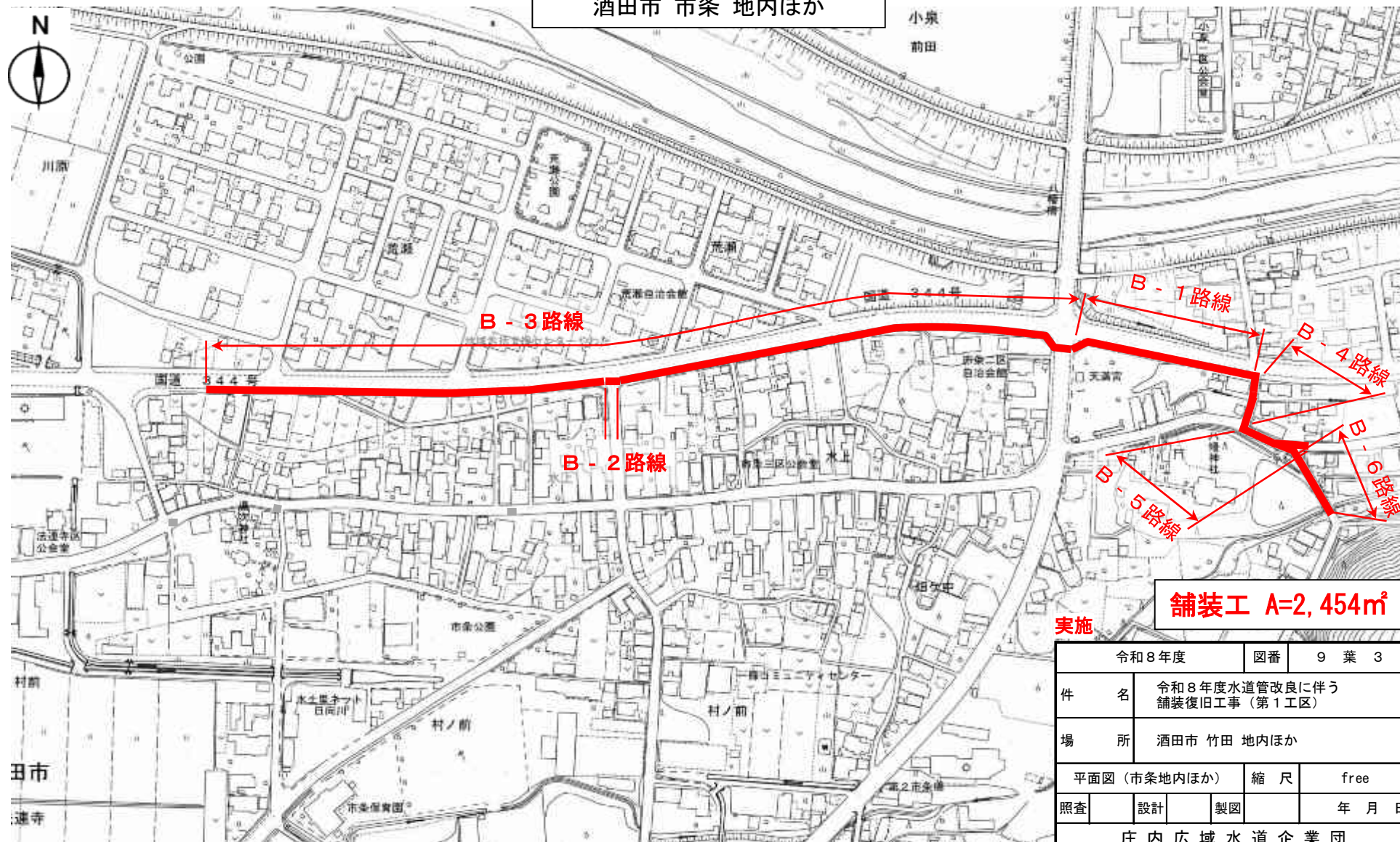


実施 舗装工 A=3,339㎡

令和8年度	図番	9 葉 2
件名	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）	
場所	酒田市 竹田 地内ほか	
平面図（竹田地内ほか）	縮尺	free
照査	設計	製図
年月日		
庄内広域水道企業団		

令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）

酒田市 市条 地内ほか

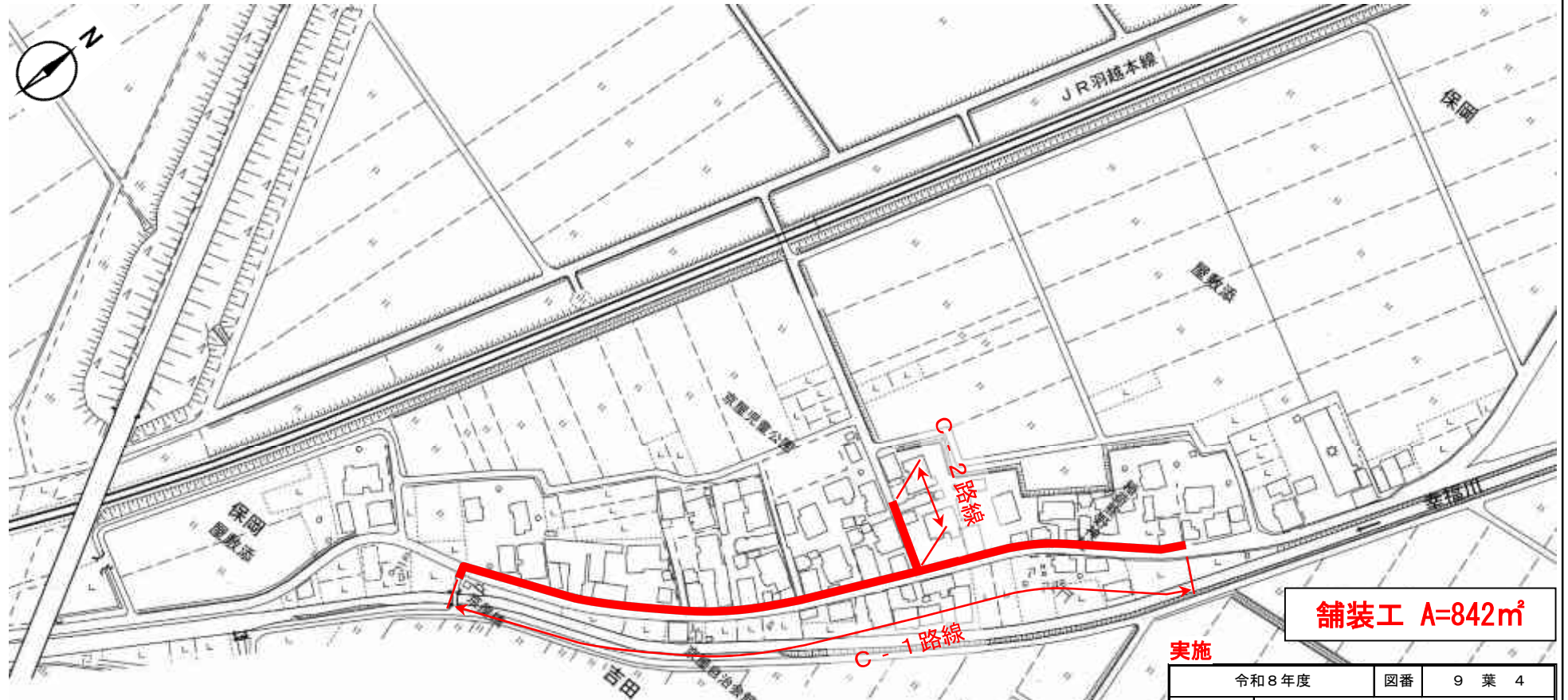


実施 舗装工 A=2,454㎡

令和8年度	図番	9 葉 3
件名	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）	
場所	酒田市 竹田 地内ほか	
平面図（市条地内ほか）	縮尺	free
照査	設計	製図
年月日		
庄内広域水道企業団		

令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）

酒田市 保岡 地内



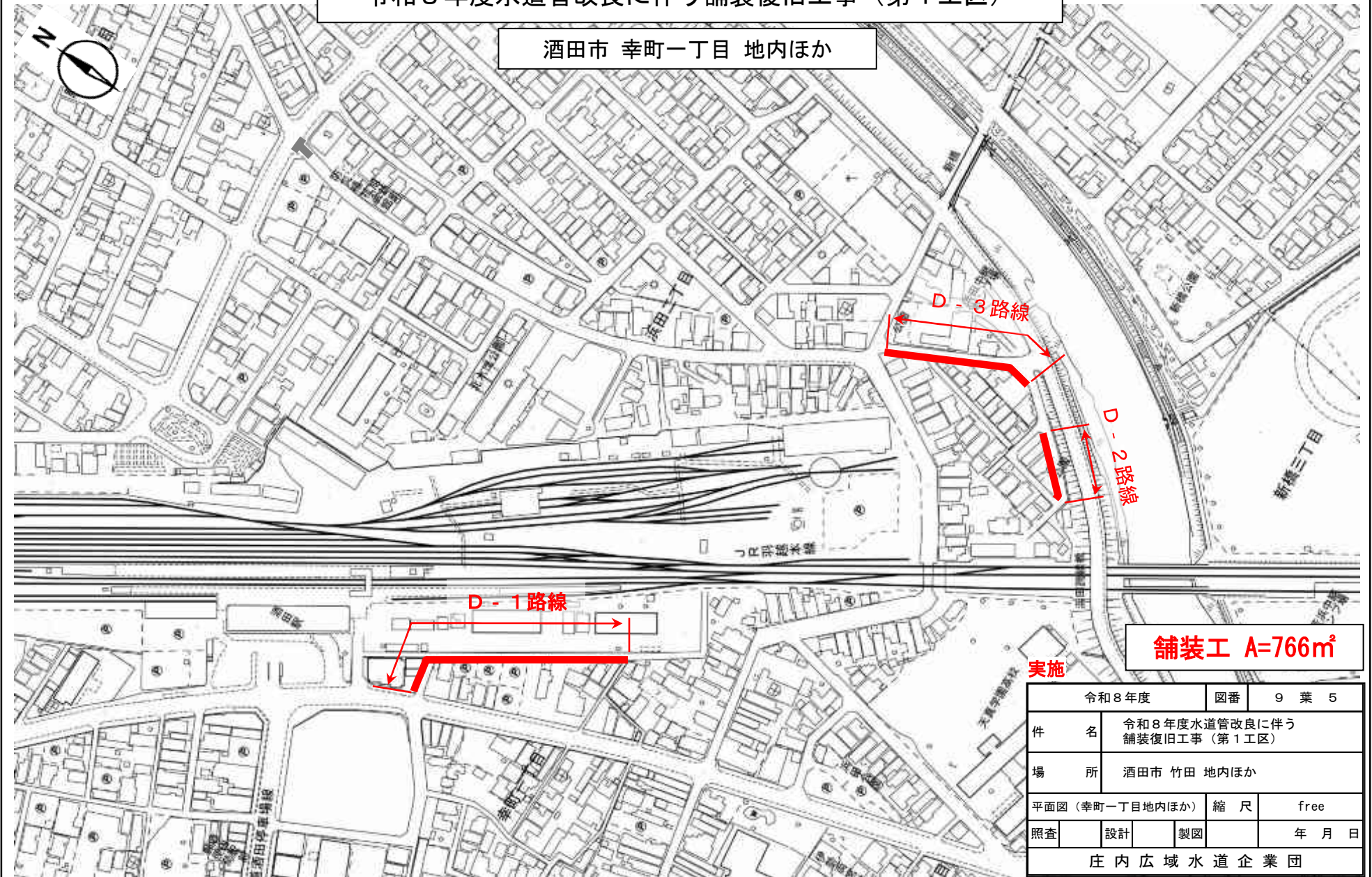
舗装工 A=842㎡

実施

令和8年度	図番	9 葉 4
件名	令和8年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第1工区）	
場所	酒田市 竹田 地内ほか	
平面図（保岡地内）	縮尺	free
照査	設計	製図
庄内広域水道企業団		

令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）

酒田市 幸町一丁目 地内ほか

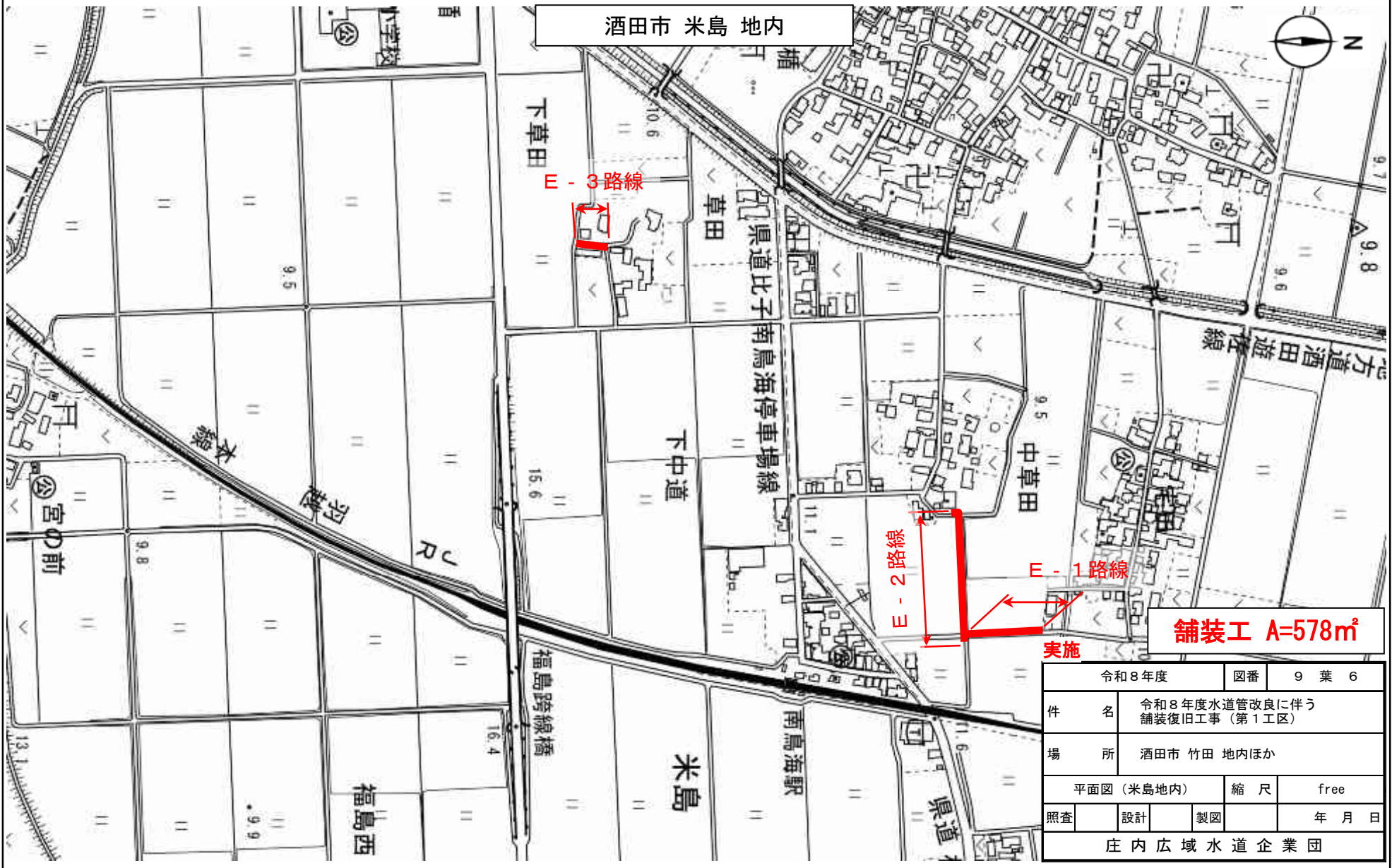


舗装工 A=766㎡

実施

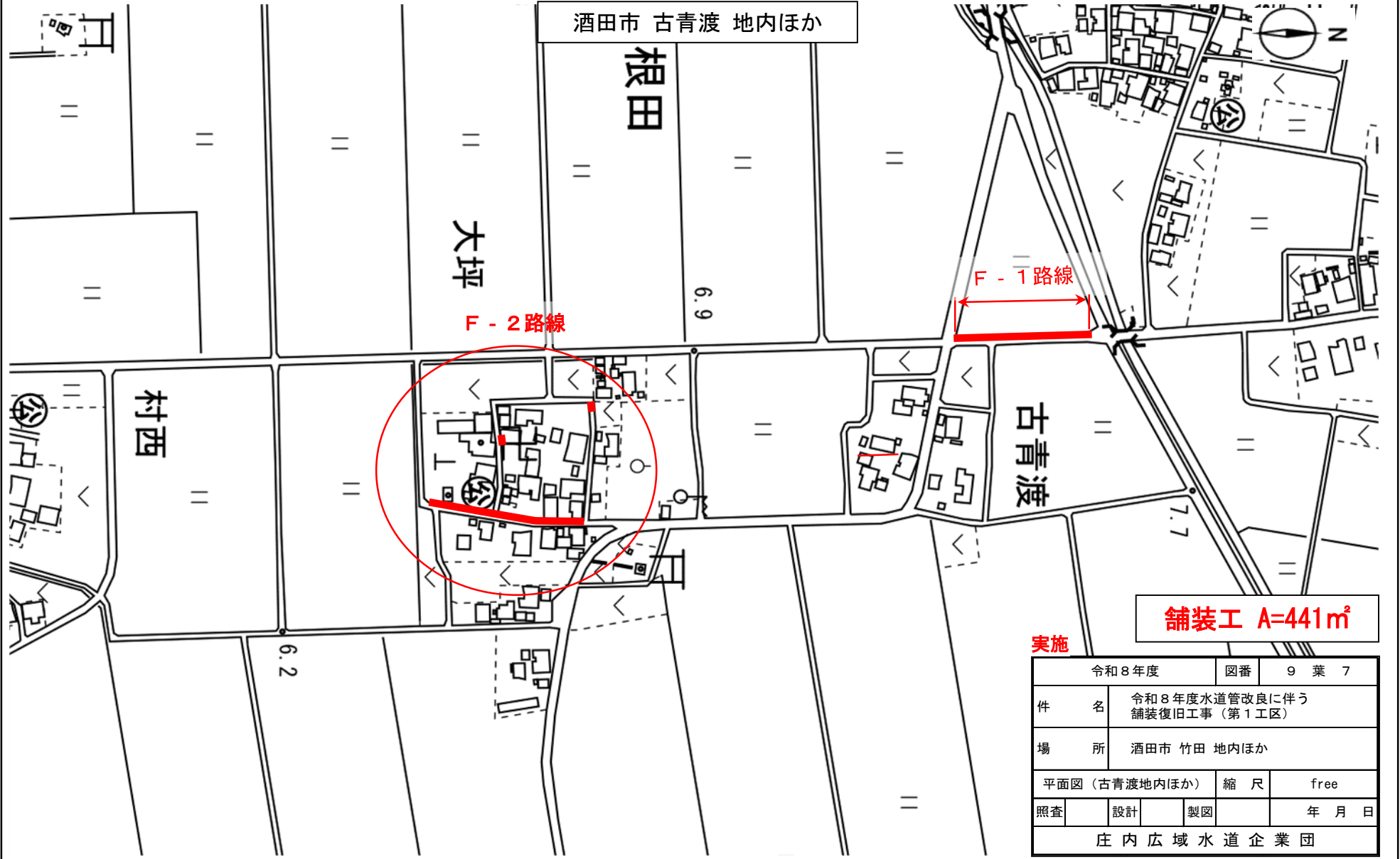
令和8年度	図番	9	葉	5
件名	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）			
場所	酒田市 竹田 地内ほか			
平面図（幸町一丁目地内ほか）	縮尺	free		
照査	設計	製図	年月日	
庄内広域水道企業団				

令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）



令和8年度	図番	9	葉	6
件名	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）			
場所	酒田市 竹田 地内ほか			
平面図（米島地内）	縮尺	free		
照査	設計	製図	年月日	
庄内広域水道企業団				

令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）

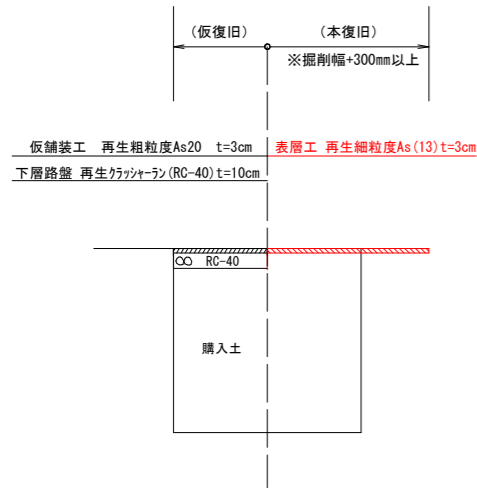


舗装工 A=441㎡

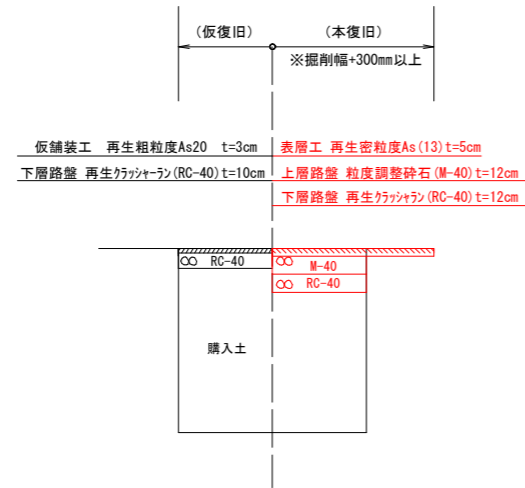
実施

令和8年度	図番	9 葉 7
件名	令和8年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事（第1工区）	
場所	酒田市 竹田 地内ほか	
平面図（古青渡地内ほか）	縮尺	free
照査	設計	製図
庄内広域水道企業団		

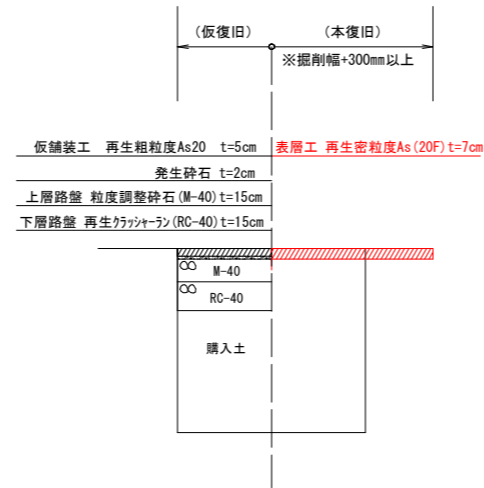
竹田地内ほか
(市道) 本町竹田線他



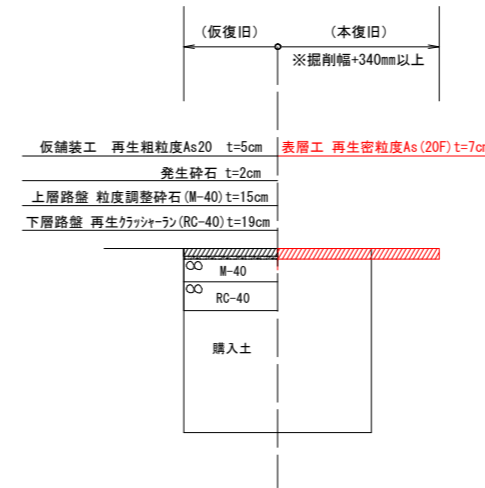
竹田地内ほか
(市道) 本町竹田線



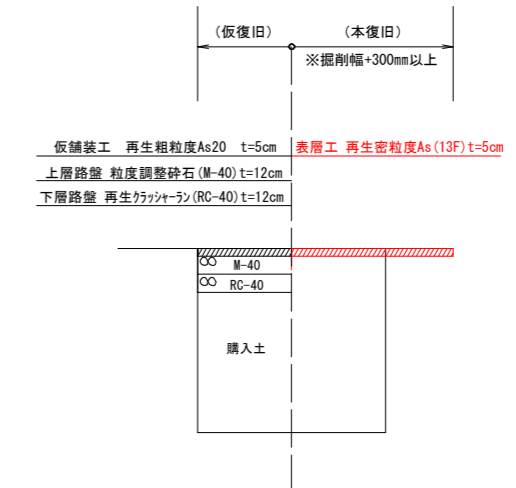
竹田地内ほか
(市道) 城南1号線他



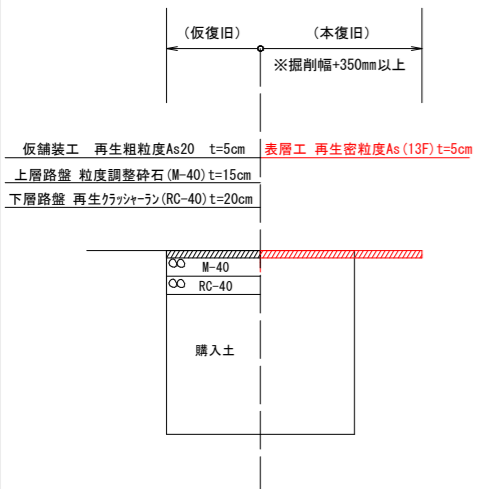
竹田地内ほか
(市道) 城南3号線



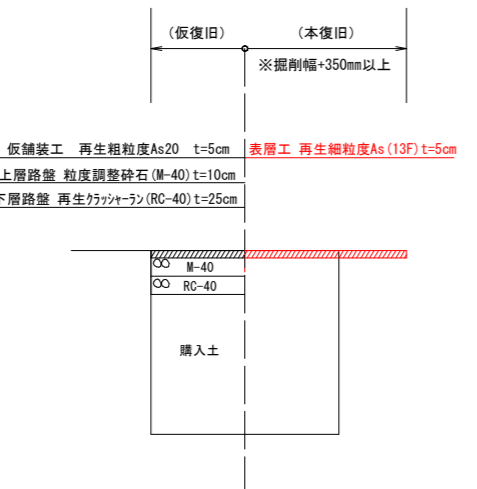
竹田地内ほか
(市道) 城南4号線他



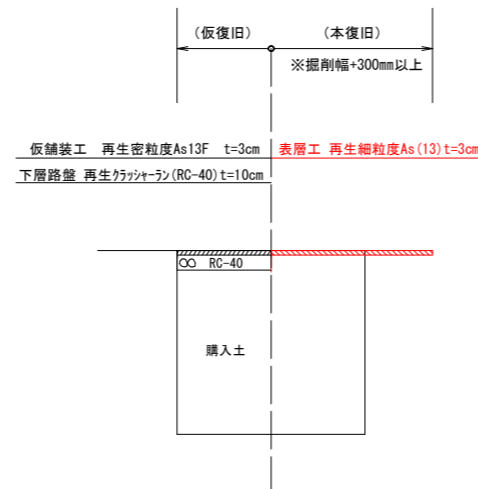
竹田地内ほか
(市道) 城西3号線



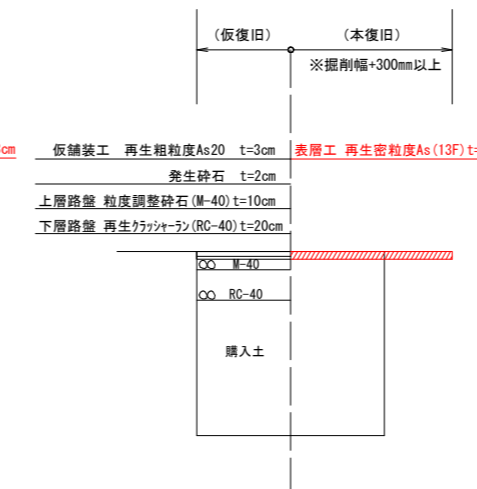
竹田地内ほか
(市道) 外山越線



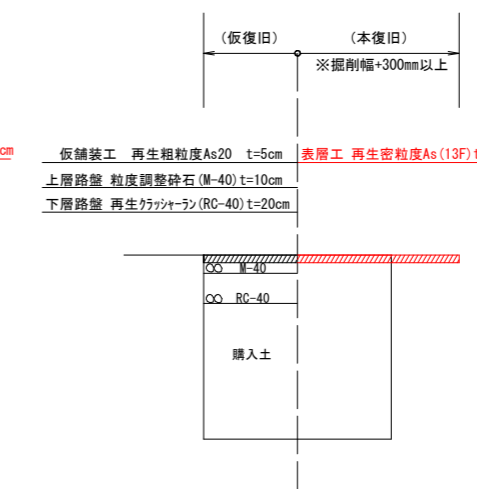
市条地内
(市道) 公園線 (歩道部)



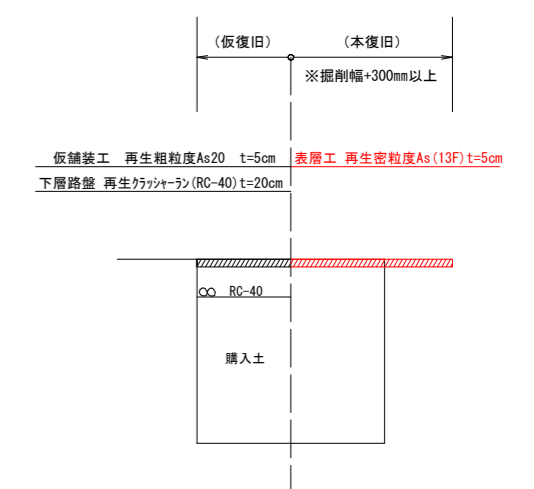
市条地内
(市道) 公園線



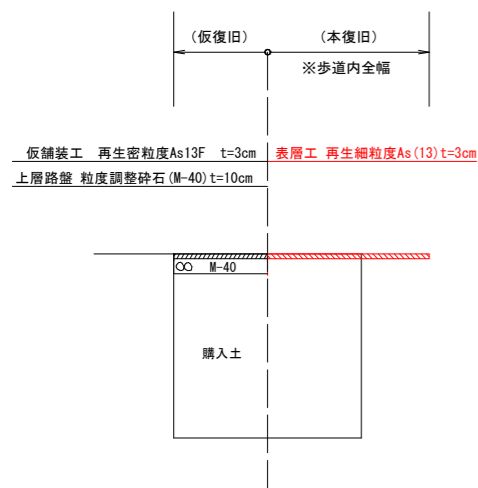
市条地内
(市道) 水上村ノ前線ほか



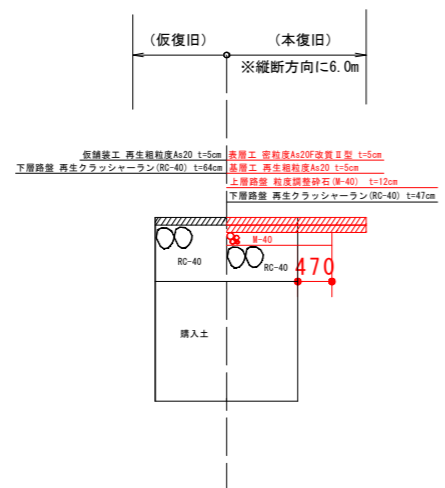
市条地内
(市道) 山本線



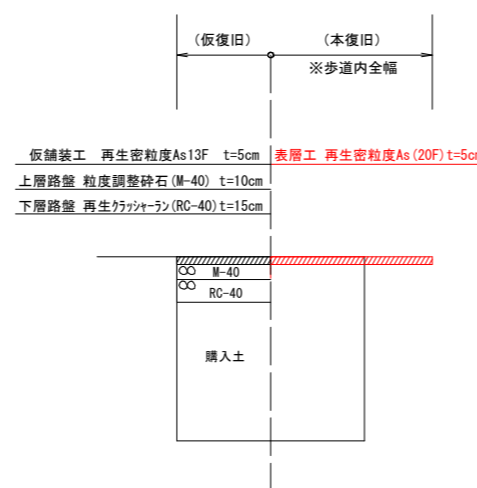
市条地内
国道344号 (歩道)



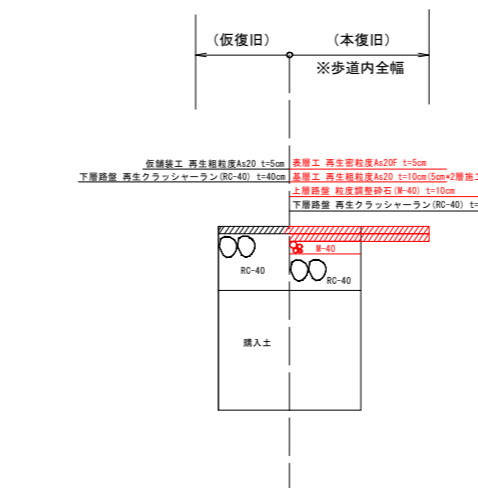
市条地内
国道344号・345号 (車道部)



市条地内
国道344号 (乗入部4.0m以下準用)

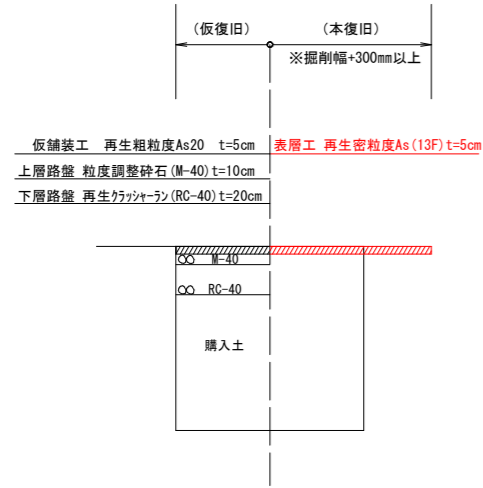


市条地内
国道344号 (乗入部8.0m以上)



令和8年度		図番	9 葉 8
工事名	令和8年度水道管改良に伴う舗装復旧工事 (第1工区)		
場所	酒田市竹田地内ほか		
舗装復旧断面図	縮尺	S=FREE	
庄内広域水道企業団			

保岡地内
(市道) 吉田新田中吉田線



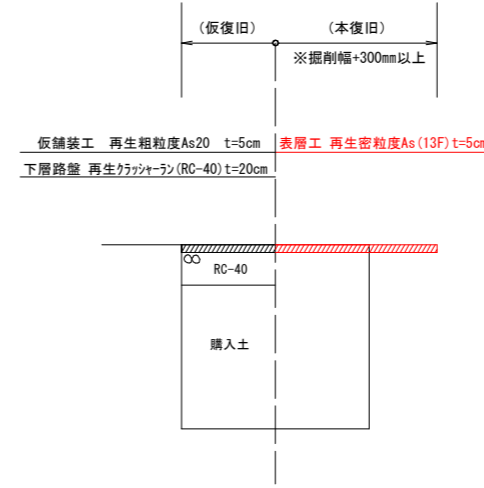
保岡地内
(市道) 藤塚京屋線



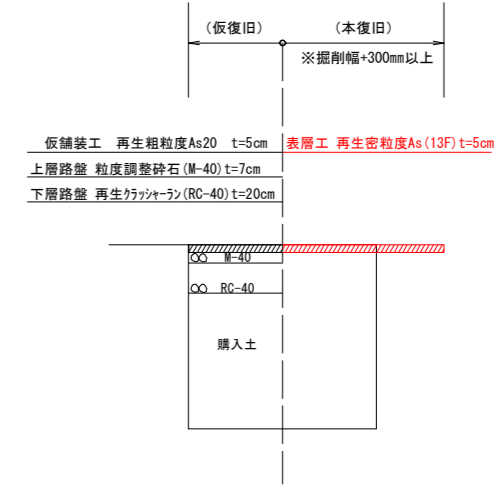
保岡地内
法定外公共物 (道路)



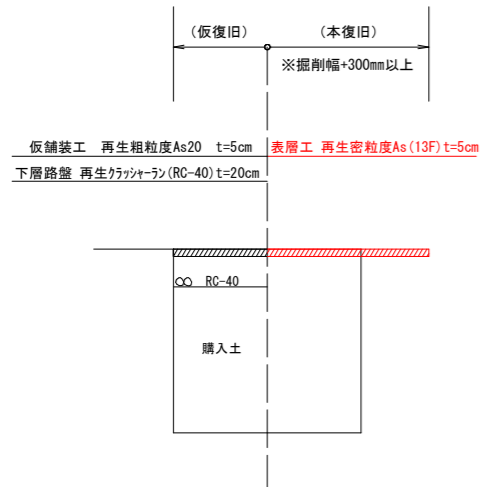
幸町一丁目地内ほか
(市道) 浜田二丁目1号線他



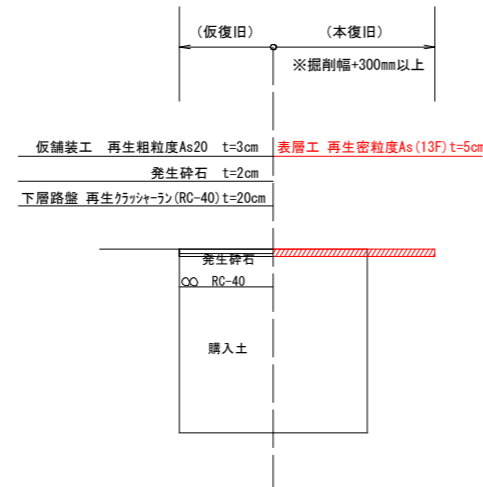
浜田二丁目地内
(市道) 浜田二丁目2号線



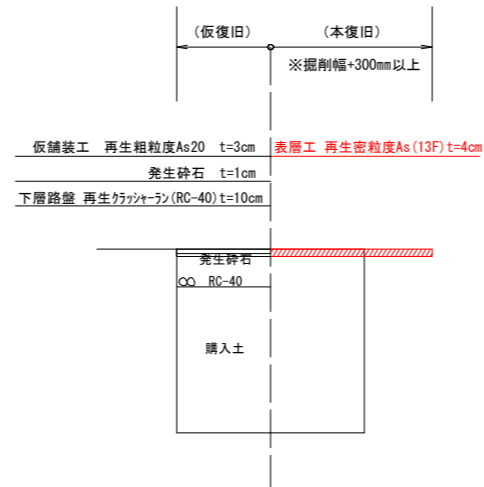
米島地内
(市道) 南鳥海駅今泉線他



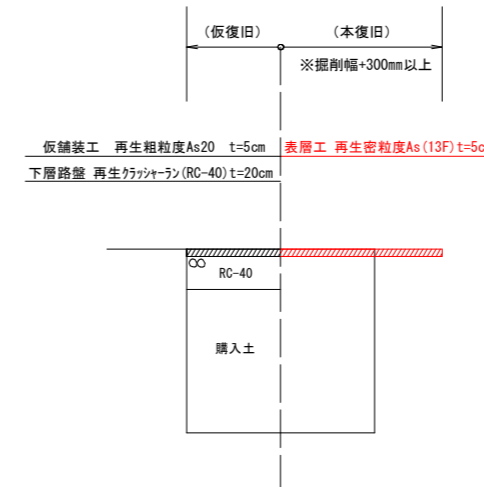
米島地内
(市道) 宮内金山線



米島地内
法定外公共物 (農道部)



古青渡・曾根田地内
(市道) 曾根田1号線他



令和8年度	図番	9 葉 9
工事名	令和8年度水道管改良に伴う 舗装復旧工事 (第1工区)	
場所	酒田市竹田地内ほか	
舗装復旧断面図	縮尺	S=FREE
庄内広域水道企業団		

令和8年度
水道管改良に伴う舗装復旧工事（第1工区）

特記仕様書

庄内広域水道企業団

1. 共通仕様書等の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書（土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料）令和8年4月」にもとづき実施しなければならない。

※ 共通仕様書の改定内容のホームページへは

県のホームページ（ <http://www.pref.yamagata.jp> ）

- 組織別ページ
- 県土整備部
- 建設企画課
- 建設工事技術関連情報
- 土木共通仕様書について

2. 共通仕様書等に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は以下のとおりとする。

3. 明示されない施工条件等について

明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件、明示された条件に変更が生じた場合等について、契約書の関連する条項に基づき甲・乙協議し、または設計変更等適切に対応するものとする。

第 1 編 共通編

第 1 章 総 則

1-1-1 下請負人等の選定

1. 受注者は、下請け契約を締結する場合、当該契約の相手方は酒田市内に本社又は営業所等を有する者の中から選定するよう努めなければならない。
2. 受注者は、工事材料に係わる納入契約を締結する場合、当該契約の相手方は酒田市内に本社又は営業所等を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は地域・地場で生産及び販売されるものを選定するよう努めなければならない。

1-1-2 工事種別

当該工事の工事種別は、「舗装工事」とする。

1-1-3 舗装技術者の配置

本工事は、共通特記仕様書第 1 編共通編第 1 章総則 1-1-7 舗装技術者の配置の適用対象工事である。

1-1-4 工期

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項・条件を見込んでいる。

①準備期間	30日間
②後片付け期間	20日間
③雨休率 ※施工に必要な実日数に対し、休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数	0.92

1-1-5 受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入等

1. 受注者は、次の各号に掲げる届出の義務を履行していない建設業者（建設業法（昭和24年法律第100号）第2条第3項に規定する建設業者をいう。）（当該届出の義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）を下請契約（受注者が直接締結する下請契約を除く。以下「二次以降下請契約」という。）の相手方としないよう努めなければならない。
 - （1）健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
 - （2）厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務
 - （3）雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務
2. 受注者は、前項にかかわらず社会保険等未加入建設業者を二次以降下請契約の相手方とする場合は、あらかじめ発注者に契約の相手方とする理由を添えて報告しなければならない。

1-1-6 法定外の労災保険の付保

1. 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
2. 受注者は、前項の規定により保険契約を締結したときは、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示しなければならない。

1-1-7 監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の1）～8）の要件を全て満たさなければならない。
 - （1） 監理技術者補佐を専任で配置すること。
 - （2） 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
 - （3） 監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - （4） 同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に2件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。
 - （5） 特例監理技術者が兼務できる工事は、庄内地区内の工事とする。
 - （6） 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - （7） 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - （8） 監理技術者補佐が担う業務について明らかにすること。
2. 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、第1項の（1）～（8）の事項について確認できる書類を提出すること。なお、提出書類は、山形県県土整備部建設企画課のホームページを参照のこと。

(https://www.pref.yamagata.jp/180030/kensei/nyuusatsujouhou/nyuusatsujouhou/2nd_chotatsu/nyuusatsujouhou/kn/dl.html)

山形県県土整備部建設企画課ホームページ「入札・契約関係様式ダウンロード」

⇒「監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱いについて」

3. 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要しなくなった場合は、適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

1-1-8 情報共有システム利用

1. 本工事は、情報共有システムの利用対象工事であり、帳票等の処理については、情報共有システムを利用することができる。受注者は、契約締結後に、情報共有システムの利用について、監督職員と協議すること。
2. 情報共有システム利用に係る費用は、共通仮設費の率分に含まれるため、登録料及び利用料については、受注者が支払うこと。
3. 情報共有システムの利用については、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。
4. 情報共有システムの利用要領及び運用ガイドラインについては、山形県のホームページ (<https://www.pref.yamagata.jp>) から入手できる。

1-1-9 施工箇所が点在する工事の運用

1. 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、『竹田地内ほか、市条地内ほか、保岡地内、幸町一丁目地内ほか、米島地内、古青渡地内ほか、(以下「施工箇所」という。)] ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」による工事である。
2. 本工事における共通仮設費の金額は、施工箇所ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、施工箇所ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域による補正等）については、対象箇所ごとに設定する。一般管理費等については、施工箇所ごとではなく、通常の積算方法により算出する。

1-1-10 設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集 山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

1-1-11 官有地（民有地）の使用に関する事項

1. 本工事の施工に伴い借地が必要となった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
2. 施工ヤードの造成・補修が必要な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

1-1-12 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材、アスファルト・コンクリート塊）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

【アスファルト・コンクリート塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設（アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可）

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。

【アスファルト塊】《竹田地内ほか》

- ① 受け入れ場所 : 東田川郡庄内町大字常万字臂曲16-1
- ② 再資源化施設名 : 富樫建設㈱

③ 受け入れ時間帯 : 8時00分～17時00分

【アスファルト塊】《市条地内ほか、保岡地内、米島地内》

① 受け入れ場所 : 飽海郡遊佐町藤崎字茂り松2-389

② 再資源化施設名 : (株)渡部砂利工業所

③ 受け入れ時間帯 : 8時00分～16時30分

【アスファルト塊】《幸町一丁目地内ほか、古青渡地内ほか》

① 受け入れ場所 : 酒田市下瀬1

② 再資源化施設名 : 酒井鈴木工業(株)

③ 受け入れ時間帯 : 8時30分～16時30分

【建設汚泥】全路線

① 受け入れ場所 : 庄内町提興屋字中島38

② 再資源化施設名 : (株)安藤組

③ 受け入れ時間帯 : 8時00分～17時00分

3. 落札者は、契約締結前、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等に変更する場合は、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-11 建設副産物第2項で規定する契約前の説明において変更内容の説明を行うものとする。

なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。

また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

4. 受注者は、契約締結後、自らの都合により、建設工事請負契約約款様式第1号の2（解体工事に要する費用等調書）への記載内容と別の方法等に変更する場合には、あらかじめ監督職員へ工事打合簿等で説明を行い承諾を得るものとする。

その後、変更契約を締結する場合には、建設工事請負契約約款様式第8号の2（解体工事に要する費用等調書）へも変更内容を記載しなければならない。

なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。

また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

5. 土木共通特記仕様書第1編共通編1-1-11 建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）作成は、「建設副産物情報交換システム-COBRIS-」（(財)日本建設情報総合センター(JACIC)Web版入力システム）により行う。

なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分（技術管理費）に含まれている。

1-1-13 施工管理

1. 主たる工種

(1) 本工事における「主たる工種」は下記の工種とし、出来形管理図表（出来形測定結果表及び出来形図）及び品質管理図表のほか、出来形及び品質のばらつきが判断できる資料として、工程能力図又は、度数表（ヒストグラム）を作成し提出するものとする。

なお、受注者が施工管理上必要などこれ以上の作成を妨げるものではない。

【主たる工種】

工 種	備 考
舗装工	

(2) 「主たる工種」については、関連する共通仕様書等（土木工事施工管理基準及び規格値）の出来形管理基準、品質管理基準に定めのある基準値及び規格値すべてについて工程能力図又は、

度数表（ヒストグラム）を作成し、提出することを原則とするが、測定数が5点未満の場合については、監督職員と協議し省略することができるものとする。

1-1-14 履行報告

受注者は、毎月の履行状況を工事履行報告書（様式第10号の3）により監督職員に提出しなければならない。

1-1-15 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書（様式第10号の2）に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書（様式第10号の3）の写しを添えて提出するものとする。

1-1-16 施工体制台帳

本工事は、共通仕様書 第1編 共通編 1-1-12 施工体制台帳に基づく施工体制台帳及び施工体系図の提出対象工事である。

様式-6(1)～(4)。当初提出期限は下請契約締結後7日以内とする。変更があった場合はその都度遅滞なく提出のこと。添付書類は下記のとおりとする。

- ①下請負人との契約書の写し（契約約款及び契約額の根拠となる見積書等の写しを含む）
- ②下請負人の建設業の許可書の写し
- ③技術者証の写し又は技術者資格を有することを証する書面
- ④技術者の雇用関係を証明できるものの写し
- ⑤その他、監督職員が指示した書類

1-1-17 下請状況報告書

本工事は、下請状況報告書の提出対象工事とする。（建設工事請負契約約款第8条請求）報告内容及び提出時期等については、「酒田市建設工事元請下請関係適正化指導要領」に基づき次のとおりとする。

- ①下請計画報告書（下請業者名及び下請契約の請負代金等）
提出時期：請負契約約款に基づく「現場代理人等指定（変更）通知書」提出の際提出。変更があった場合はその都度遅滞なく提出のこと。
添付資料：下請業者一覧表（別紙様式2）、契約書の写し、暴力団排除に係る誓約書
- ②下請（結果）報告書
提出時期：請負契約約款に基づく「工事目的物引渡書」提出の際提出。
添付資料：下請に伴う契約書（変更があった場合は最終のもの）の写し

1-1-18 工事名標示板に関する事項（安全確保関係）

1. 工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。

工事の種類	道路舗装工事中
工事内容の説明	水道工事の舗装復旧を行っています。

2. 本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

1-1-19 段階確認

共通仕様書 第3編 土木工事共通編 1-1-2 監督職員による確認及び立会等により指定された工種及び酒田市上下水道事業建設工事監督技術基準の別表1に、次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期	確認事項
舗装復旧工	不陸整正	不陸整正完了時	幅

舗装復旧工	上・下層路盤	路盤完了時	厚さ、幅、締固め度
-------	--------	-------	-----------

段階確認にあたっては、計算書等確認に必要となる資料は事前に監督職員へ提出しておくよう努めるものとする。なお、確認後は確認状況写真及び管理図等を添付のうえ、速やかに監督職員に提出し、段階確認として提出した写真は工事写真に必ずしも添付を要しない。

1-1-20 交通安全に関する事項（交通安全管理関係）

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。

なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。また、交通誘導員の配置個所等詳細については事前に監督職員と協議しなければならない。工事期間中の交通管理として、次のとおり交通誘導員を計上している。

種別	位置	配置人数	時間	摘要
舗装切断工、区画線工	全路線	2人	8:30~17:00	交代要員含む
その他工種	全路線	4人		

当初設計における誘導員は260人を見込んでいる。

なお、受注者は、工事工程及び通行制限等の形態に応じた交通誘導員の配置人員、延べ人数を施工計画書に明記しなければならない。

1-1-21 交通規制

1. 本工事における現場内の交通規制は次のとおりとする。ただし、施工に伴い変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
片側交互通行、車輛通行止め
2. 本工事の施工において、現場及びその周辺の交通規制を行う場合は、規制前に道路使用許可証（条件書付き）の写しを監督職員に提出すること。また、許可内容を変更した場合も同様とする。

1-1-22 施工時期、時間、施工方法の制限事項（工程関係）

1. 本工事において、他の管理者より特別施設及び施工時間帯等の制約を受けた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

~~本工事の作業時間帯は、下表に示すとおりとする。~~

工種又は種別・細別	時 間 帯		期 間
	作業開始	作業終了	
全工種	—時—分	—時—分	交通混雑時の交通影響回避を目的とし、交通に支障のない準備作業等は除く。

~~なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して速やかに監督職員と協議しなければならない。~~

2. 受注者は、工事の中断期間内は、現場内巡視点検を行い、安全の確保に努めなければならない。

1-1-23 災害時の協力体制

1. 緊急巡回
 - (1) 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講ずるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
 - (2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について監督職員に報告するものとする。

- (3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- (4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。
- 2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業
 - 工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。
- 3. 緊急巡回及び緊急時の協力体制に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1-1-24 設計図書の確認

受注者は、施工計画書の作成及び工事の実施にあたり、事前に監督職員より工事に関する仕様及び添付資料など設計図書の内容について、十分な確認を行わなければならない。

1-1-25 工事支障物件に関する事項

施工に伴って、支障となる物件が発生した場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

~~1-1-26 他工事との関連事項~~

- ~~1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。~~

工—事—名	工—期

1-1-27 事業損失に関する事項（環境対策関係）

- 1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
- 2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

1-1-28 施工計画書

受注者は、作成した施工計画書の提出にあたっては、監督職員に十分な説明を行わなければならない。なお、修正等の指示がなされた場合は速やかに対処し、必ず当該工事の着手前に説明を行ったうえで提出しなければならない。

1-1-29 排出ガス対策型建設機械の使用

受注者は、当工事を施工するに当たり、バックホウ、トラクタショベル車輪式、ブルドーザ、発動発電機、舗装機械、杭打関連機械等を使用する場合、排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。また、施工計画書において当該機械の機種名等を明示し関係書類を監督職員に提出するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用しない場合（出来ない場合も含む）は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得るものとする。

1-1-30 事故報告

- 1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事務報告書（共通仕様書（参考資料）参考様式5）をFAX、又は

E-Mailにより提出しなければならない。

2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に係る「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

県のホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 組織別ページ
- 県土整備部
- 建設企画課
- 建設工事技術関連情報
- 土木工事共通仕様書（R8年4月版）について

1-1-31 週休2日確保工事

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては「山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領」に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休2日（土日）を達成した場合、完全週休2日（土日）の補正係数に変更するものとする。なお、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
3. 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日（土日）の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。

1-1-32 同時施工箇所について

《竹田地内ほか》において、本工事で施工するが費用については《道路管理者（酒田市）》と按分している箇所があるため、該当箇所については別途請求すること。

《道路管理者（酒田市）》分は舗装復旧工A=約79.86m²である。

第2章 土工

2-1 残土受入地

工事により発生する発生土は、全路線(街)連枝砂利へ運搬するものとし、工事場所からの運搬距離は設計図書に記載の距離を見込んでいる。なお、運搬する前に埋戻し材としての流用の可否について、監督職員の確認・立会を受けること。また、受け入れ条件を事前に確認し、設計図書と相違がある場合は、監督職員と協議することとする。

第2編 材料編

第1章土木工事材料

1-2-1 再生材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材 料 名	規 格	使 用 箇 所	摘 要
再生アスファルト合材	再生粗粒度 As20	基層（車道）	
再生アスファルト合材	再生細粒度 As13	表層（歩道）	

再生アスファルト合材	再生細粒度 As13F	表層（車道）	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As13F	表層（車道）	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As20F	表層（車道）	

- 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破碎、選別、混合物除去、粒度調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の碎石、ズリ、コンクリートを製造し破碎したもの等）が混合されていない状態のものをいう。
- 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生碎石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。
 - 修正CBR
 - 下層路盤材 修正CBR値 40%以上
 - 歩道路盤材 修正CBR値 20%以上
 - 粒度範囲
 - 骨材のふるい分け試験方法 JIS A 1102 により、粒度が土木工事共通仕様書第2編材料編2-3-3表2-4に適合すること。
 - 塑性指数（下層路盤材の場合のみ）
 - 土の液性限界・塑性限界試験 JIS A 1205 により、塑性指数PIが6以下であること。
 - すりへり減量
 - 粗骨材のすりへり減量試験 JIS A 1121 により、すりへり量が50%以下であること。
 - アスファルト塊混入率
 - 再生骨材に含まれるアスファルト塊が70%以下であること。

1-2-2 溶融スラグを用いたアスファルト合材の指定と品質基準

工事に使用する指定材料の品質規格は下表のとおりとする。

材 料 名	規 格	工 種	適 用
溶融スラグを用いた アスファルト合材	再生粗粒度 As (20)	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生細粒度 As (13)	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生細粒度 As (13F)	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生密粒度 As (13F)	舗装工	品質規格は JIS に準じる。
	再生密粒度 As (20F)	舗装工	品質規格は JIS に準じる。

- 溶融スラグは「酒田地区広域行政組合」が製造したものをを使用することを原則とする。
- 機械施工が可能な規模以上の舗装工事を対象とする。
- 溶融スラグの詳細については「溶融スラグの有効利用に係わるガイドライン（案）」によるものとする。
- 溶融スラグの入荷が困難な場合においては、溶融スラグを混合させない製品の使用について監督職員と協議するものとする。

第3章 一般施工

1-3-1 一般

- 施工に伴い、防塵処理の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
- タイヤ洗浄施設の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-3-2 路面補修等

- 受注者は工事区間内外を問わず機材の運搬等により、路面を損傷した場合には、速やかに路面補修を行わなければならない。

2. 受注者は工事区間内外を問わず機材の運搬又は排水等により、路面又は排水路を汚染した場合には、速やかに清掃を行うこととし、工事完了時に再度清掃の必要性を確認するものとする。

1-3-3 瀝青材料の散布

1. プライムコートの使用量は、 $1.260/m^2$ を標準とする。
2. タックコートの使用量は、 $0.430/m^2$ を標準とする。

1-3-4 舗装版切断工

1. 舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機等により回収するものとし、その費用については、設計図書に含まれる。

回収した排水については、監督職員と協議の上、処理するものとし、処理に関する運搬費及び処分費などの必要と認められる費用については、設計変更の対象とする。

また、受注者は、排水処理に係る産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに監督職員に提示しなければならない。

山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、建設業における働き方改革に資する取組として、山形県県土整備部及び各総合支庁建設部が発注する建設工事（営繕工事は除く。）の工事現場において、週休2日確保工事を実施するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 週休2日確保工事

本要領に基づき週休2日の確保に取り組む工事をいい、通期の4週8休以上を必須とする。

(2) 発注者指定型

現場閉所又は交替制により週休2日の確保に取り組むことを発注者が指定する形式をいう。

(3) 週休2日

① 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、現場閉所を土日に指定し、月曜日から日曜日までを基本とする1週間に2日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

ただし、悪天候等、受注者の責によらず、やむを得ず平日に現場閉所し土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を同一の週で指定するものとする。

また、夜間工事は曜日を跨ぐため、週7回の夜間のうち、土曜日から日曜日へ跨ぐ夜間、日曜日から月曜日へ跨ぐ夜間で現場閉所が行っていれば、完全週休2日（土日）を達成しているとみなす。

なお、土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。

② 完全週休2日（交替制）とは、交替制において、対象期間の全ての週において、技術者及び技能労働者が交替しながら、1週間に2日間以上の休日を確保したと認められる状態をいう。

夜間工事は曜日を跨ぐため、週7回の夜間のうち、週2回の夜間で休みを取得していれば、完全週休2日を達成しているとみなす

③ 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所又は交替制を行ったと認められる状態をいう。

④ 通期の週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所又は交替制を行ったと認められる状態をいう。

(4) 対象期間

工事の準備期間及び後片付け期間を除く施工開始日から施工終了日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施して

いる期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

(5) 4週8休以上

① 月単位の4週8休以上とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所率又は休日率の割合が、28.5%（8日／28日）以上の状態をいう。

ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4週8休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。

② 通期の4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所率または休日率が、28.5%（8日／28日）以上の状態をいう。

(6) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

(7) 現場閉所率

対象期間内の現場閉所日数の割合をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所に含めるものとする。

(8) 交替制

現場に従事する技術者及び技能労働者が交替で休日確保することをいう。

(9) 休日率

対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日数の割合をいう。

(対象工事及び発注方式)

第3条 山形県県土整備部及び各総合支庁建設部が発注する全ての工事を週休2日確保工事の対象とし、発注者指定型で発注するものとする。ただし、次に該当する工事は除くものとする。

・緊急を要する工事（災害復旧工事は含まない）

2 連続施工せざるを得ない工事は交替制で発注するものとする。

(現場閉所による週休2日確保工事の取扱い等)

第4条 発注者は、当初（発注）時において、月単位の4週8休以上を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。

2 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が発注者指定型による月単位の週休2日確保工事である旨を記載する。

3 受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、月単位の週休2日又は完全週休2日（土日）を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。なお、完全週休2日（土日）において、あらかじめやむを得ないと認められる場合は、土曜日、日曜日以外の日を現場閉所日に設定できるものとする。

- 4 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日（土日）の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。
- 5 受注者は、週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することはできないが、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、建設工事請負契約約款22条の規定により、工期の延長変更を請求するものとする。
- 6 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日（土日）においては土曜日、日曜日以外の日を振替現場閉所日に設定できるものとする。
- 7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日（土日）においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。
- 8 完全週休2日（土日）の取り組みにあたっては、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、土日に代わる現場閉所日を指定するものとしている。ただし、災害対応等で土日に代わる代替日の設定が困難であり、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、現場閉所による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定する。
- 9 災害対応等でやむを得ず現場閉所による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休2日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。
- 10 受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。
- 11 受注者は、工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿で実施状況を協議すること。協議にあたっては、次の各号に掲げる書類を提示しなければならない。
 - (1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料
 - (2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類
- 12 発注者は、変更（精算時）の積算において、現場閉所が完全週休2日（土日）を達成した場合、完全週休2日（土日）の補正係数に変更するものとする。

また、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
- 13 発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。
- 14 発注者は、月単位の4週8休以上又は完全週休2日（土日）の現場閉所を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行する

ものとする。

(交替制による週休2日確保工事の取扱い等)

第4条の2 発注者は、当初（発注）時において、月単位の4週8休以上の交替制を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。

- 2 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が交替制による月単位の週休2日確保工事である旨を記載するものとする。
- 3 受注者は契約締結後、施工計画書提出前に、週休2日確保工事（月単位または完全週休2日（交替制））について協議を行うものとする。
- 4 施工体制台帳に記載されている元請及び下請の技術者及び技能労働者を交替制の対象者とする。ただし、次の各号に該当する者は除くものとする。
 - (1) 非常勤の者（臨時で従事する者）
 - (2) 現場作業日数が5日未満の者
- 5 受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、対象者の氏名、対象期間の日数及び月単位の週休2日又は完全週休2日（交替制）を確保する休日（予定）を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。
- 6 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日（交替制）の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。
- 7 受注者は、週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することはできないが、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、建設工事請負契約約款22条の規定により、工期の延長変更を請求するものとする。
- 8 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた休日に作業を行う場合は、振替休日を設定するものとする。
- 9 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を休日とした場合は、当該作業予定日を休日に振り替えることができるものとする。
- 10 受注者の責によらず交替制による週休2日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して交替制による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、交替制による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定し、必要最小限の期間とする。
- 11 受注者は、当初予定していた休日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、休日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。
- 12 受注者は、工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、休日率を記載した工事打合簿で実施状況を協議すること。協議にあたっては、現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の休日状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類を提示しなければならない。
- 13 発注者は、変更（精算時）の積算において、完全週休2日（交替制）を達成した

場合、完全週休2日（交替制）の補正係数に変更するものとする。

また、月単位の4週8休以上の交替制に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。

14 発注者は、現場に従事した技術者及び技能労働者の休日確保状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。

15 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日の交替制を達成した場合、主任（監理）技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行するものとする。

（その他）

第5条 工事費の積算については別紙1に基づくものとする。

2 工事成績評定については別紙2に基づくものとする。

3 週休2日確保工事における工期の考え方は、別紙3に基づくものとする。

（アンケートの実施）

第6条 受注者は、週休2日確保工事の実施の有無にかかわらず、発注者がアンケートを行う場合は協力するものとする。

附 則

この要領は、令和5年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年10月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和7年10月1日から施行する。

週休 2 日確保工事における工事費の積算について

〔発注者指定型〕

1 積算方法等

対象期間内の現場の閉所状況に応じて、各経費を補正するものとする。

(1) 現場の閉所状況

現場の閉所状況は、次のとおりとする。

① 完全週休 2 日（土日）

対象期間内の全ての週で土日に現場閉所されている場合。

② 月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）

対象期間内の全ての月で現場閉所率が 28.5%（8 日／28 日）以上の場合。

暦上の土曜日・日曜日の閉所では 28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4 週 8 休（28.5%以上）を達成しているものとみなす。

$$\text{現場閉所率} = \frac{\text{対象期間内の現場閉所日数}}{\text{対象期間の日数}} (\%)$$

(2) 補正方法

積算方法毎に対象期間内の現場の閉所状況に応じて次のとおり補正を行う。

① 積上げ積算方式及び施工パッケージ型積算方式

各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。

経費名	補正係数	
	月単位の週休 2 日	完全週休 2 日 (土日)
労務費	1. 0 2	1. 0 2
共通仮設費率	1. 0 1	1. 0 2
現場管理費率	1. 0 2	1. 0 3

② 市場単価方式

各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休 2 日	完全週休 2 日 (土日)
鉄筋工		1. 0 2	1. 0 2
ガス圧接工		1. 0 1	1. 0 1

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日	完全週休2日 (土日)
インターロッキング工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工 (ガードレール)	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工 (横断・転落防止柵)	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工(落石防護柵)		1.01	1.01
防護柵設置工(落石防止網)		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付法砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01	1.01

- ③ 土木工事標準単価方式
各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日	完全週休2日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日	完全週休2日 (土日)
排水構造物工		1.02	1.02
鋼製排水溝設置工		1.02	1.02
表面被覆工 (コンクリート保護塗装)	固定足場	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01
表面含浸工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
連続繊維シート補強工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
剥落防止工 (アラミドメッシュ)	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
漏水対策材設置工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
防草シート設置工		1.01	1.01
紫外線硬化型FRPシート設置工 (ポリエステル樹脂)	固定足場	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01
塗膜除去工		1.02	1.02
バキュームブラスト工		1.01	1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
仮設防護柵設置工(仮設ガードレール)		1.02	1.02
機械式継手工		1.02	1.02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1.01	1.01
ノンコーキング式コンクリート ひび割れ誘発目地設置工		1.01	1.01
FRP製格子状パネル設置工		1.00	1.00
侵食防止用植生マット工(養生マット工)		1.02	1.02
支承金属容射工		1.02	1.02
耐圧ポリエチレンリブ管 (ハウエル管)設置工		1.02	1.02
フレア溶接工		1.02	1.02
H型ボラード設置工		1.01	1.01
橋梁用水切り材設置工	固定足場	1.02	1.02
	作業車	1.02	1.02

2 当初(発注)時の積算

月単位の4週8休以上を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算する。

3 変更（精算）時の積算

変更（精算）時に工事費を積算することを基本とするが、閉所状況を確認でき次第、積算できるものとする。

現場閉所が完全週休2日（土日）を達成した場合、完全週休2日（土日）の補正係数に変更するものとする。現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算する。

[発注者指定型（交替制）]

1 積算方法等

対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の休日率の状況に応じて、各経費を補正するものとする。

(1) 技術者及び技能労働者の休日率の状況

技術者及び技能労働者の休日率の状況は、次のとおりとする。

① 完全週休2日（交替制）

対象期間内の全ての週で休日率が28.5%（2日／7日）以上の場合

② 月単位の週休2日（4週8休以上）

対象期間内の全ての月で休日率が28.5%（8日／28日）以上の場合

(2) 休日率の計算

① 対象者毎の休日率の計算

対象者毎に休日率を計算する。

なお、下請負人の場合は、下請負契約上の契約工期内とする。

$$\text{対象者の休日率} = \frac{\text{対象期間内の休日日数}}{\text{対象期間の日数}} (\%)$$

② 工事全体での休日率の計算

①により求めた対象者毎の休日率を平均し、工事全体の休日率を計算する。

③ 中抜け期間の除外

以下の期間は、中抜け期間として対象期間の日数から除外する。

- ・他工事に従事している期間
- ・断続的な作業期間の間の期間
- ・長期休業等により出勤できない期間

(3) 補正方法

対象期間内に従事した技術者及び技能労働者の休日率の状況に応じて次のとおり補正を行う。

① 積上げ積算方式及び施工パッケージ型積算方式

各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。

経費名	補正係数	
	月単位の週休2日 (交替制)	完全週休2日 (交替制)
労務費	1.02	1.02
現場管理費率	1.02	1.03

② 市場単価方式

各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日 (交替制)	完全 週休2日 (交替制)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキング工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工 (ガードレール)	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工 (横断・転落防止柵)	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工(落石防護柵)		1.01	1.01
防護柵設置工(落石防止網)		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付法枠工		1.01	1.01
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01	1.01

- ③ 土木工事標準単価方式
各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日 (交替制)	完全 週休2日 (交替制)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02
鋼製排水溝設置工		1.02	1.02
表面被覆工 (コンクリート保護塗装)	固定足場	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01
表面含浸工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
連続繊維シート補強工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
剥落防止工 (アラミドメッシュ)	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
漏水対策材設置工	固定足場	1.02	1.02
	高所作業車	1.02	1.02
防草シート設置工		1.01	1.01
紫外線硬化型FRPシート設置工 (ポリエステル樹脂)	固定足場	1.01	1.01
	高所作業車	1.01	1.01
塗膜除去工		1.02	1.02
バキュームブラスト工		1.01	1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
仮設防護柵設置工(仮設ガードレール)		1.02	1.02
機械式継手工		1.02	1.02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1.01	1.01
ノンコーキング式コンクリート ひび割れ誘発目地設置工		1.01	1.01
FRP製格子状パネル設置工		1.00	1.00
侵食防止用植生マット工(養生マット工)		1.02	1.02
支承金属容射工		1.02	1.02
耐圧ポリエチレンリブ管 (ハウエル管)設置工		1.02	1.02
フレア溶接工		1.02	1.02
H型ボラード設置工		1.01	1.01

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休2日 (交替制)	完全週休 2日 (交替制)
橋梁用水切り材設置工	固定足場	1.02	1.02
	作業車	1.02	1.02

2 当初（発注）時の積算

月単位の4週8休以上を達成した場合の経費の補正を行い、工事費を積算する。

3 変更（精算）時の積算

変更（精算）時に工事費を積算することを基本とするが、休日率の状況を確認でき次第、積算できるものとする。

完全週休2日（交替制）を達成した場合、完全週休2日（交替制）の補正係数に変更するものとする。休日率が月単位の4週8休に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算する。

週休 2 日確保工事における工事成績評定の取扱いについて

1 方針

週休 2 日確保工事を実施した工事について、現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況に応じて工事成績評定における評価を行う。

発注者指定型の形式で発注された工事で 4 週 8 休以上の現場閉所が確保されなかった場合であっても工事成績評定の減点を行わない。

2 評価方法

(1) 監督員の 2. 施工状況「Ⅱ. 工程管理」において、次のとおり評価を行う。

① 現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が月単位の 4 週 8 休以上、又は完全週休 2 日（土日又は交替制）の場合（次の 2 項目を評価）

- ・「休日の確保を行っている。」
- ・「その他（完全週休 2 日（土日又は交替制）を実施している。）」

② 現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が通期の 4 週 8 休以上の場合（次の 1 項目を評価）

- ・「休日の確保を行っている。」

(2) 監督員の 5. 創意工夫〔働き方改革〕において、次のとおり評価を行う。

現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が通期の 4 週 8 休以上の場合

- ・「週休 2 日（4 週 8 休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。」
※週休 2 日の確保自体を評価するのではなく、他の模範となるような、週休 2 日確保に向けた受注企業の取組（社員教育や情報共有方法等）を当該工事で実施した場合に評価する。

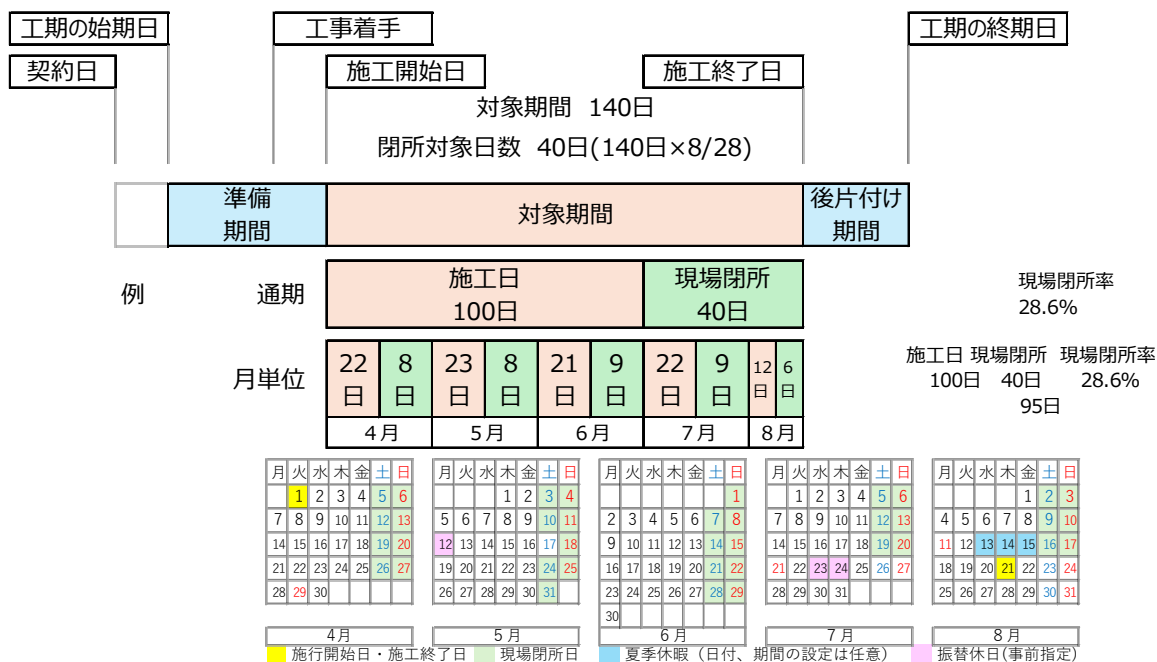
(3) 総括監督員の 2. 施工状況「Ⅱ. 工程管理」において、次のとおり評価を行う。

現場の閉所状況及び現場に従事する技術者及び技能労働者の休日の確保状況が通期の 4 週 8 休以上の場合

- ・「工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。」
- ・「現場閉所（交替制）による週休 2 日（4 週 8 休以上）を行った。」

※週休 2 日の確保を行った場合は、2 項目両方を評価することとし、この「工程管理」の評価は、原則” a ”評価（2 点）とする。ただし、他の事項で著しく低く評価する内容が確認される場合は、” a ”評価としないことができる。

週休2日確保工事における工期の考え方について

週休2日を確保するイメージ
(発注者指定型)

※上図では対象期間内の現場閉所日数が40日以上となれば「通期」の4週8休以上。
かつ、月ごとに現場閉所率が $8/28=28.5\%$ 以上であれば、「月単位」の4週8休以上。

- 発注者が設定する「準備期間」と「後片付け期間」の日数を特記仕様書に記載する。
- 「準備期間」とは、施工に先立って行う、労務、資機材の調達、調査、測量、設計照査、現場事務所の設置等の期間をいい、「工期の始期日」から「施工開始日」までの期間をいう。
- 「施工開始日」とは、本体工事（工事目的物を施工するための工事）や仮設工事（工事の施工及び完成に必要とされる各種の仮工事）を着手する日をいう。
- 「対象期間」とは、「準備期間」及び「後片付け期間」を除く「施工開始日」から「施工終了日」までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。
- 「施工終了日」とは、現場での施工が終了した日をいう。ただし、「施工終了日」から「工期の終期日」までの日数が、特記仕様書に記載している「後片付け期間」の日数を下回った場合は、特記仕様書の日数から設定される「施工終了日」を優先するものとする。
- 後片付け期間とは、工事の完成に際して、受注者の機器、余剰資材、残骸及び各種の仮設物を片付けかつ撤去し、現場及び工事にかかる部分の清掃等に要する期間をいう。